

HANDBOOK

2023

本学園で学ぶ人のために

学校法人 山口学園

ECCアーティスト美容専門学校

CONTENTS

学校法人山口学園	山口学園の理念	1
	山口学園の沿革	1
ECC アーティスト美容専門学校	教育目的	2
	ディプロマポリシー/カリキュラムポリシー	3
	学則	11
	教務規約	17
	事務局	26
学園生活にあたって	授業・単位・試験について	28
	学費・奨学金制度	30
	学生証・学籍番号・通学定期券など	30
	こんな時は？	32
	学生心得8カ条について	33
	授業および学生生活上のルール・マナー	34
	インターンシップ制度の規定について	35
	各種申請手続	36
	学生生活のマナー・その他	38
	災害対策マニュアル	39
	個人情報取扱い方針	40
	学生相談室・保健室	41
	ECC 社会貢献・国際交流センター	42
	Global 教育	43
	検定・資格単位認定数一覧	46
就職活動にそなえて	入学当初から意識しておくこと	48
	就職活動スケジュール	49
施設の利用	アーティスト美容専門学校施設の利用	50
	アーティスト美容専門学校学内サロン紹介	51
	ECC Local Guide Map	52
学舎案内図	ECCアーティスト美容専門学校1号館	53
	ECCアーティスト美容専門学校2号館	54
	ECCアーティスト美容専門学校3号館	55
学科・コース一覧	学科・コース一覧	56
コースカリキュラム一覧	コースカリキュラム一覧	57
年間スケジュール	年間スケジュール	75

学校法人 山口学園

山口学園の理念

実践的な専門知識の教育と技能の習得を通じて、社会が求むところの高度専門職業人の養成、且つ、豊かな社会、平和と幸福を希求してやまないところ豊かな社会人の育成をはかる。

山口学園の沿革

1962 年	大阪市住吉区に ECC 外語学院創設		
1970 年	ホノルル市長杯全日本 ECC 英語弁論大会を開催		
1971 年 5 月	ホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会を開催	10 月	ECC 教育研究所開設
1983 年 11 月	学校法人山口学園設立認可		
1984 年 2 月	学校法人山口学園「国際外語専門学校」設立（現：ECC 国際外語専門学校設立）		
1986 年	高度情報化社会に対応する人材育成を基本理念に ECC コンピュータ学院・大阪校を設立		
1987 年 7 月	ECC ビジネス学院設立		
1989 年 4 月	ECC コンピュータ学院・大阪校新校舎完成		
1992 年 4 月	ECC 国際外語専門学校・新校舎増築		
1997 年 4 月	ECC コンピュータ学院・大阪校を前身に学校法人山口学園「ECC コンピュータ専門学校」（大阪府認可の専修学校）を設立		
1999 年 4 月	ECC ビジネス学院を ECC カレッジグループへと発展改称		
2001 年 4 月	社会貢献活動を具体化するため、ECC 国際外語専門学校にボランティアセンターを設置		
2003 年 4 月	ECC カレッジグループの ECC アーティストカレッジ・大阪校を前身に、学校法人山口学園「ECC アーティスト専門学校」（大阪府認可の専修学校）を開校		
2004 年 3 月	ECC アーティスト専門学校・第2校舎完成		
4 月	ECC 国際外語専門学校ボランティアセンターを起源とし、「ECC 社会貢献センター」を設立		
2005 年 3 月	ECC コンピュータ専門学校・第3校舎完成／ECC 国際外語専門学校・大阪梅田（中崎町）に新校舎完成・移転		
2006 年 4 月	ECC アーティスト専門学校に美容師国家資格の取得を目指す「美容科」（全日制・2年間・厚生労働省認可）を新設		
2008 年 4 月	ECC アーティスト専門学校に美容師国家資格の取得を目指す「美容科通信課程」（通信制・3年間・厚生労働省認可）を新設		
2014 年 2 月	ECC 国際外語専門学校エアライン学科、ホテル・観光学科、ECC コンピュータ専門学校高度情報処理研究学科、ECC アーティスト専門学校トータルビューティ学科、アーティスト学科、美容科が文部科学大臣より職業実践専門課程に認定		
2015 年 2 月	ECC コンピュータ専門学校マルチメディア研究学科が、文部科学大臣より職業実践専門課程に認定		
2016 年 2 月	ECC 国際外語専門学校こども教育研究学科、ECC コンピュータ専門学校マルチメディア学科が文部科学大臣より職業実践専門課程に認定。		
2016 年 4 月	ECC アーティスト専門学校が、ECC アーティスト美容専門学校に校名変更。		
2017 年 4 月	ECC 国際外語専門学校・第3校舎完成		
2018 年 9 月	ECC アーティスト美容専門学校・第3校舎完成		
2021 年 4 月	ECC コンピュータ専門学校・第4校舎完成 ECC コンピュータ専門学校「高等部」（全日制・3年間）を新設		
2023 年 4 月	ECC 国際外語専門学校「高等部」（全日制・3年間）を新設		
2023 年 4 月	ECC アーティスト美容専門学校「高等部」（全日制・3年間）を新設		

ECCアーティスト美容専門学校

□教育目的□

本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、
美容・健康・芸術の専門教育と、技能教育を通じて
美と健康の知識と豊かな創造性、
時代をリードする進取の精神、
及び芸術的センスに富んだ実社会に有用な
人材の育成を目的とする。
もって人々の文化的生活の向上に寄与したい。

■ECC アーティスト美容専門学校 教育目標■

『美容業界で長く活躍できる総合的な人材育成の実現』

技術、環境変化の激しい社会及び業界に即時に対応できる判断能力を学生が修得するために下記の4つの「力」を養い、生涯充実した社会人として活躍できる人材を育成する。

（専門力）

美容業界から求められる専門性の高い知識、技術及び接客マナーに加え、幅広い視野、トレンドを察知する能力を養う。

企業連携を通じて最新の知識や技能を取得する実践的な職業教育に取り組む。

（国際力）

グローバル社会において接客者に必要な英語力と国際感覚を身に付け、多様なお客様とのコミュニケーション力、対応力を養う。

（人間力）

学内外の教育活動を通じて接客者としてのホスピタリティ精神を育み、他者や社会的弱者に対する理解力、自らの考えを発信する力、コミュニケーション力、協調性、責任感、問題解決力を養う。

（ICT 活用力）

進歩を続ける ICT 最新技術の習得を通じて活用能力を養い、世界を舞台に活躍する視野と発信力を養う。

■ECC アーティスト美容専門学校 ディプロマポリシー■

ECC アーティスト美容専門学校では、山口学園の理念、本校の教育目的、教育目標に基づくカリキュラムを履修し、かつ卒業に必要な単位を修めた者に対して、卒業を認定する。

（専門力）

美容業界から求められる専門性の高い知識、技術を有し、接客技術やマナーを実践できるようになる。

（国際力）

グローバル社会に対応できる幅広い国際感覚を身につけ、美容現場において英語でコミュニケーション、接客が行えるようになる。

（人間力）

柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信、問題解決ができるようになる。また、ホスピタリティ精神を身につけ、「気づきの力」を身につけた接客者になる。

（ICT 活用力）

ICT を活用し、コミュニケーション力や発信力の高い美容技術者となる。

■ECC アーティスト美容専門学校 カリキュラムポリシー■

ECCアーティスト美容専門学校では、山口学園の理念、本校の教育目的、教育目標に基づき、美容業界が求める人材像等も踏まえてカリキュラムを編成する。ディプロマポリシーに掲げる専門力・国際力・人間力・ICT 活用力を身につけるために、以下の意図を以てカリキュラムを編成している。

（専門力）

目指す業界や分野、就職先で求められる知識・技術及び創造性を身に付ける。

（国際力）

多種多様なお客様の接客において、英語でのコミュニケーション力を身に付ける。

（人間力）

社会貢献活動、インターンシップ、グループワーク、ロールプレイングを通して「気づきの力」を養い、傾聴する力や自身の発信力、積極性を身に付ける。

（ICT 活用力）

デジタルデバイスの活用法（オンライン授業対応力）、ポートフォリオ作成、SNS の運用力を身に付ける。

トータルビューティスタイリストコース

【教育目標】

ヘアメイクアーティスト、美容師、ネイリスト、アイリストになるため、各専門力をバランスよく習得すると共に、海外からのお客様に物応じすることなく接客できる国際力を習得し、将来的に多方面で活躍できる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

（専門力）

- ・「美容師国家試験」に準じる学内卒業試験に合格していること。
- ・「JNEC ネイリスト技能検定1級」を取得していること。もしくは同等の技術を習得していること。
- ・「国際アイラッシュ協会検定1級」を取得していること。もしくは同等の技術を習得していること。
- ・「JBMAメイクアップ検定 Professional」を取得していること。もしくは同等の技術を習得していること。
- ・作品撮影（ブック製作/プレゼンテーション）が学内合格水準を満たすこと。

（国際力）

- ・サロン・美容現場において英会話を使い、グローバルな人材層に接客対応できるようになる。

（人間力）

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見をうけいれつつ、自身の意見を発信できるようになる。

（ICT 活用力）

- ・ICT を活用し、情報処理能力と発信力を高め、SNS を正しく有効に使用できるようになる。

【カリキュラムポリシー】

ディプロマポリシーに掲げる力を習得した美容技術者になるために、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・クレンジングからフルメイクまでのメイクアップ基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・ヘアアレンジの基礎を習得し、作品イメージに合ったヘアスタイルができるようになる。(1 年次)
- ・ネイルケア・カラーリング・チップ&ラップ、アート等の基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・色彩学、デッサン、ファッションの基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1 年次)
- ・撮影技術、データ加工技術を習得する。(1 年次)
- ・美容師国家資格取得に必要な技術・知識を習得する。(1～3 年次)
- ・顔分析法によるメイク技術、年代別・シチュエーション別、ブライダルメイク等の応用技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・スカルプチュアの応用、ジェルネイル、ミックスメディアアート等のネイル技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、美容業界で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2 年次)
- ・テーマやシーンからイメージし、ヘアアレンジ応用技術を習得する。(2 年次)
- ・ヘアメイク、ファッションの応用技術であるトータルスタイリングに関する技法を習得する。(3 年次)
- ・ジェルネイルの中級・上級技術を習得する。(3 年次)
- ・アイラッシュ技術を習得する。(3 年次)
- ・着付けの基礎技術・知識を習得する。(3 年次)
- ・サロン・美容現場において英会話で接客できる技術を習得する。(3 年次)

ヘアメイクアーティストコース

【教育目標】

ヘアメイクに関する幅広い職種に対応できる知識と技術力を備え、国内外で活躍できる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

(専門力)

- ・「美容師国家試験」に準じる学内卒業試験に合格していること。
- ・「JBMAメイクアップ検定 Professional」を取得していること。もしくは同等の技術を習得していること。
- ・作品撮影(ブック製作/プレゼンテーション)が学内合格水準を満たすこと。
- ・インターンシップにおいて学内合格水準を満たすこと。

(国際力)

- ・サロン、美容現場において英会話を用い、グローバルな人材層に接客対応できるようになる。

(人間力)

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見を受け入れつつ、自身の意見を発信できるようになる。

(ICT 活用力)

- ・ICT を活用し、情報処理能力と発信力を高め、SNS を正しく有効に使用できるようになる。

【カリキュラムポリシー】

ディプロマポリシーに掲げる力を習得した美容技術者になるために、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・ブラシング・ピン止め～夜会巻き・カールアップ・日本髪等のヘアアレンジの基礎を習得する。(1 年次)
- ・ヘアメイクに必要な発想力、デザイン力、カラー知識、デッサン力を習得する。(1 年次)
- ・照明やカメラについて撮影に関する基礎技術・知識を習得する。(1 年次)

- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1～2年次)
- ・美容師国家資格取得に必要な技術・知識を習得する。(1～3年次)
- ・顔分析、撮影メイク、ブライダルメイク、年代別メイク、ペイントメイク、質感メイク等のメイク応用技術・知識を習得する。(2年次)
- ・基本を踏まえたあらゆるアレンジ技法等のヘアアレンジ応用技術・知識を習得する。(2年次)
- ・着付けの基礎技術・知識を習得する。(2年次)
- ・似合わせメイク、グローバルコミュニケーションメイク、カウンセリングメイク等のメイク高度技術・知識を習得し実践力を習得する。(3年次)
- ・似合わせヘア、クイックチェンジ等のヘア高度技術・知識、シャンプー・ブロー技術、ヘアカラー知識を習得する。(3年次)
- ・就職現場に合わせた高度技術・知識を習得し、現場実践力を習得する。(3年次選択)
- ・スキルアップ技術として、アイラッシュ技術、エアブラシ技術、撮影技術上級を習得する。(3年次選択)
- ・着付けプロレベルとしての応用技術・知識を習得する。(3年次)
- ・美容現場において英会話で接客できる技術を習得する。(3年次)

ビューティアドバイザーコース

【教育目標】

化粧品知識・販売技術(英語を含む)を修得すると共に、コミュニケーション能力(マナー、積極性)に優れた一流のビューティアドバイザーを育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

(専門力/人間力)

- ・TBA(メイク技術・接客技術・筆記)試験において学内合格水準を満たすこと。
- ・「JBMAメイクアップ検定 Expert」を取得していること。もしくは同等の技術を習得していること。
- ・「化粧品検定2級」を取得していること。もしくは同等の知識を習得していること。

(国際力)

- ・化粧品販売現場で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できるようになる。

(人間力)

- ・柔軟な思考力を持ち、多様な意見をうけいれつつ、自身の意見を発信できるようになる。
- ・一般常識テストにおいて学内合格水準を満たすこと。

(ICT活用力)

- ・ICTを活用し、情報処理能力と発信力を高め、SNSを正しく有効に使用できるようになる。

【カリキュラムポリシー】

ディプロマポリシーに掲げる力を習得したビューティアドバイザーになるために、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・クレンジングからフルメイクまでのメイクアップ基礎技術・知識を習得する。(1年次)
- ・イメージメイク・年代別メイクの基礎技術・知識を習得する。(1年次)
- ・綺麗な立ち居振る舞い、接客用語等の接客に関わる基礎技術・知識を修得する。(1年次)
- ・色彩学、パーソナルカラー等色彩に関わる基礎技術・知識を修得する。(1年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1年次)
- ・接客を交えたメイク技法、ファッションなどの流行の要素を取り入れたボリューム感・スケール感のあるメイクア

- ・チップ技法等のメイク応用技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・コスメ販売の技術・知識をケーススタディにより習得する。(2 年次)
- ・実践的なメイク技術・接客技術を習得し、現場実践力を習得する(2 年次)
- ・プレゼンテーションに関わる技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、美容部員の業界で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2 年次)

ネイリストコース

【教育目標】

ネイルの幅広い知識と技術を習得しネイル関連検定を取得すると共に、あらゆる年齢層の顧客ともコミュニケーション・接客ができる素直で元気ある人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された検定試験・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

(専門力)

- ・ネイル系検定「JNEC ネイリスト技能検定 1 級」を取得している。もしくは同等の技術を習得していること。
- ・ネイル系検定「JNA ジェルネイル検定上級」を取得している。もしくは同等の技術を習得していること。
- ・ネイル系検定「JNA フットケア理論検定」を取得している。もしくは同等の技術を習得していること。
- ・ネイル系資格「衛生管理士」を取得している。もしくは同等の技術を習得していること。

(国際力)

- ・ネイルサロン現場で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できるようになる。

(人間力)

- ・「サロン実習」での接客技術が合格水準を満たしていること。

(ICT 活用力)

- ・ICT を活用し、情報処理能力と発信力を高め、SNS を正しく有効に使用できるようになる。

【カリキュラムポリシー】

ディプロマポリシーに掲げる力を習得したネイリストになるために、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・ネイル理論を修得し、ネイル技術の基礎となるネイルケア・カラーリング・チップ&ラップ技術を習得し、ネイリスト技能検定 3 級・2 級の取得を目指す。(1 年次)
- ・ジェルネイルの基礎を修得し、ジェルネイル検定初級を取得する。(1 年次)
- ・2 年次でのサロンワーク実習に向けて、サロンで必要となる実践技術、知識を習得する。(1 年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1 年次)
- ・フレンチスカルプチュアの技術修得し、ネイリスト技能検定 1 級を目指す。(2 年次)
- ・ジェルネイルの上級技術を修得し、ジェルネイル検定上級を取得する。(2 年次)
- ・学内サロンにて実践的なネイル技術・サロンワーク・接客技術を修得する。(2 年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、ネイルサロンで使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2 年次)

ブライダル・ウェディングコース

【教育目標】

ブライダルの国家試験であるブライダルコーディネート技能検定3級を取得する知識・技術を修得すると共に、ブライダル全般に及ぶ幅広い知識（プランニング、コスチューム、ヘアメイク、空間コーディネート）と技術を兼ね備え、入社後即戦力となる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

（専門力）

- ・国家試験ブライダルコーディネート技能検定3級を取得する。

（専門力/人間力）

- ・ブライダル実践イベントである「スマイルウェディング」学内合格水準を満たすこと。
- ・ブライダル実践イベントである「ハートフェルトウェディング」学内合格水準を満たすこと。
- ・外部研修授業である「インターンシップ」において学内合格水準を満たすこと。

（ICT 活用力）

- ・ICT を活用し、情報処理能力と発信力を高め、SNS を正しく有効に使用できるようになる。

【カリキュラムポリシー】

ディプロマポリシーに掲げる力を習得したブライダルプランナー及びコスチュームアドバイザーになるために、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・ブライダルプランナーとしての基礎技術・知識を習得する。（1 年次）
- ・ブライダルコスチュームの基礎技術・知識を習得する。（1 年次）
- ・ブライダルヘアメイクの基礎技術・知識を習得する。（1 年次）
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。（1 年次）
- ・ブライダルプランナーとしての応用技術・知識を習得し、3 級ブライダルコーディネート技能検定を取得する。（2 年次）
- ・ブライダルコスチュームの応用技術・知識を修得する。（2 年次）
- ・ブライダルヘアメイクの応用技術・知識を習得する。（2 年次）
- ・グローバル社会に対応すべく、ブライダル業界で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。（2 年次）

特殊メイク・造形アーティストコース

【教育目標】

特殊メイク業界、造形業界で即戦力となる知識・技術を習得し、国内外で活躍できる人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

（専門力）

- ・「デジタルワーク」「造形デザイン・デッサン」「ヘアメイクアート」「特殊メイク」「特殊造形」「フィギュア」の 6 分野において、基礎技術を習得し、学内合格水準を満たすこと。

(国際力)

- ・特殊メイク業界で使用する英会話定型フレーズを用いてコミュニケーションできるようになる。

(人間力)

- ・グループ制作において、他者とのコミュニケーションを図り、問題解決方法を身に付ける。

(ICT 活用力)

- ・ICT を活用し、情報処理能力と発信力を高め、SNS を正しく有効に使用できるようになる。

【カリキュラムポリシー】

ディプロマポリシーに掲げる力を習得した特殊メイク技術者になるために、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・特殊メイクの基礎となるキャラクターメイク技法・顔の型取り・マスクメイク・エアブラシでのペイント等の技術・知識を修得する。(1 年次)
- ・色彩学、デッサン、デザイン学の基礎技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・フォトショップでの基本的なデジタルデザイン技術・知識を習得する。(1 年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1 年次)
- ・シリコン素材による特殊メイク知識・技術を習得する。(2 年次)
- ・フィギュア製作の技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・デジタルデザインの応用技術・知識を習得する。(2 年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、特殊メイク業界で使用する英会話定型フレーズを用いてコミュニケーションできる技術を習得する。(2 年次)
- ・モンスタースーツ、カポックプロダクツ、エピテーゼ、スモールスケールメカニカル等の特殊メイクに関する応用技術・知識を習得する。(3 年次)
- ・フィギュアの原型から商品までの知識・技術を習得する。(3 年次)
- ・特殊メイク業界において英会話でコミュニケーションできる技術を習得する。(3 年次)

美容科

【教育目標】

美容師国家資格を取得する知識・技術を修得すると共に、美容室でのサロンワーク・接客技術を理解した自ら動ける・考えられる能動的な人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

(専門力)

- ・「美容師国家試験」に準じる学内卒業試験に合格していること。
- ・薬剤知識/毛髪科学知識/カット&カラー技術を保有し、実践的な技術を習得していること。
- ・ヘアメイク/撮影技術修得に準拠した作品を制作すること。

(専門力/人間力)

- ・City&Guilds Hairdressing for Pre-Assistants に合格すること。

(国際力)

- ・美容サロン現場で使用する英会話定型フレーズを用いて接客できるようになること。

(ICT 活用力)

- ・ICT を活用し、情報処理能力と発信力を高め、SNS を正しく有効に使用できるようになること。

【カリキュラムポリシー】

ディプロマポリシーに掲げる力を習得した美容師になるために、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・美容師国家試験の実技試験に準拠した基礎技術を習得する。(1 年次)
- ・英会話の基礎となるフレーズを習得し、異文化を理解できるグローバルマインドを育成する。(1 年次)
- ・薬剤・化粧品知識/毛髪・皮膚科学知識/カラー知識を習得する。(1 年次)
- ・美容師国家試験の実技試験に合格できる技術を習得する。(2 年次)
- ・美容師国家試験の学科試験に合格できる知識を習得する。(2 年次)
- ・実践的なカット＆カラーの技術を習得する。(2 年次)
- ・実践的なヘアメイク/撮影技術を習得する。(2 年次)
- ・学内サロンにて実践的な美容サロンワーク・アシスタント業務・接客技術を習得する。(2 年次)
- ・グローバル社会に対応すべく、美容サロンで使用する英会話定型フレーズを用いて接客できる技術を習得する。(2 年次)

トップスタイリストコース（プロ専科）

【教育目標】

美容師資格を保有した上で、最短スタイリストデビューを可能とする即戦力技術を持つ人材を育成する。

【ディプロマポリシー】

コース教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めかつ、卒業までに指定された資格・検定・科目もしくはこれに準じる基準に合格した学生に対して卒業を認定する。

(専門力/人間力)

- ・学内美容サロンアンベリールでカット/カラー/シャンプーの実務経験を経ること。
- ・City&Guilds 国際美容技能試験 Module3 に合格すること。

(国際力)

- ・美容サロン現場において英会話で接客できるようになること。

(ICT 活用力)

- ・ICT を活用し、情報処理能力と発信力を高め、SNS を正しく有効に使用できるようになること。

【カリキュラムポリシー】

ディプロマポリシーに掲げる力を習得した美容師になるために、以下の意図をもってカリキュラムを構成している。

- ・学内美容サロンアンベリールで多数のお客様にカット/カラー/シャンプーの施術を行う。
- ・世界基準の美容サロンワーク技術を習得する。
- ・カラー薬剤/毛髪・皮膚科学の応用知識を習得する。
- ・サロン経営に関する知識・技術を習得する。
- ・インターンシップにより外部美容サロンでのアシスタント経験を積む。
- ・美容サロン現場において英会話で接客できる技術を習得する。

ECCアーティスト美容専門学校 学則

第1章 総則

(目的)

第1条 本校は、学校教育法及び教育基本法に従い造形教育を基礎として専門技術と知識を教えるとともに、豊かな創造性と進取の気性、自立の精神に富んだ実社会に有用な人材を育成することを目的とする。

(名称)

第2条 本校はECCアーティスト美容専門学校という。

(位置)

第3条 本校の位置を大阪府大阪市北区中崎西1-8-5に置く。

(自己点検・評価)

第4条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第2章 課程、学科及び修業年限、休業日

(課程・学科・修業年限)

第5条 本校の課程、学科及び修業年限は次のとおりとする。

課程名	学 科 名	修業年限	入学定員	総定員	備考
文化教養 専門課程	プロ専科	1	40	40	昼間
	アーティスト学科	2	142	284	
	トータル・メイク学科	3	90	270	
			272	594	
衛 生 専門課程	美容科	2	90	180	昼間
計			362	774	

(学年・学期)

第6条 本校の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 課程の学期は次のとおりとする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

(但し、学科・コースにより異なる場合もある。)

(休業日)

第7条 本校の休業日は、次のとおりとする。ただし、校長は、特に必要があると認める場合には、休業日を変更することができる。

- 1 日曜日
- 2 国民の祝日に関する法律が規定する日 2W
- 3 夏季休業 8月 1日 から 8月31日まで 4W
- 4 冬季休業 12月20日 から 1月 8日まで 3W
- 5 春季休業 3月 1日 から 3月31日まで 4W
- 6 交通スト・台風・地震等で本校が特に休校と認めた日

第3章 教育課程、授業時間数及び教員組織

(教育課程・授業時数)

第8条 本校の教育課程は別に定めるとおりとし、授業時間は、文化教養専門課程は年800時間以上、衛生専門課程は年900時間以上(2年で2010時間以上)とする。

- 2 授業時数の1単位時間は45分とする。
- 3 各課程の修了に必要な総時間数の4分の3を超えない範囲で、インターネット等を利用した遠隔授業を行う場合がある。

(授業時数の単位数への換算)

第9条 本校の専門課程の授業科目の授業時数を単位数に換算する場合においては、講義にあたっては15時間をもって1単位、実験、実習、実技にあたっては30時間をもって1単位とする。なお、衛生専門課程においては 30 時間をもって 1 単位とする。

- 2 専門課程の授業科目の他、本校の教育課程の内容にふさわしい学修等をその内容に応じて、単位数として換算する場合もある。

(成績評価)

第 10 条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が75%(衛生専門課程の実習授業科目に関しては80%、衛生専門課程 2022 年度入学生より全科目 85%)に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。各科目の単位認定に関しては別に定める教務規約による。

(他の専修学校における授業科目の履修)

第 11 条 他の専修学校、大学 などにおいて別に定める科目を履修した場合には、各課程の修了に必要な総授業時数の2分の1を越えない範囲で、当該科目における授業科目の履修とみなす。

- 2 衛生専門課程については、課程の修了に必要な選択必修科目の総時間数の4分の1を越えない範囲で、当該課程における選択必修科目の履修とみなす。

(始業及び終業)

第 12 条 本校の始業及び終業の時刻は、次のとおりとする。

課程名	学 科 名	昼夜別	始業時刻	終業時刻	曜 日
文化教養 専門課程	プ ロ 専 科	昼間	9 時 15 分	18 時 30 分	月～土
	ア ー テ ィ ス ト 学 科				
	ト ー タ ル ・ メ イ ク 学 科				
衛 生 専門課程	美容科	昼間	9 時 15 分	18 時 30 分	月～土

(教職員組織)

第 13 条 本校に次の教職員を置く。

- 1 校長 1名
- 2 教員

課 程	文化教養専門課程	衛生専門課程	計
専任教員	10名以上	6名以上	16名以上
兼任教員	8名以上	6名以上	14名以上
計	18名以上	12名以上	30名以上

- 3 事務職員 2名以上
- 4 学校医 1名以上

2 校長は校務をつかさどり、所属職員を監視する。

第4章 入学、休学、退学及び卒業

(入学資格)

第 14 条 本校の入学資格は、次のとおりとする。

高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これに準ずる学力があると認められた者。
なお、プロ専科については、2年制以上の専修学校卒業生で志望する専攻を履修し、指定した資格もしくは能力を有する者。

(入学時期)

第 15 条 本校の入学時期は次のとおりとする。

毎年4月1日

(入学手続)

第 16 条 本校の入学手続は、次のとおりとする。

- 1 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して、第 24 条に定める入学検定料及び必要書類を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- 2 前号の手続を終了した者に対して入学試験を行い、入学者を決定する。
- 3 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から14日以内の指定の日までに第 24 条の入学金を添え手続きをとらなければならない。

(転入学及び編入学)

第 17 条 本校への転入学を希望する者がある場合は、学習の進展が同程度であり、定員に余裕があり、かつやむを得ない事情があると認めた場合には、選考の上許可することができる。ただし、衛生専門課程に関しては指定養成施設からの転入のみ認める。また転入学の時期と未履修科目およびその時間数を判定する選考を行った上で、許可をする。

(休学、復学)

第 18 条 生徒が疫病、その他やむを得なき事由によって休学する場合は、診断書及びその事由を記し、校長の許可を受けなければならない。

- 2 年間の授業料、その他の納付金を完納していない場合は、休学願を受理しない。
- 3 休学した者が復学しようとする場合は、届け出て校長の許可を受けなければならない。

(退学、留年)

第 19 条 退学しようとする者は、その事由を記し、校長の許可を受けなければならない。

- 2 進級要件、卒業要件を充足しない者は、翌年度も同学年に留める。ただし、状況によって仮進級・卒業保留等の特別措置をとる場合もある。

(課程修了の認定)

第 20 条 第 10 条に定める授業科目の成績評価に基づいて、所定の単位を取得していれば校長は課程修了の認定を行う。

- 2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。(文化教養専門課程プロ専科は様式5)
- 3 衛生専門課程の卒業認定においては、次の基準にしたがうものとする。
 - 1 卒業認定試験において、美容実習実技科目・学科試験(5科目総合問題)において、両試験共に50点以上であること
 - 2 各科目の出席率ならびに評価点、卒業判定会議については、別に定める教務規約による

(称号の授与)

第 21 条 前条により文化教養専門課程アーティスト学科、トータル・メイク学科を修了した者には、専門士(文化教養専門課程)の称号(様式2又は4)を授与する。衛生専門課程美容科を修了した者には、専門士(衛生専門課程)の称号(様式3)を授与する。

第5章 科目等履修

(科目等履修生)

第 22 条 本校において開設する授業科目に対し、本校生徒以外の者から特定の科目について履修申請があった場合には、本校の教育に支障がない限り、選考の上科目等履修生として当該科目の履修を許可することができる。

- 2 その他科目等履修生に関する事項は別に定める。

第6章 賞罰

(褒賞)

第 23 条 成績優秀にして他の模範となる者について褒賞することができる。

(懲戒)

第 24 条 校長は、本校の規則に違反したり、本校の生徒の本分に反する行為があった場合等において、教育上必要と認められる場合には、生徒に対し懲戒を加えることができる。

- 2 懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。
- 3 退学は次の各号に該当する場合、これを命ずる。
 - 1 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - 2 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - 3 正当な理由がなくて出席が常でない者
 - 4 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

第7章 入学金及び授業料等

(納付金)

第25条 本校の入学検定料、入学金、授業料等納付金は別に定めるとおりとする。

2 教材費、各種検定受験料、各種行事費、卒業経費等は各自が実費負担するものとする。

3 補講の費用は別途徴収するものとする。

4 復学の許可を受けた者は、新たに所属する学年の授業料等を納入するものとする。

第26条 既に納入した納付金は、理由の如何を問わず返還しない。

2 停学を命ぜられた者も同様とする。

第27条 年度の全期間を休学する者に対しては、その年度の授業料は徴収しない。

(除籍)

第28条 授業料その他の納付金を2ヶ月以上滞納した者は除籍することができる。

第8章 健康診断

(健康診断)

第29条 学校保健法第6条の規定に基づき、健康診断を毎年一回、別に定めるところにより実施する。

第9章 補足

(附帯教育事業)

第30条 以下に示す附帯教育事業を設置する

区分	修業 期間	入学 定員	総定員	授業時数	同時に授業を行う 生徒の数(学級数)
通信課程 美容科	3年	90名	270名	3年間で624時間 (2022年度入学生より 3年間で730時間)	30名(9学級)
高等部	3年	20名	60名	年間 600時間	20名(3学級)

2 附帯教育事業の入学金、授業料、教育課程その他必要な事項は別に定める。

第10章 雑則

(施行細則)

第31条 この学則の施行についての細則は、別に定める。

附則

- 1 この学則は、平成15年4月1日より施行する。
- 1 この学則は、平成16年4月1日より施行する。
- 1 学校名称変更、定員変更、修業時刻変更のため、平成17年4月1日一部改則。
- 1 衛生専門課程設置のため、平成18年4月1日一部改則。
- 1 この学則は、平成18年4月1日より施行する。但し、第21条に関しては平成18年3月14日より施行する。
- 1 この学則は、平成20年4月1日より施行する。但し、第21条に関しては平成20年3月13日より施行する。
- 1 この学則は、平成21年4月1日より施行する。
- 1 この学則は、平成22年4月1日より施行する。
- 1 この学則は、大阪府知事認可の日より施行する。(学科/コース名称変更、第25条別表3の授業料表変更)
- 1 この学則は、平成23年4月1日より施行する。但し、第25条授業料表別表3に関しては大阪府知事認可の日より施行する。
- 1 この学則は、平成23年4月1日より施行する。但し、第14条に関しては大阪府知事認可の日より施行する。
- 1 この学則は、平成25年4月1日より施行する。(通信課程(付帯授業)の面接授業の授業時間数変更、カリキュラム表の変更)
- 1 この学則は、平成27年4月1日より施行する。(定員、授業料の変更)
- 1 この学則は、平成28年4月1日より施行する。(学校名称、定員、授業料、カリキュラム表の変更)
- 1 この学則は、平成29年2月28日より施行する。(通信課程用卒業証書書式、第20条別記様式1、別記様式2、別記様式3、別記様式4、別記様式5の変更)
- 1 この学則は、平成30年4月1日より施行する。(定員、第25条別表第3、通信課程カリキュラム、カリキュラム表の変更、第25条別表第4の削除)
- 1 この学則は、平成31年4月1日より施行する。(スタイル学科の廃止、定員、学期、休業日、休学、納付金等の変更)
- 1 この学則は、令和 2年4月1日より施行する。(カリキュラム表の変更)
- 1 この学則は、令和 3年4月1日より施行する。(学科名称、定員、カリキュラム表の変更、遠隔授業、納付金条文の追加)
- 1 この学則は、令和 4年4月1日より施行する。(定員、成績評価、カリキュラム表の変更)
- 1 この学則は、令和 5年4月1日より施行する。(附帯教育事業の設置、表記の適正化による変更、カリキュラム表の変更)

学校法人山口学園 教務規約

第1章 総則

第1条（目的） 教務規約では学校法人山口学園（以下、「本学園」という。）のECC国際外語専門学校、ECCコンピュータ専門学校、ECCアーティスト美容専門学校における年間授業時間数・進級・卒業・単位認定・学籍事項・授業・出席・教育水準維持向上への取り組みなどに関して定めるものとする。

第2章 授業時数・授業時数の単位数への換算

第2条（授業時数） 本学園の前後期の必修の授業時数は一部のコースを除き、1年間に900時間とする。

- 2 授業時数は45分を1単位時間とし、1コマの授業は2単位時間（90分）で行う。
- 3 一週間の授業時数は30時間（15コマ）とし、前期15週・後期15週の合計30週間の授業期間を1年間に設ける。
- 4 前後期の必修の授業のほかに、長期休暇中に集中講座を開講する。また前後期期間に選択科目を開講する。

第3条（授業時数の単位数への換算）

本学園の専門課程の授業科目を単位数に換算する場合は、一部の科目を除き、15時間をもって1単位とする。

第3章 進級・卒業

第4条（進級の要件） 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。（アーティスト美容専門学校は別途設定）

第5条（卒業の要件） 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、54単位（2年制課程については56単位）を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。（アーティスト美容専門学校は別途設定）

第6条（留年） 進級要件・卒業要件を充足しない者は、翌年度も同学年に留める。但し、状況によって、学校長の判断により、特別措置をとる場合もある。

- 2 留年となった場合、前年度に修得した単位は無効となり、再度全科目の受講が必要となる。1年次に留年となった場合は、転科となりその際の入学コースが最初の入学時と異なる場合がある。
- 3 留年により、入学した学科の修業年限の2倍をこえて在籍することができない。また同一年次において2年を超えての在籍は、認められない。但し、状況により学校長の判断により、特別措置をとる場合もある。

第4章 単位認定

第7条（単位認定方法） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。

- （1）授業出席率が75%（アーティスト美容専門学校美容科実習科目は80%、2022年度生より全科目85%）以上であること。
- （2）総合評価点が60点以上であること。

- 第8条（総合評価点） 各授業または単元終了時の「テストの点数」及び授業の取り組み状況から決定される「平常点」・「課題点」から決定される。点数配分は各科目の内容により異なる。
- 第9条（平常点・課題点） 平常点と課題点は、授業の取り組み状況から決定される。点数配分は各科目の内容により異なる。
- 第10条（学期末試験・評価）
各科目の評価は前期・後期それぞれの期末に実施する。評価結果は保護者または保証人に郵送通知する。（アーティスト美容専門学校美容科通信課程を除く）

- 第11条（成績評価ランク）
算出された総合評価点に基づき、下記のように成績評価ランクを決定する。

総合評価点	ランク	グレード ポイント	合否	基準
90点～100点	A	4.0	合格	特に優れている。
80点～89点	B	3.0	合格	優れている。
70点～79点	C	2.0	合格	一定の水準を満たしている。
60点～69点	D	1.0	合格	最低限の理解をしている。
0点～59点	F	0.0	不合格	学習目標に達していない。

- 2 GPA の適用
GPA とは“Grade Point Average”の略で、学生の成績評価方法の一つであり、本学園では学生自身が学習効果を数値化して把握するため、GPA を適用している。履修した科目の評価「A」、「B」、「C」、「D」、「F」に対して、それぞれ「4」、「3」、「2」、「1」、「0」のGP（Grade Point）を与え、取得したポイント（GP×単位数）の合計を履修登録された総単位数で割った、1単位あたりの成績の平均値である。
- 3 GPA の算出方法
（4×「A」の単位数＋3×「B」の単位数＋2×「C」の単位数＋1×「D」の単位数＋「F」の単位数×0） ÷ 総履修登録単位数
※特別単位はGPAの計算に算入されない。
- 4 客観的指標に関する判定に GPA を利用する際は、各校で当該単年度の全学生※を母集団として算出する。
※国際外語専門学校は日本語学科生、国際コミュニケーション学科生を除く。

- 第12条（追試験）
追試験とは、総合評価点が単位認定基準を下回った者に対して行われる試験をいう。すべての教科において追試験が行われるとは限らない。
- 2 原則として、当該科目の出席率が75%以上でなければ、追試験を受験することはできない。
- 3 追試験の結果、合格した場合においてもその教科の総合評価点は60点となり、「D」評価と判定される。
- 4 追試験は「追試発表日」に対象者を発表し、各学期末試験期間終了後、追試験期間に行われる。対象者は追試験受験願と1科目につき1000円の追試験受験料を定められた期日までに事務局に提出しなければならない。
- 5 追試験の代わりに、追課題を課す場合がある。発表と申込方法は追試験に準じる。

- 6 不認定となった者を対象に補講を行う場合がある。補講で単位を修得した場合その教科は「D」評価と判定される。※補講について有料となる場合がある。

第13条（単位認定区分）本学園では単位認定の対象として「正規単位」と「特別単位」がある。

第14条（正規単位） 「正規単位」として認定する科目は以下の通りとする。

必修科目・ 必修選択科目	コースカリキュラムに記載されている、該当コース生として必修、または選択が必要な科目。
正規選択科目	学園又は各校が開催する必修に準ずる選択科目。

第15条（特別単位） 「特別単位」として認定する対象は以下の通りとする。

（※アーティスト美容専門学校 美容科は対象外）

検定・資格	学園が認定した検定試験に合格した場合、または資格を取得した場合。単位数は検定・資格により異なる。
学園または各校が指定する活動	海外研修、各校 English Plaza、インターンシップへの参加や、コンテスト入賞を単位認定する場合がある。単位数は活動内容により異なる。

2 特別単位については、

- （1）原則として正規科目の授業の出席良好な者に対して単位認定される。
- （2）10単位を限度に卒業、進級必要単位に加算することができる。
- （3）上記以外でも学校長が認めた活動に対し認定される場合もある。

第16条（成績通知） 成績は、学期または必要に応じて、保護者（保証人）あてに、通知される。

第5章 授業

第17条（授業スケジュール・時間割）

授業スケジュール、休暇期間、学校行事日程等は別途「年間スケジュール」として定める。

2 各学科、コース、クラスごとに学習する授業科目を掲載したクラス別の授業時間割を各学期授業開始前のオリエンテーション等にて配布する。

第18条（授業時間帯）授業時間帯については以下のとおりとする。

時限	時間
1時限目	09:15～10:45
2時限目	11:00～12:30
3時限目	13:30～15:00
4時限目	15:15～16:45
5時限目	17:00～18:30

2 最終下校時刻については各校教務課より連絡する。

第19条（学生の呼び出し、学生・教職員の個人情報について）

緊急の場合を除き、授業時間帯の学生の呼び出しには応じない。

2 学生（卒業生を含む）や教職員の住所・電話番号等の問い合わせには、プライバシー保護のため一切応じない。

第20条（交通機関の運転見合わせ・天候等による休講）

交通機関の運転見合わせ、台風などの自然災害による休講は以下のように判断する。

1 天候による休講

- （1）該当日に大阪府のいずれかの地域に特別警報か暴風警報が出ている場合、午前7時の段階で解除されなければ、1・2限の授業は休講となる。
- （2）該当日の午前10時の段階でも解除されなければ、その日の授業は全て休講となる。
- （3）午前7時から午前10時の間に上記の警報が発令された場合は、1・2限の授業は休講となる。午前10時以降に上記の警報が発令された場合は以降のその日の授業は全て休講となる。

2 交通機関の運転見合わせによる休講

- 学園各校最寄り駅（大阪駅、梅田駅、中崎町駅）発着路線が複数運転見合わせとなり、多数の学生の通学が困難となった場合は、学校長の判断で休講となることがある。
- （1）該当日の午前7時の段階で通学困難と判断した場合、1・2限の授業は休講となる。
 - （2）該当日の午前10時以降も引き続き通学困難と判断した場合、その日の授業は全て休講となる。
 - （3）該当日の午前7時から午前10時の間に通学困難と判断した場合は、1・2限の授業は休講となる。午前10時以降通学困難と判断した場合は以降のその日の授業は全て休講となる。（帰宅困難が予想されると判断した場合も同様。）

3 地震や津波などの自然災害が発生した場合、特別休講になることがある。

第21条（出席率・欠席・遅刻・離席・早退）

全ての授業科目は、出席率が75%（アーティスト美容専門学校美容科実習科目は80%、2022年度生より全科目85%）以上でなければ、授業科目の単位認定は行わない。

2 下記の理由で欠席し、必要な書類を提出した場合は、出席扱いとする。

理由	内容
忌引	○両親7日 ○兄弟姉妹・祖父母・おじ・おば 3日
結婚式	○両親・兄弟姉妹 1日
感染症	○「学校保健安全法施行規則」に定められたものは、出席停止とする。またその期間は同規則に従う。 ＜第1種＞ エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、重症急性呼吸器症候群（SARS）、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、ポリオ、ジフテリア、鳥インフルエンザ（H5N1） ＜第2種＞ インフルエンザ、百日咳、はしか、おたふくかぜ、風疹、水ぼうそう、咽頭結膜熱、結核・髄膜炎菌性髄膜炎 ＜第3種＞ コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、

	溶連菌感染症、ウィルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑、感染症胃腸炎（ノロウィルスなど）、マイコプラズマ感染症等
就職活動	○企業訪問・就職試験・内定後の呼び出し・研修等 ○その他各校進路指導課が認めた場合
天候による自宅待機	○居住地域に暴風警報・避難指示（レベル４以上）が出て自宅待機となった場合
新型コロナウイルス感染症	本人、同居している家族、同居人が、 ○PCR 検査で陽性と診断された場合 ○濃厚接触者に認定された場合 ○そのほか、医師が自宅待機を命じた場合
その他	○各校教務課または学校長が認めた場合

（アーティスト美容専門学校美容科は就職活動の公欠は認めない）

- ３ 遅刻は授業開始後２０分までとし、２０分を超える入室は欠席扱いとなる。
（授業を受けることは可能）。
交通機関の遅れで遅刻をした場合は、各交通機関が発行する「延着証明書」を提出すれば出席扱いとなる。
- ４ 授業中に席を離れたり教室から出た場合は、離席となる。
- ５ 授業終了前に退出した場合は早退となる。
- ６ 遅刻、離席、早退により、合計２０分間以上席を離れた場合は欠席扱いとする。
- ７ （同一科目で）３回の遅刻、離席、早退で、欠席１回とみなす。

第６章 学籍事項及び学費等

第２２条（学生証） 学生証は、本学園の学生であることを証明する身分証明書であり、常に携帯しなければならない。
学生証については以下の事項に留意することとする。

＜学生証に関する留意事項＞

- （１）学園の教職員の請求があった場合、必ず呈示しなければならない。
- （２）休学または退学する場合、または除籍となる場合は、直ちに事務局に返却しなければならない。
- （３）学生証を紛失したり、汚損したりしないように取扱いに注意すること。紛失・盗難にあった場合は、すみやかに事務局へ届け出ること。（再発行にあたっては事務局の指示に従うこと。）

第２３条（学籍番号・コース略称・クラス略称）

在学中の事務取扱は、学籍番号またはクラス・出席番号によって処理を行う。

２ 在籍中、個人やクラスに対して連絡をする場合、コース略称やクラス略称を利用する場合がある。各学校・各コースのコース略称・クラス略称は別途これを定める。

第２４条（休学）

休学とは、学生が在籍のまま学校を長期間休むことである。

休学は各校学則の該当事項に従い、休学期間は通算２年以内とし、それを越えた場合は退学となる。

- ２ 休学にあたっては、「休学届」を提出しなければならない。

休学届には本人および保護者（保証人）の承認が必要である。

3 休学するには、休学を申し出た当該年度の授業料と諸経費を完納する必要がある。

4 学校から貸与されているPCやタブレットは「休学届」提出時に返却する必要がある。

第25条（復学）

復学とは、休学していた学生が再びもとの学校に復帰することである。

休学した者が、届け出て復学することができる。

復学するには復学届の提出と学校長の許可が必要である。

2 復学は許可を受けた翌年度の4月1日からとなる。

年度途中での復学は認められない。

第26条（退学）

退学とは、学生が在学中に、特別の理由で学校をやめることである。

本校に在籍した記録は残される。従って、希望があれば成績証明書の発行は可能である。

2 退学するにはクラス担任・教務課と面談したうえ、退学届の提出が必要である。

退学届には本人および保護者（保証人）の承認が必要である。

3 退学を申し出た当該年度の授業料と諸経費を完納する必要がある。

4 学校から貸与されているPCやタブレットは「退学届」提出時に返却する必要がある。

第27条（除籍）

除籍とは、台帳から記録を削除することであり、本校に在籍した記録は削除される。

休学・退学届提出後2ヶ月以上、当該年度の授業料と諸経費が完納されていない場合、原則として除籍される。

2 学校から貸与されているPCやタブレットは除籍確定時に返却する必要がある。

第28条（編入学）

2年制課程修了後、3年制以上の課程への編入学を認める場合がある。

第29条（特待生制度）

入学の際の選考結果などに応じて、年間学費（一部もしくは全額）を免除する特待生制度を設定する。

2 特待生はその成績により、免除額が異なる。

第30条（学費）

本学園における学費とは、募集要項に規定する入学金、授業料、施設設備費等をいい、寄付金や学債の負担義務はない。

2 教材費、各種検定受験料、各種行事費、卒業経費等は各自が実費を負担するものとする。

第31条（学費納入期日及び納入方法）

入学を許可された者は、学費を所定の期限内に納めなければならない。

2 1年次後期以降の学費は学園の規定する期日までに納入しなければならない。

第32条（学費納入に関する注意事項）

納入後の学費は、理由の如何を問わず一切返還しない。

2 学費滞納者は進級、卒業を認めない。また、2ヶ月以上滞納した場合は除籍となる。

3 学費納入に関する相談は事務局にて行う。

第33条（奨学金制度）

本学園に在籍し、経済的理由により修学困難な学生のために「日本学生支援機構奨学金」等の奨学金制度を紹介する。

2 各奨学金の申込に関する詳細は、募集時期に案内する。

3 奨学金制度に関する相談は事務局にて行う。

第34条（褒賞）

本学園の学生は、以下の基準において表彰を受けることができる。

皆勤賞以外の表彰者は教職員が推薦し審査の上、学校長が決定する。

- 1 大阪府知事賞・・・出席率・成績ともに優秀で模範となる学生生活を送った者。
- 2 大阪府専修学校各種学校連合会会長賞・・・出席率・成績ともに優秀で多くの資格検定試験に合格した者等。
- 3 学校長賞・・・他の学生からの人望が厚く、模範となる学生生活を送った者。
- 4 皆勤賞・・・各年度において1年間、無遅刻・無欠席であった者。
（学校の指定する行事を含む場合もある。）

第7章 教育水準維持向上への取り組み

第35条（学校評価）

本学園各校は、その教育の一層の充実を図り、目的及び社会的使命を達成するため教育活動その他の学校運営の状況について、自ら点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学園各校は自己評価結果を踏まえ、関係者等による評価（以下「学校関係者評価」という。）を行い、その結果を教育活動等に活用するとともに公表するものとする。
- 3 前2項に定める自己評価及び学校関係者評価の実施並びに結果の公表について必要な事項は、別に定める。

第36条（教育課程編成委員会）

文部科学省より職業実践専門課程の認定を受けた本学園各校の学科または申請学科

（ECC国際外語専門学校 エアライン学科、ホテル・観光学科、こども教育研究学科、ECCコンピュータ専門学校 高度情報処理研究学科、マルチメディア研究学科、マルチメディア学科、ECCアーティスト美容専門学校 トータル・メイク学科、アーティスト学科、美容科、以下「職業実践専門課程認定（申請）学科」という。）は、その教育の一層の充実を図るため、企業、団体等と連携し教育課程編成委員会（以下「委員会」という。）を設ける。

- 2 職業実践専門課程認定（申請）学科は、委員会の意見を活用して、教育課程の編纂を行う。
- 3 前2項に定める委員会の実施並びに意見の活用について必要な事項は、別に定める。

第37条（教員研修）

本学園各校の職業実践専門課程認定（申請）学科は、その教育の一層の充実を図るため、企業、団体等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修等や指導力の修得・向上のための研修等を実施する。教員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務等に応じて、各校教務課が主体となって専攻分野における実務に関する研修等と指導力の修得・向上のための研修等をそれぞれ毎年度1回以上実施するものとする。

第8章 そ の 他

第38条（懲戒）

学校長は、学則に従って教育上必要と認めるとき、以下の懲戒を加えることができる。

退学・停学・出席停止処分について

下記の事項に該当する者には退学・停学・出席停止を命ずることがある。

- ・素行不良で改善の見込みがないと認められる者。

- ・ 正当な理由なしに出席が常でない者。
- ・ 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。
- ・ 犯罪行為を行った者。

2 除籍・出席停止処分について

下記の事項に該当する者は、除籍・出席停止処分を命ずることがある。

- ・ 正当な理由をなくして授業料の納付義務を怠り、督促してもなお納付しない者。

第39条（アルバイト） アルバイトは原則許可するが、風俗営業に関わる店舗でのアルバイト、及び深夜アルバイト等学業に支障をきたすものは禁止する。

第40条（施設の利用） 学園内の全ての教室、施設は公共のものであり、大切に扱わなければならない。

- 2 施設・設備に対し、公共の意識に反する行為を行なった者に対しては、学則に従い、処分する。
- 3 教室および共有部分に私物を置くことは禁止する。

第41条（事故防止） 盗難事故・交通事故に関しては各自充分注意すること。

事故防止に関して以下の事項に留意すること。

- （1）学園には、必要以上の現金や貴重品を持参しないこと。
- （2）各自の所持品は自己管理すること。

第42条（バイク・車での登校禁止・自転車通学）

バイク（50cc 含む自動二輪車）又は車での登校は禁止する。

- 2 自転車で通学をする場合は、自転車保険に加入し事務局にて許可を得た上、指定された場所に駐輪すること。また許可シールを所定の場所に貼り付けること。

第43条（喫煙・携帯電話等）

学園施設・校舎内はすべて禁煙とする。国際外語専門学校生およびコンピュータ専門学校生には、定められた場所でのみ喫煙を許可する。

- 2 携帯電話は授業の支障とならないよう留意すること。

第44条（留学生特別規則）

以下の事柄を留学生にのみ適用する。

必修授業の出席率が90%を下回った場合、翌年度の学費ランクが下がる。ただし、3年制以上のコースは、2年次の年間出席率が95%を超えると、学費ランクを元に戻す。

- 2 資格外活動の許可（入管法第19条（資格外活動の許可）に基づき、アルバイトは1週間につき28時間以内とする。長期休暇期間は1日8時間、1週間40時間までとする。また、夜0:00～5:00までのアルバイトは原則禁止とし、勤務可能な日は卒業式に出席する日までとする。

- 3 留学生の留年、休学、転科は、学校長が許可した場合のみ認められる。

- 4 留学生が退学する場合、退学届提出後2週間以内に帰国しなければならない。

第45条（規約の改廃）この規約の改廃は、学園運営会議の承認を受けて行う。

附 則

（附則）

この教務規約は平成20年4月1日より施行する。（山口学園3専門学校の教務規約を統一）

平成21年 4月 1日 一部改訂（授業時数・授業時数の単位数への換算を追加他）

平成22年 4月 1日 一部改訂（進級・卒業単位数の統一他）

平成23年 4月 1日 一部改訂

平成24年 4月 1日 一部改訂（授業時数・授業週数変更他）

平成25年10月1日 一部改訂（学校ごと学校評価、教育課程編成委員会、教員研修を追加）

平成26年 4月 1日 一部改訂

平成27年 4月 1日 山口学園3専門学校の教務規約を再統一し改訂（国際外語・コンピュータの2年生以上を除く進級・卒業単位数変更、成績評価ランク・総合評価点変更、国際外語の2年生以上を除く特別単位認定数の上限設定他）

平成28年 4月 1日 一部改訂（ECCアーティスト美容専門学校に校名変更、進級・卒業単位数と特別単位認定数の除外学年規程削除他）

平成29年 4月 1日 一部改訂（懲戒について変更）

平成31年 4月 1日 一部改訂（成績評価、特別単位、交通機関の運転見合わせ・天候等による休講、休学、復学、退学、除籍、懲戒、留学生特別規則等の変更または追加）

令和 2年 4月 1日 一部改訂（成績評価ランクの規定追加）

令和 3年 4月 1日 一部改訂（新型コロナウイルス感染症による出席停止）

令和 4年 4月 1日 一部改訂（留年、出席率・欠席・遅刻・離席・早退、休学、退学、除籍、ECCアーティスト美容専門学校学科名の変更・美容科出席率の変更または追加）

令和 5年 4月 1日 一部改訂（退学の項目に追記、授業時間帯より6時限目を削除）

ECC アーティスト美容専門学校 事務局

事務局について.....

■ 本学の各種事務手続は以下の事務局にて行います。

名称	ECCアーティスト美容専門学校事務局
所在地	2号館：〒530-0015 大阪市北区中崎西2丁目6番11号
電話番号	TEL 06-6373-1447 FAX 06-6375-0020
受付時間	平日 9:00～17:15 （電話は 8:30 以降受付）
休み	土曜・日曜・祝日・学校指定の休校日

事務局の役割.....

■ 事務局では以下のような事務手続を行います。

証明書	在学証明書・卒業証明書・卒業見込証明書・成績証明書・健康診断書の申し込み受付をします。
願書・届書	証明書発行願・公欠届・住所等変更届の届書を設置してあります。
電話連絡	学校への電話連絡、授業の遅刻、欠席の電話連絡等の窓口となっています。学生への伝言、呼び出しは出来ませんのでご了承ください。
各種試験の申込	資格試験・検定試験の申込窓口となります。 受付期間は各試験により異なります。
書類等の販売	下記の書類等を販売しています。 口履歴書・封筒 1セット 200円
学割証の発行	年間10枚まで（1回につき2枚まで）学割証を発行します。 ※購入の際に学生証とともに鉄道会社窓口へ提示してください。
奨学金制度	日本学生支援機構の案内・申請手続等を行います。

証明書の交付を希望するとき.....

■ 「証明書発行申請願」に必要事項を記入し、発行手数料を添えて事務局に提出してください。詳細は以下の表を参考にしてください。

証明書	発行に必要な書類	備考
在学証明書	証明書発行申請願	<u>手数料</u> 1通200円 （英文の場合は400円） <u>発行日</u> 申請日の翌日午後より （事務局が休みの日を除く）
卒業証明書		
卒業見込証明書		
成績証明書		
健康診断書		

■ 事務局窓口のみ受付します。電話・郵便・メールでの申し込み、郵便での受け取りは不可。

■ 申請時及び受け取り時には申請の際の領収書を必ず持参してください。

■ 発行日は諸般の事情にて遅れる場合がありますのでご了承ください。

■ 英文の場合は1週間程かかります。

学生証・在籍確認票をなくしたとき.....

- 「学生証（名札）再交付願」に必要事項を記入し、交付手数料を添えて事務局に提出してください。
また、不正使用により、被害を受ける危険もありますので、警察にも届けてください。

項目	発行に必要な書類	備考
学生証の再交付	学生証再発行願	<u>手数料</u> 1通1500円 <u>発行日</u> 申請日から約1週間 （事務局が休みの日を除く）
在籍確認票の再交付	在籍確認票再発行願	<u>手数料</u> 100円 <u>発行日</u> 申請日の翌日午後より （事務局が休みの日を除く）

- 事務局窓口のみ受付します。電話・郵便・メールでの申し込み、郵便での受け取りは不可。
- 発行日は諸般の事情にて遅れる場合がありますのでご了承ください。

学割の発行を希望するとき.....

- 「学割発行申込願」に必要事項を記入し、事務局に提出してください。

項目	発行に必要な書類	備考
学割の発行	学割発行申込願	<u>手数料</u> 必要ありません。 <u>発行日</u> 申請日の翌日の午後より （事務局が休みの日を除く） <u>発行数</u> 1回の発行に2枚まで申請ができます。 年間に一人10枚まで申請できます。

- 事務局窓口のみ受付します。電話・郵便・メールでの申し込み、郵便での受け取りは不可。
- 受け取り時には学生証を必ず持参してください。
- 発行日は諸般の事情にて遅れる場合がありますのでご了承ください。

学費納入方法と期限（2. 3年次）.....

納入形態	納入方法	期限等
一括納入	年額を全額一括で納入	3月指定期日まで
分割納入	年額を2回に分けて納入	第1回目 3月指定期日まで 第2回目 7月指定期日まで
提携教育ローン	ローン会社における支払い	<u>申込方法</u> 直接ローン会社にお申し込みください。リーフレットは学費案内に同封いたします。

学園生活にあたって

授業・単位・試験について

授業への出席

- 短い修学年限の中で高度な技術を習得するためには集中して学習する必要があります。本学園では授業への出席率を重視し、授業出席率が75%（アーティスト美容専門学校美容科実習科目は80%、2022年度入学生より全科目85%）に満たない場合、その科目の単位認定は行われません。つまり試験で高得点をとっても、出席率が足りなければ単位認定は行われません。必ず授業に出席し、担当講師の指導を受けその科目の技術を習得するよう心がけましょう。
- 日々の健康管理に留意し、授業に出席することを生活の基本にすることを考えましょう。自分の出席率、出席状況はWeb上で閲覧できます（学校アプリにリンクされています）。
- 授業開始時刻から20分以内の入室は「遅刻」とし、20分を超える入室は「欠席」とします。「遅刻」や遅刻による「欠席」となった場合でも、入室後に授業を受講することは可能です。授業終了時刻より前に退出した場合は「早退」とします。授業中にやむをえず「離席」する場合は担当講師の許可が必要です。1回の授業（1コマ）のうち「遅刻」「離席」「早退」の合計が20分を超えた場合はその授業を「欠席」したものとします。同一科目で「遅刻」「早退」「離席」を3回行なった場合、この科目のうち1回（1コマ）を欠席として扱います。
- 交通機関の遅れで遅刻した場合、「入室許可書」を記入した上で、各交通機関が発行する「延着証明」を事務局に提示し、受付印をもらった後、「入室許可書」を担当講師に提出してください。内容が確認できれば「出席」とします。
- やむをえず授業を欠席する場合は、授業開始時刻までに必ず学校に原則本人が連絡してください。
- 校舎に出入りする際および授業に出席する際は必ずネームタグを着用してください。

単位の認定

- 本学園では単位認定の対象として「正規単位」と「特別単位」があります。

正規単位

必修科目・必修選択科目	コースカリキュラムに記載されている、該当コース生として必修または、選択が必要な科目。
正規選択科目	各校が独自に開催する自由に選択できる科目。
追加履修科目（補講科目）	進級・卒業単位に満たない者に対して、追加実施する科目。登録が有料となる場合がある。

特別単位（※アーティスト美容専門学校 衛生専門課程は対象外）

検定・資格	学園が認定した検定試験に合格した場合、または資格を取得した場合。単位数は検定・資格により異なる。
学園または各校が指定する活動	海外研修、各校 English Plaza、インターンシップへの参加や、コンテスト入賞を単位認定する場合がある。単位数は活動内容により異なる。

特別単位認定制度の適用について

- 原則として正規科目の授業の出席良好な者に対して単位認定されます。
- 上記以外でも学校長が認めた活動に対し認定される場合もあります。
- 取得上限は10単位となります。
- 検定・資格の合格を証明する書類(コピー)にクラス・学籍番号・氏名・受験月を記入し、年度内に事務局に提出してください。
- ※各コースのカリキュラムや単位数はWebでも閲覧できます（学校アプリにリンクされています）。
- 各科目における単位は以下の条件によって認定されます。

- | |
|--|
| (1) 授業出席率が75%以上であること。
(アーティスト美容専門学校美容科実習科目は80%以上、2022年度入学生より全科目85%)
正規科目の場合・・・
(2) 総合評価点が60点以上であること。
選択科目の場合・・・
(3) 授業担当講師などの定める基準を満たすこと。 |
|--|

成績の評価.....

- 成績は「総合評価点」に基づいて決定されます。総合評価点は100点満点で、各授業や学期末に実施する試験の点数や、授業への取組状況および授業態度などの平常点、授業で出された課題提出状況などの課題点の合計で算出します。
- 成績は課題点のみ、あるいは平常点と課題点の合計で算出する場合もあり、試験の点数、平常点、課題点の割合は科目によって異なります。
- 総合評価点の結果に基づいて「評価ランク」が決定されます。点数に応じる評価ランクは「教務規約第12条（成績評価ランク）」の記載通りです。

進級・卒業.....

- 各学校の学則に定められた必要単位数を修得し、授業料、教材費・諸経費をすべて納入した者に対して、学年末に学校長が進級（卒業）を認定します。
- 進級・卒業単位数・要件はコースごとに異なります。
- 進級要件・卒業要件を満たさない者は留年となります。留年となった場合は、前年度に修得した単位は無効となり、再度全科目の受講が必要です。
- 1年次に留年し、もう一度同じ学年となる場合は再入学となります。この場合、前年度と同じコースに入学できるとは限りません。

試験について.....

- コースにおいて正規授業として組み込まれている科目は各学期（前期／後期）末や授業内にて試験を行う科目があります。追試験・補講については以下を参考にしてください。

追試験・追課題	□総合評価点が単位認定基準を下回った場合、「追試験」「追課題」を行う場合があります。すべての教科において追試験・追課題が行われるとは限りません。 □原則として、当該科目の出席率が75%以上でなければ、追試験を受験することはできません。 □追試験の結果、合格した場合においてもその教科の総合評価点は60点となり、「D」評価と判定されます。 □追試・追課題対象者は受験願と1科目につき1,000円の受験料を、定められた期日までに事務局に納入しなければなりません。 □追試験の代わりに、追課題を課す場合があります。発表と申込方法は追試験に準じます。
補講	□不認定となった者を対象に補講を行う場合があります。補講で単位を修得した場合その教科は「D」評価と判定されます。 ※補講については有料となります。

成績について.....

- 成績報告書は前後期期末に、保護者または保証人に通知します。
- 保護者または保証人に通知する各期末の成績報告書には、各科目の評価点、評価ランク、出席率および担任の所見が明記されますが、事務局で発行する成績証明書には単位を修得した科目の評価ランクのみが記載されます。（一部学科で記載事項が異なる場合があります。）

学生表彰・特待生制度

■本校学生はすべて、以下のような表彰の対象となります。皆勤賞以外の表彰者は教職員が推薦し教務課にて審査の上、学校長が決定します。

大阪府知事賞	出席率・成績ともに優秀で模範となる学生生活を送った者
大阪府専修学校各種学校 連合会会長賞	出席率・成績ともに優秀で多くの資格検定試験に合格した者等
学校長賞	他の学生からの人望が厚く、模範となる学生生活を送った者または団体
皆勤賞	各年度において1年間、無遅刻・無欠席であった者

学費・奨学金制度

学費について

- 本学園における学費には入学金・授業料・施設設備費等が含まれます。2年次以降、入学金は必要ありません。
- 在籍を許可された者は、学費を所定の期限内に納めなければ進級、卒業が認められません。
- いったん納入された学費は、4月1日以降、理由の如何を問わず一切返還されません。

授業料および教材費等納入の留意事項

- 納入期限の概ね2週間前までに指定の銀行振込用紙を同封した書類を郵送します。
- 振込以外の納入（現金持参による事務局での支払いなど）はできません。
- 振込の際は、本学園指定の振込用紙を使用して銀行窓口にて行なってください。
（三菱UFJ銀行の三菱UFJダイレクト／ATM／窓口を利用された場合は、銀行振込手数料は当学園負担となります。）
- ATMも可能ですが、学籍番号・学生氏名の入力漏れがないように注意してください。
- 国の教育ローン（日本政策金融公庫）・銀行ローンの申込みにおいて本学園生における手続き代行はしておりません。各取り扱い窓口に直接申し込んでください。

奨学金制度・学費納入に関する相談

- 日本学生支援機構奨学金は事務局が扱っています。毎年4月中旬に学内にて説明会を実施します。
- 奨学金制度は政府政策の変更などにより制度変更・廃止される場合があります。
- 地方自治体によっては独自の奨学金制度を実施しているところもあり、本学園生も対象となっています。詳しくは各自自治体にお問い合わせください。
- 特に何らかの理由により家計が急変し、学業継続が困難になった場合や学費納入に関して困ったことがあれば、担任の先生を通じて事務局にご相談ください。
- 奨学生認定後、長期欠席・休学・退学等の異動事由が生じた場合は、速やかに事務局へ届け出てください。

学生証・学籍番号・通学定期券・自転車通学

学生証・学籍番号

- 学生証は本校在学学生であることを証明する身分証明書です。常に携帯してください。在学中のすべての事務手続きは学籍番号によって行ないます。
- 学生証は紛失・盗難・汚損などのないように取り扱いに注意してください。もし、紛失や盗難にあった場合は、必ず事務局へ届け再発行の手続きをしてください。また、警察署へも届け出てください。
- 再発行手続きおよび手数料については、「事務局」のページをご参照ください。
- 本校および学園の施設を利用する場合は学生証を呈示する必要があります。

- 通学定期券を購入する場合は、学生証と在籍確認票が必要です。
- 学生証は、退学、除籍の理由で本校生の身分を失った場合は直ちに事務局へ返却してください。

通学定期券の購入.....

- 通学定期券は、自宅の最寄り駅から本学園の最寄り駅までの区間に限り購入することができます。
- 購入区間については、年度はじめに事務局にて申請した内容が在籍確認票に記入されます。在籍確認票に記入された利用交通機関・通学区間で購入してください。申請区間以外の定期券の購入はできません。
- 通学定期券購入の際は、駅に備え付けの定期乗車券購入申込書に必要事項を記入し、学生証および在籍確認票を定期購入窓口に提示してください。
- 住所変更等により通学区間を変更する場合は、速やかに事務局にて「住所変更届」を提出してください。
- 定期券を使って交通機関を利用する場合は、必ず学生証および在籍確認票を携帯し、駅係員の請求があった場合は呈示してください。

学割証の発行.....

- 学割証は、本学園生が、片道営業キロが100kmを超える区間を乗車する場合、割引普通乗車券を1人1回に限り購入できる証明書です。原則、帰省・就職および進学活動・保護者随行旅行・見学などの目的に使用する場合に限り発行します。（※保護者随行でない旅行は原則発行できません。）
- 学割証は、事務局備え付けの学割申込書に必要事項を記入し、学生証を添えて申し込んでください。
- 交付枚数は年度毎に1人10枚迄に限られ、1回の発行枚数は原則として2枚以内です。

学割証の使用については学割証裏面の注意事項を厳守することはもちろん、次の事項に注意してください。

- 学割証は本人に限り使用できますが、学生証・在籍確認票を携帯しない場合は使用できません。
- 学割証は、片道100kmを超える区間を乗車・乗船する場合に使用でき、有効期間は発行日から3ヶ月以内です。

通学定期・自転車通学.....

- 通学定期券・学割証は、以下のような使用は「不正使用」となります。

- 通学区間・最寄り駅の虚偽申請（定期券の場合）
- 本人以外が使用する。
- 学生証・在籍確認票を持たずに使用する。
- 通用期間経過後に使用する。
- 表示事項を自分で改変し使用する。
- キセル乗車（乗車駅と降車駅近くの乗車券を使い、中間の料金をごまかすこと）をする。

- 不正が発覚した場合、通学定期券は交通機関に没収され、乗車区間の3倍に相当する運賃が請求されます。これにより学校は交通機関からの通学定期券購入・学割証発行の特典を喪失し、以降本人だけでなく他の学生全員が通学定期券の購入および学割証の利用ができなくなります。
- 不正使用を働いた学生は、学則に従い退学の処分を行います。
- 自転車通学を希望する場合は、事務局に申し出て所定の手続きを行ってください。（年間登録費300円）
- 大阪府では「大阪府自転車条例」により自転車利用者の保険加入が義務づけられています。保険に加入し、自転車シール購入時に申請書へ防犯番号、保険加入番号の記入が必要です。

こんな時は？

アルバイトをするとき.....

- アルバイトは学業に支障がない範囲に限って認めます。
- ただし、風俗営業に関わる店舗でのアルバイトに従事することは認めません。
(アルバイトを認めない業種例) 客を接待して飲食させる店、パチンコ店、マージャン店など
- 学業に支障をきたすとみられる深夜のアルバイト等は認められません。

相談したいときや悩みがでてきたとき.....

- ひとりで解決しようとせずに、早めに誰かに相談しましょう。
 - ・学校生活全般の質問や悩み、学費の相談は担任の先生にしましょう。
 - ・進路相談は、担任かキャリアセンターの先生にしましょう。
 - ・体調が悪くなった時は保健室があり、看護師が常駐しています。
 - ・心の問題には、学生相談室のカウンセラーが対応します。

落とし物や忘れ物をしたとき.....

- 学内での落とし物や忘れ物は、事務局に届くことになっています。
- 落とし物や忘れ物の問い合わせは、まず、ところあたりのある場所をさがし、それでもなければ事務局に問い合わせてください。ただし、すべての落とし物や忘れものが事務局に届くわけではないので自分の荷物はしっかり自己管理してください。
- 落とし物や忘れ物を見つけたときは、事務局へ届けてください。
- 落とし物や忘れ物は、各学期終了後、処分します。
- まれに学内での盗難なども発生します。以下のことに十分注意してください。

- ☐ 学校には、必要以上の現金や貴重品を持参しないでください。
- ☐ お金は各自で自己管理してください。
- ☐ 教室を離れるときには貴重品は必ず身につけてください。
- ☐ ロッカーに貴重品を入れないでください。支給されている iPad は貴重品とみなし、ロッカーへ置いて帰ることは禁止します。

台風や地震等の非常時には.....

- 学内にいて火事や地震が発生した場合は、学内放送などで避難誘導を行ないます。担当の先生の指示に従ってあわてずに行動してください。
 - 台風や地震の災害時や交通機関のストライキの場合は、休講となります。
 - 休講の判断は「教務規約第 20 条」をご覧ください。
 - 特別休講の規定に該当しなくても災害時は無理をして学校に来る必要はありません。それによって出席率が不利にならないように対処します。
- <無理をして学校に来ない方が良い場合>
- 大阪府以外の場所に住んでいて、その府県に暴風警報などが出ている場合。
 - 警報などは出ていないが、公的な交通機関が動いていない場合。
 - 家から出ることによって明らかに危険な状況の場合。
 - 状況を学校に連絡、欠席することを伝達してください。

呼び出し・照会.....

- 電話口への取次ぎはできません

保護者の方や友人等から電話による呼び出しを学校に依頼される場合がありますが、学校では学生一人ひとりの居場所について把握することはできません。従って、電話口への取次ぎや放送は一切行いませんので、予め保護者の方や友人たちに知らせておいてください。

- 学生（卒業生を含む）や教職員の住所・電話番号等の問い合わせには一切応じることができません。

1. 挨拶 私たちは明るく元気よく挨拶します！
コミュニケーションの基本は挨拶です。自ら元気に明るく笑顔で挨拶を行い気持ち良いコミュニケーションを始めましょう。指名や問いかけに対して「はい」と返事をする
ことも挨拶の一部です。また、注意を受けた時は「申し訳ございません」と素直に謝る
ことが必要です。
2. 言葉づかい 私たちは心のこもった美しい言葉づかいをします！
言葉づかいはその人を表します。礼儀正しく、相手を思いやった美しい言葉づかいは自
らの品位も高めます。
3. 身だしなみ 私たちは清潔で好感の持たれるよう身だしなみを整えます！
身だしなみでその人の第一印象が決まります。髪型・メイク・服装の汚れやしわ・靴・
香り・露出度を考慮した、清潔感のあるTPOに合わせた身だしなみが必要です。
4. 受講姿勢 私たちは謙虚な姿勢で意欲的に授業に取り組みます！
「教えていただく」という素直さと「自ら学ぶ」という積極的な気持ちで取り組み、よ
り多くのことをより深く習得しましょう。
5. 自己管理 私たちは責任ある行動を常に心がけます！
時間管理・健康管理・物品管理等の自己管理は自らの行動に責任を持つ第1歩です。自
己管理がしっかりとできている人は周りの人から信頼されます。
6. 報告/連絡/相談 私たちは報告・連絡・相談を確実に行います！
確実な報告、事前の連絡や相談をすることは社会人のマナーです。
「報・連・相（ほうれんそう）」を上手に行うには自分がいま何をしているか、何のため
に行っているのかを意識することが大切です。
7. ポジティブ思考 私たちは何事にも前向きに考え、行動に移します！
常に自分の中にプラスのイメージを持ち、自分で考え行動することは、良い結果を導き
ます。
8. 思いやり 私たちは気配り・目配り・心配りに努めます！
周りをよく見て、相手の気持ちを想像してみましょう。自らが思いやりのある言動で周
囲が少しずつ変化します。
円滑なコミュニケーションにより、あなたの周囲だけでなくあなた自身がより楽しく過
ごしやすくなります。

■私たちは「感謝」の気持ちを大切にします！

何事も一人ではできません。たくさんの人に助け支えられています。家族・友人・先生方等すべ
ての人に感謝の気持ちを持ち「ありがとう」という言葉を伝えましょう。

授業および学生生活上のルール・マナー

ECC 生としてふさわしい社会人としてのマナーを身につけましょう……………

■言葉遣い：学生は講師に対して敬語で話しましょう。

→どのような相手、どのような場面であっても丁寧な言葉遣いができるよう心がけましょう。敬語・丁寧語はすぐに身につくものではありません。就職活動時までに自然に使えるようになりましょう。

■挨拶：授業は挨拶で始まり挨拶で終わります。

→相手にとって気持ちの良い挨拶を自らできるようになれば、コミュニケーション力の基本は身についたと言えます。顔見知りであるかどうかに限らず、学内では誰とでも笑顔で挨拶ができるようになりましょう。

■受講準備：授業開始5分前に予鈴が鳴ります。教室の自席で準備を開始し、本鈴時には準備が整った状態にします。

→授業をただ受け身で他人ごとのように見るのではなく、教師の技術や知識を「自ら取りに行く！」という思いがあれば、自然に教室で教師を待つ姿勢が変わってくるはずです。準備万端で意欲に溢れた学生を前にすると教師はいつも以上に張り切って授業を行うものです。より充実した授業内容となることでしょう。

■荷物：飲食物・携帯・授業に不要なものは全て鞆にしまい足元に綺麗に置きます。

■身だしなみ：イベント・行事・コースにより、スーツ・制服など服装指定がある場合があります。また新入生は入学後指定された期間はスーツ着用をルールとしています。

■遅刻・早退・離席：遅刻・早退・離席をすることなく、授業に参加します。

→学生時代の自己管理不足は、成績不良や出席率不良という形で自分自身に返ってきます。しかし、社会人になると他者への迷惑という形になります。学生である今から、日々、自己管理能力を養いましょう。

■教室清掃：指定された授業では、終了前5分間に教室清掃を行います。

→本校は教室内の清掃は学生が行います。自分のためだけでなく、次に使う人のことを思いやり清掃できる態度を身につけましょう。

■入退室許可

□遅刻の場合：事務局で「入室許可書」に必要事項を記入し、事務局受付印をもらったあと教室に入ります。入室時に授業担当講師に提出してください。

□延着の場合：事務局で「入室許可書」に必要事項を記入し、交通機関で発行される「延着証明」を提示し、事務局受付印をもらったあと教室に入ります。入室時に授業担当講師に提出してください。

■喫煙：学舎内、学校周辺すべて禁煙です。

喫煙 1 回目……誓約書提出／保護者連絡／保健室での指導を受けます。

喫煙 2 回目……学校長・保護者・本人の三者面談／誓約書の提出／保健室での指導を受けます。

喫煙 3 回目……学校長・保護者・本人の三者面談／1 週間の停学処分／課題提出／保健室での指導を受けます。

■飲食：学校近隣の屋外、エレベーター内、廊下、1 階事務局カウンターなどでの飲食は禁止です。

→学校内には企業の方、学校見学の方等が随時来られます。学外では周囲の方は「どの学校の学生か？」という目でご覧になっています。一人一人のマナーへの意識が学校全体の印象の良し悪しを決めます。マナーは自分のためだけではないことを意識しましょう。

→Uber eats などの宅配、デリバリーを学内で利用することは禁止します。

→昼食場所は次の時限で使用する教室とします。ただし、写真スタジオ、BA実習室、着付け教室、フィッティングルーム、図書室での飲食は禁止です。

■土足禁止教室：着付け教室、フィッティングルームなど土足禁止の教室があります。

■学生証：学内では学生証をネームタグに入れて着用しましょう。

- 欠席・遅刻連絡：やむを得ず欠席・遅刻する場合は、授業開始時間までに電話で連絡してください。
→可能な限り自分自身が電話をしましょう。学生による学校への電話も社会人マナーの練習の一つとして指導しています。
- 事務局：事務局ではまずクラス・氏名を名乗りましょう。
- エレベーター：学内での通路の通行やエレベーターの乗降は外部の方々を優先してください。
→「お先にどうぞ」「失礼します」など美しい言葉を使いましょう。
- サングラス・帽子等：特別な事情がある場合を除き、サングラス・帽子の着用は認められません。
- タトゥー：刺青やタトゥーを新たに体に入れることは禁止します。

インターンシップ制度の規定について

■実習目的

早期から企業や店舗、イベント等に学外実習として参加することにより、各業界の現状を理解し、プロフェッショナルとしての技術と知識を取得する。また、人脈を構築することにより、卒業後は即戦力として各業界に通用する人材となることを目指す。

■実習開始時期

1 年次前期から実施。

※但し、礼儀作法や言葉遣い等のマナーが身に付いている学生から順次参加。

■実習期間

受け入れ先の企業や店舗が定める期間とする。

基本的に企業の都合を最優先とする。授業期間と実習が重複した場合は、公欠扱いとなる。（欠席が多く、成績が悪い場合には参加を許可されない。出席率と成績が良い学生のみ参加を許可される）

■公欠に関して

上記公欠扱いとなるのは、「インターンシップ申請書／公欠届」の提出をした学生に限る。

■単位認定

インターンシップという科目を設けて、以下の規定に則って単位取得可能。

『単発、連続にかかわらずインターンシップ参加日程の合計が7日以上に達した場合に1 単位認定される』

※単位認定には、終了後の報告書（インターンシップ報告書）の提出、ならびにインターンシップ単位認定申請書の提出が必要。

※最大 5 単位（年間）までの認定とする。

※同じ企業に数回参加しても複数回として計算して良い。

※同一科目でのインターンシップによる公欠は 7 回を上限とする。（プロ専科を除く）

※美容科はインターンシップ単位認定の対象外とする。

※授業以外の日程を対象とする。

（平成 25 年 4 月から適用）

各種申請手続

休学・復学・退学の申請

休学	休学とは、学生が在籍のまま学校を長期間休むことです。 休学は各校学則の該当事項に従い、休学期間は通算2年以内とし、それを超えた場合は退学となります。 休学にあたっては、「休学届」を提出しなければなりません。 休学届には本人および保護者（保証人）の承認が必要となります。 休学するには休学を申し出た当該年度の授業料、教材費・諸経費を完納する必要があります。
復学	復学とは、休学していた学生が再びもとの学校に復帰することです。 休学した者が、届け出て復学することができます。 復学するには復学届の提出と学校長の許可が必要となります。 復学は許可を受けた翌年度の4月1日からとなります。 年度途中での復学は認められません。
退学	退学とは、学生が在学中に、特別の理由で学校をやめることです。 本校に在籍した記録は残されます。 退学するにはクラス担任・教務課と面談したうえ、退学届の提出が必要となります。 退学届には本人および保護者（保証人）の承認が必要となります。 退学を申し出た当該年度の授業料、教材費・諸経費を完納する必要があります。

- * 休学・退学届提出後2ヶ月以上、当該年度の授業料、教材費・諸経費が完納されていない場合、原則として除籍とします。除籍とは台帳から記録を削除することであり、本校に在籍した記録は削除されます。
- * 日本学生支援機構の奨学生が休学・退学する場合は、すみやかに事務局に申し出てください。
- * トータルビューティスタイリストコース/ヘアメイクアーティストコースを退学した場合は美容通信課程も退学となります。

やむを得ない理由で欠席するとき

■すべての授業において、やむを得ない理由で欠席する場合は、出席すべき日数の調整を行ったり、該当の授業を出席扱いとすることがあります。「公欠届」（病気や忌引きなどの場合と就職関連の届出があります。以下を熟読してください）を提出してください。

■「公欠届」（忌引き、伝染病等）の提出の流れ

- ①登校可能になった日に「公欠届」を事務局で受け取り、公欠当日を含め8日以内に担任に提出してください。
「公欠届」が出ていない場合は出席扱いの処置は行いませんので、必ず「公欠届」を提出してください。
- ②その際に証明する書類、資料の提出が必要となります。添付を忘れないでください。インフルエンザなどの法定伝染病で欠席する場合は、医師の診断書を提出してください。詳しくは「教務規約第21条」をご覧ください。

■「インターンシップ申請書/公欠届」

- ①学校から学生にインターンシップの指示を出します。指示に従い「インターンシップ申請書/公欠届」を担任に提出してください。

■企業訪問・就職試験・内定後の就職先からの呼び出し・事前研修等の理由で欠席する場合も、「公欠届」を担任に提出してください。認められた場合、当該授業は出席扱いとなります。

■「就職公欠届」(就職関連)の提出の流れ

- ① 事務局備え付け「就職公欠届」に必要事項を記入し、キャリアセンター(もしくは教務課)より事前承認を受ける。
- ② 説明会、入社試験等に参加。
- ③ 企業の印鑑もしくは担当者の印鑑(サイン)をいただく。
- ④ 公欠当日を含め8日以内(各日17:15まで)に事務局に提出する。提出期限以降に提出された場合は、いかなる理由であっても一切認められません。

欠席する場合、遅刻・離席(早退)する場合.....

- 授業を欠席する場合は必ず担任の先生または事務局に連絡してください。
- 遅刻(離席、早退を含む)により、合計20分間以上席を離れた場合は欠席とします。
- 遅刻(離席、早退を含む)3回で、欠席1回とします。

本人および保護者情報に変更があった時

- 学校に届けている本人および保護者情報(住所等)に変更が発生した場合は、すみやかに所定の「変更届」を事務局に提出してください。必要な書類は事務局に準備してあります。

通学経路を変更したいとき.....

- すみやかに「変更届」と在籍確認票を事務局に提出してください。「変更届」は事務局に準備してあります。なお、変更経路が認められない場合もあります。

バイク・自動車・自転車通学……………

- バイク（50cc 含む）・自動車での通学は認められていません。違反した場合は学則に従い処分の対象となります。
- 自転車での通学を希望する場合は、事務局にて「駐輪許可申請書」を提出し、自転車シール（年間登録費300円）を受け取ってください。
- 自転車シールが貼ってある自転車のみ学校の駐輪場を利用することができます。
- 自転車は必ず指定の場所に停めてください。 ※指定場所以外の近隣等に停めることを禁止します。

校舎内・校舎間の移動……………

- 校舎内の移動の際は、互いにスムーズな移動ができるように心掛けましょう。
- 校舎間の道路は公道です。一般の通行の方や付近の住民の方の迷惑にならないよう速やかに移動し、道路上で立ち止まったり、広がって歩いたりしないようにしましょう。

携帯電話のマナー……………

- 授業中は携帯電話の電源を切るか、マナーモードにして使用しないでください。

不快な行動は慎みましょう……………

- 学校生活は共同生活です。周囲を気にかけない、自分だけが良ければいいという行動は慎んでください。
- 休憩室で飲食した自分のゴミは自分で処分しましょう。また机の中にゴミや私物をいれたままにしないでください。机の中はゴミ箱ではありません。
- 学内の施設や設備はお互いの共有物です。大切に扱いましょう。
- 授業中、帽子をかぶる、ガムをかむ、ヘッドホンをする、雑誌を読む、ゲームをする、授業に関係ないものを机の上に出すなどの行動はやめましょう。
- 休憩室や教室で、マージャンなど賭け事と誤解させるような遊びは、一切禁止します。

来校者へのマナー……………

- 企業の人事担当者が来校される機会が多いため、校内では不必要に騒いだりしないようにしましょう。
- 来客者へは、積極的に挨拶をこころがけましょう。

情報ネットワーク上のルール……………

- 情報ネットワーク社会におけるSNSでの投稿内容については十分留意してください。
- SNSはとても便利なツールです。しかし、個人が特定されるような写真はSNS上にアップしないよう注意が必要です。他人の個人的な情報の無断掲出、嫌がらせになりうる誹謗中傷など、SNSを悪用しないよう上手に活用しましょう。
- SNSを利用するにあたり、学校生活において困ったことがあれば担任に申し出てください。
- 学校の許可なく、授業等で知りえた企業の情報（企業名・写真）等は、SNS上にアップすることは禁止します。

[地震]

○まず身の安全を守る

鞆などで頭の保護をします。身近に何も無いときには、手のひらを下向きにして、頭を手で覆います。机の下に潜りましょう。大きな揺れが続くのはせいぜい1分間程度です。揺れではじき出されないように、テーブルの脚をしっかりとつかみましょう。机が無い場所なら太い柱に身をよせて姿勢を低くして頭を守って下さい。

○エレベーターは使わない

動いている場合は、すばやく、階数ボタンを全部押しましょう。階の途中で停止し、閉じこめられた場合はあわてずに連絡ボタンを押し、係員の指示に従いましょう。地震発生後、エレベーターを使うのは絶対に避け、階段を使いましょう。

○戸を開けて出口を確保

揺れが激しいとドアや窓が変形して開かなくなり、室内に閉じ込められたりします。

○外へ逃げるときはあわてずに

外に逃げるときには、瓦やガラス・看板などの落下物に注意して避難します。落ち着いた行動が大切です。

●地震発生時に学校にいなかった場合

落ち着いたら安否サイトにて安否状況を入力してください。

URL <http://anpi.ecc.ac.jp/>



安否サイトアクセスできない場合、各校まで電話をしてください。

ECC 国際外語専門学校 06-6311-1446

日本語学科 06-6372-1444

ECC コンピュータ専門学校 06-6374-0144

ECC アーティスト美容専門学校 06-6373-1447

[火災]

○煙の中を逃げる時は、出来るだけ姿勢を低くして

煙の中を逃げる時は、出来るだけ姿勢を低くします。階段も同じようにします。室内なら壁づたいに、廊下なら中央を歩いて逃げましょう。

○濡れタオルで口を覆い、煙を防ぐ

濡れタオルで口を覆い、煙を防ぎます。ナイロン袋に空気を入れてかぶれば、1分半程度は呼吸ができます。

○一旦逃げ出したら、二度と中には戻らない

個人情報保護に関する基本方針

学校法人山口学園は個人情報の取り扱いに関して、個人情報の保護に関する法律を遵守し、関係各省の個人情報保護ガイドラインに準拠します。又、個人情報の収集、利用および提供を行うために以下の基本的対応を掲げ、これを守っていきます。

1. 個人情報の取得は、適法かつ公正な手段によって行います。
2. 取得する個人情報の利用目的は通知又は公表し、利用目的の達成に必要な範囲で個人情報を利用いたします。
3. 事前の同意がない限り、取得した個人情報を第三者へは提供いたしません。第三者へ提供する場合には、取得時又は情報提供前に同意を得ます。
4. 取得した個人情報は、学園内ルールに基づき安全な場所に保管し、管理します。個人情報への不正アクセス、漏洩等のリスクに対し、技術面および組織面から必要な対策、予防措置を実施いたします。不要になった個人情報は、適切な方法で確実に廃棄または消去します。
5. 個人情報の管理を適切に行うために管理責任者を定め、学園内における管理体制を整備します。
6. 個人情報に関する事故が発生した場合には、関係する本人、その他関係者に直ちに報告し、その損害を最小限に抑えるために必要な措置を講じます。
7. 自己の個人情報の開示、訂正、削除を求められた場合は、法令の規定による場合などを除き、合理的な範囲でこれに応じます。
8. 個人情報に関する法律の改正等、社会情勢の変化や経営環境等に照らして、個人情報に関する学園内ルールを継続的に見直し、改善していきます。
9. 個人情報を取扱う役員および教職員に対し、個人情報に関する法令や学園内ルールを守るための役割と責任および違反した場合の措置の教育を実施します。

以上

学校法人 山口学園
理事長 酒元 英二
平成17年4月1日

■学生相談室

学生相談室では、皆さんが学校生活を快適に過ごしていけるように、カウンセラーが心理的サポートを行っています。ひとりで考えることも大事だけれど、誰かに聴いてもらうことですっきりすることもあるはず…。

気持ちがモヤモヤした時やつらい時は、気軽に来室してください。自分自身の性格、友人関係、家族関係、恋愛、進路、将来についてなど気軽に相談できます。3校どの学生相談室でも利用可能です。

また学生相談室は、ハラスメント窓口ともなっています。ひとりで悩まずに相談してください。

相談者のプライバシーは厳守されますので、ご安心ください。

OECCアーティスト美容専門学校内相談室

【場所】アーティスト美容専門学校1号館3階

【電話】06-6375-0021 【Mail】gakuso2@ecc.ac.jp

【開室日・担当者】

月・水・木（矢倉）・・・10:00～17:00

火（冨成）・・・・・・・10:00～16:00

金（陳）・・・・・・・10:00～18:00

OECC国際外語専門学校内相談室

【場所】国際外語専門学校3号館2階

【電話】06-6311-1457 【Mail】gakuso3@ecc.ac.jp

【開室日・担当者】

月・金（小原）・・・・・・・10:00～18:00

火（矢倉）・・・・・・・10:00～17:00

水（西崎）・・・・・・・10:00～18:00

木（冨成）・・・・・・・10:00～16:00

OECCコンピュータ専門学校内相談室

【場所】国際外語専門学校3号館2階

【電話】06-7632-7712 【Mail】gakuso1@ecc.ac.jp

【開室日・担当者】

月・水（松本）・・・・・・・10:00～18:00

火（小原） 木（西崎） 金（安田）10:00～18:00

■保健室

看護師が常駐し、みなさんが安心して安全に学校生活を送れるよう応援しています。

ベッドが用意されており、学内で気分が悪くなったり、怪我をした際に一時的に利用できます。

体調不良が続いている、体のことで相談したいなどがあれば、気軽に保健室を利用してください。

※怪我・火傷・捻挫打撲等に対応する医薬品は置いていますが、飲み薬等は置いていません。

緊急に病院へ行く必要がある場合は、すぐ近くにいる教員に申し出てください。

【場所】国際外語専門学校3号館2階

【電話】06-7632-7708

【開室日時】月～金・・・9:30～17:30

【担当者】森田・古本

ECC社会貢献・国際交流センター

ECC 社会貢献・国際交流センターでは、学生を主体とした社会貢献／ボランティア活動を行っています。
詳しくはセンターのホームページ <https://npo.ecc.ac.jp/> をご覧ください。

1、ボランティア活動参加の流れ

①まずはボランティア登録をしよう！

ボランティアに興味がある人はセンターのホームページまたは下の QR コードから「ボランティアに参加してみたい（初回登録）」フォームにアクセスして、入力の上送信ください。センターから面談日程の調整メールを送りますので必ず確認ください。

②センターでスタッフと面談

事前にセンターのホームページの「活動報告」「活動予定（参加応募）」をチェック。面談の際、興味や関心があることをスタッフに教えてください。あなたに合った活動を紹介します。

③活動に参加申し込み

参加したい活動が決まったら、ホームページの「ボランティアに応募する」から参加申し込み。

④活動に参加しよう！

事前説明会（ミーティング）のある活動は必ず説明会に参加の上、いよいよ活動へ。

⑤活動を振り返ろう！

活動して気づいたこと、学んだことを振り返って次の活動に活かしましょう。

2、センター学生スタッフも募集中！

センターの運営に関わる「学生スタッフ」を募集しています。学生リーダー・サブリーダーのもと、年間を通じて様々なボランティア活動に関わることができます。学校を越えた仲間（日本人学生・留学生）と出会えますよ！「学生スタッフ」の詳細についてはセンターのホームページをご覧ください。また興味がある人にはセンタースタッフが面談時に詳しく説明します。

ECC社会貢献・国際交流センター

【場所】ECC 国際外語専門学校3号館 2 階

【TEL】06-7632-6739

【メール】peace@ecc.ac.jp 【URL】<https://npo.ecc.ac.jp/>

【開室日時】月～金、9:30～18:30



ECCで「ECO（エコ）しよう！」キャンペーン

- 山口学園 3 校は、環境問題への取り組みを学園あげて行なっています。
無駄な「電気」は利用していませんか。
教室使用後にエアコンをオフにしていますか。
みんなで協力して、すこしでも地球温暖化に歯止めをかけていきましょう。



山口学園の Global 教育

詳しくはホームページで確認してみよう！



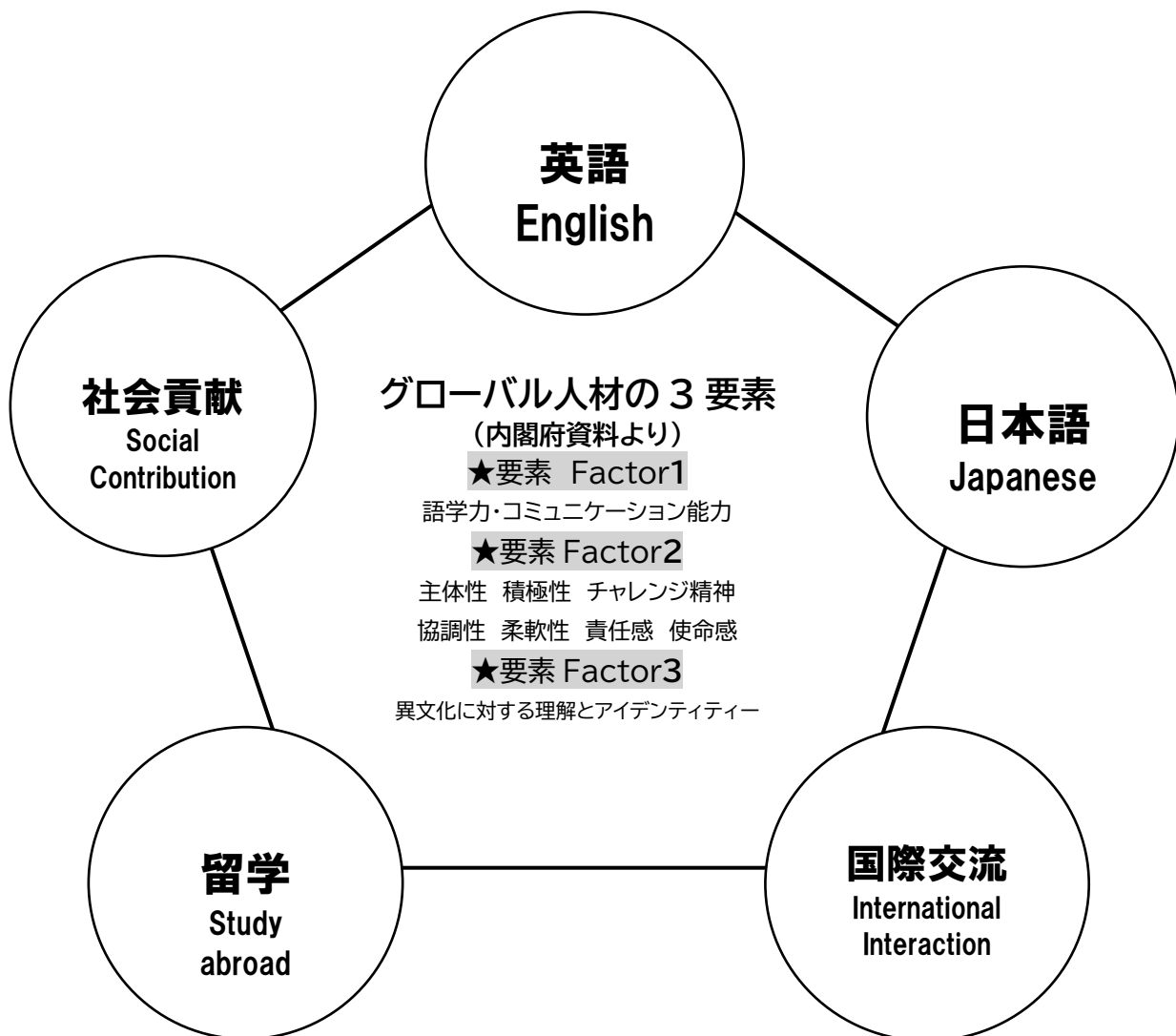
★内閣府のグローバル人材育成の 3 要素

- ・語学力/コミュニケーション能力
- ・異文化理解/アイデンティティの養成
- ・主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

★山口学園の Global 教育の 5 つの柱

内閣府の 3 要素の実現をする為に山口学園は以下の5つの柱で Global 教育を推進します。

- 1 全学生を対象に世界共通言語である英語教育を提供。
- 2 全留学生を対象に日本社会や母国の日系企業で活躍できるように日本語教育を提供。
- 3 学校/学年/学科/国籍/人種の枠を超えた国際交流活動の提供。(世界34の国と地域から)
- 4 海外の文化に触れ、言葉や職業を学べる留学/海外研修プログラムを提供。
- 5 企業・地域・NPO・官庁での社会貢献プログラムを通じて人間力を高めるプログラム提供。



※プログラム内容及び実施時期は社会情勢、最少催行条件などにより中止や変更になる場合があります。

山口学園のグローバル教育プログラム紹介①

プログラム		実施時期	場所	内容	対象者	申し込み方法
英語	EIP (Kokusai)	前期:4月17日～7月24日 後期:10月2日～1月29日 ※金曜日・休講日はclose 時間:月火水 13:00-13:20 木金 08:40-09:00	国際外語 1号館6階 (EIP)	"No Japanese, No Silence"がルールのECC International Plaza(EIP)。毎週決められたTopicに関して、All Englishで外国人講師と英語で会話するプログラム。文法が間違えていても発音に自信がなくても大丈夫。失敗を恐れずにどんどんコミュニケーションを楽しみましょう。	山口学園 全学生	●対面実施で行なう場合は直接EIPへ。オンライン形式で実施する場合は予約制。Google Meetを使って行ないます。オンライン形式になった場合は学生アプリにて参加方法について連絡。
	EIP (Artist)					
	EGP (Computer)	前期:4月10日～7月31日 後期:9月25日～2月5日 ※金曜日・休講日はclose 時間:12:50-13:20	国際外語 2号館4階 (EGP)	外国人講師と英会話を楽しみながら、語学力を磨く。トークの話題はゲーム。好きなゲームのジャンルやストーリーについて自由に会話。先生から丁寧に教えてもらえます。	コンピュータ: 全学生	●自由参加 直接EGPへ
	ELC (英語学習支援)	前期:4月10日～7月31日 後期:9月22日～2月5日 (12/20-1/5 Close) 時間:09:00-17:00 *学校行事により変更になる場合もあります。	国際外語 1号館8階 (ELC) English Learning Center	・英語図書貸出(一度に2冊まで、最長2週間)	山口学園 全学生	●自由参加 直接ELCへ アドバイス 自分でコツコツ英語学習をして、マンツーマンで先生の指導を受けます。独りではなく、仲間とともに歩んでいける場所。学習支援ツールには、英単語マラソン(英検準2級・2級・準1級)、TOEICマラソン(分野別・レベル別)をはじめ、英語4技能(読む・書く・聴く・話す)の向上を意識した学習ドリルを用意。 ELC利用者は英語力が顕著に伸びています。
				・各種英語の質問対応		
				・学習支援ツール・「〇〇マラソン」各種の提供		
				・英検各級ライティング添削、指導		
				・英検各級面接 / スピーキング練習、指導		
				・英語スピーチ / プレゼン原稿添削、指導		
日本語交流	全日本ECC英語スピーチコンテスト	学校大会 7月17日(月) 全国大会 9月24日(日)	・学校大会 国際外語1号館 ・全国大会 ECC本社ビル	英語レベルにより暗唱の部と弁論の部に分かれる。全国のECC(外語学院・ジュニア・国際外語)の各地区予選を通過した学生による英語スピーチコンテスト。このイベントに取り組むこと自体が英語力アップのモチベーションに繋がる。	発表者:国際 予選通過者 聴衆者:希望 者	●予選会:詳細は学生アプリで配信。原稿等書類選考通過後に学校大会へ。学校大会にて暗唱の部、弁論の部からそれぞれ3名ずつが全国大会へ。
	Global Education Awards	2024年2月8日(木) ※予定	常翔ホール (大阪工業大学梅田キャンパス)	学園のGlobal教育で得た経験と成果を発表するプレゼンテーション大会。すべての人が感動と情報を共有することで"Global Education"の価値を高める。留学生は日本語で、その他は英語で発表。学園挙げての大イベント。	発表者:各校 予選通過者 聴衆者:山口 学園全学生	●予選会:詳細は各校から発表。 各学校大会12月頃→選出者→GEA本大会
国際交流	International Beautians' Program	オリエンテーションで告知	アーティスト 2号館	IBPとは、選抜制の英会話特別授業。国内での外国人との接客、海外での勤務などに対応できる英会話力・グローバルマインドを習得し、国際的に活躍できる美容技術者をを目指す。	アーティスト IBP試験合格者	●IBP試験登録→受験→合格者、及びグローバル入試合格者
	Buddy Program	前期:4月26日～7月31日 後期:10月25日～1月31日 時間:月曜・水曜 12:50～13:20 15:20～15:50	国際外語2号館1階 (日本語学科)	世界約34の国と地域からやって来た留学生と日本人学生が友達になれる国際交流プログラム。日本語会話を通じて異文化や日本文化を学ぶ。日本人や外国人とのコミュニケーションの取り方を学ぶ。	山口学園全学生	●説明会 前期:4月下旬 後期:10月下旬→登録 ●直接Buddy Program参加→登録
	英語でグローバル体験 Program	期間:5月～2月	国際外語1号館 (SR)	大阪府が運営するプログラム。高校生、中学生を対象に、学内の空港カウンター、機内サービス施設を活用し、外国人教師と留学生が英語を使って実践的英語体験を実施。大阪の高校生・中学生は英語でコミュニケーションができる喜びを体験し、留学生は日本人と交流できるプログラム。	英語が出来る留学生	●説明会(前期・後期実施)→登録 詳細は追って連絡。
国際交流	世界の料理	随時案内	国際外語2号館 (日本語学科)	世界の食文化を通じてそれぞれの国に興味を持つ交流プログラム。料理を作り、出来上がった料理を皆で食べながら自国の料理との比較する。	山口学園全学生	●希望者(先着順) ●日本語学科1階事務局→申込
	紅白歌合戦			紅白歌合戦は日本で大晦日の夜に行われる伝統的なテレビ番組。留学生は日本語の歌で、日本人学生は外国語の歌で戦うイベント。	山口学園全学生	

山口学園のグローバル教育プログラム紹介②

プログラム		実施時期	場所	内容	対象者	申し込み方法
国際交流	華道体験	随時案内	国際外語 2号館 (日本語学科)	花を生活の中に取り入れ華道の心に触れるプログラム。	留学生	●希望者(先着順) ●日本語学科1階事務局 →申込
	駅伝体験			日本独自のスポーツである「駅伝」に参加。ECCでは日本人と留学生が多国籍チームを作り大会の2ヶ月前から練習し、びわこ駅伝に挑む。	ランニングが得意な学生歓迎	
	茶道体験			日本の伝統文化で「一期一会」の心でおもてなしする茶道の作法を体験するプログラム。	留学生	
	浴衣・ヘアアレンジ体験			ECCアーティスト美容専門学校の学生が留学生に浴衣の着付と和風のヘアアレンジをする。	留学生/アーティスト生	
	Global College Network Student Ambassadors	未定	国際外語 1号館 英語課	ECC山口学園はGlobal College Network(世界12のカレッジが加盟)に参加。世界中の学生たちと国際交流を通じて親睦を深める。	国際外語(選抜)	●希望者→面接→選出 ●詳細は追って連絡。 ※世界情勢により実施できない場合あり。
留学	フィリピンセブ島短期留学	①8月6日～8月26日 ②8月27日～9月16日	国際外語 1号館 英語課	1日の授業は、半分が少人数制のグループレッスンで、残りの半分がマンツーマンレッスン。英会話力アップには最適な環境で大量の英語を話す時間を確保できます。	山口学園全学生	●希望者 募集時期は追って連絡。 申込者多数の場合は抽選。 ※世界情勢により実施できない場合あり。
	英国短期留学	2024年2月10日～3月3日	国際外語 1号館 英語課	イギリスの語学学校で学ぶ渡航型短期留学プログラム。世界各国からの留学生との交流を通して異文化理解とコミュニケーション力をアップ。	山口学園全学生	●希望者 募集時期は追って連絡。 申込者多数の場合は抽選。 ※世界情勢により実施できない場合あり。
	海外研修(英国シェフィールド・ロンドン)	2023年9月(予定)	アーティスト 2号館	City & Guilds提携の現地美容サロン、カレッジ等での美容研修、語学研修を予定。原則ホームステイでの留学となりホストとのコミュニケーション、交流を体験することにより美容技術だけでなく生活面/文化面でも英国スタイルを学習する。	アーティスト美容美容科/トップスタイリスト	●希望者 募集時期は追って連絡。 ※社会情勢により実施できない場合あり。
	海外研修(米国NY)	2023年9月(予定)		コース別に分かれての美容技術を中心にした現地のメックアップスクールでの研修もしくはメイクアップブランドの店舗での研修を受講予定。	アーティスト美容トータルビューティスタイリスト/ヘアメイクアーティスト	●希望者 募集時期は追って連絡。 ※社会情勢により実施できない場合あり。
	海外研修(米国LA)	2024年1月(予定)		コース別に分かれての美容技術を中心にした現地のメックアップスクールでの研修もしくはメイクアップブランドの店舗での研修を受講予定。現地の美容を学ぶ学生との交流を通して異文化理解を深める。	アーティスト美容トータルビューティスタイリスト/ヘアメイクアーティスト/ビューティアドバイザー/特殊メイク/造形アーティスト	●希望者 募集時期は追って連絡。 ※社会情勢により実施できない場合あり。
	フィンランドゲームオンライン留学	2023年9月(予定)	コンピュータ (2号館)	北欧のIT先進国であるフィンランドの大学生とオンラインでのゲーム制作を行う。英語力・専門力・コミュニケーション力が伸び、国際的な視野が広がる。	コンピュータ生 ゲームクリエイティブカレッジ	●追って連絡。
	セブ島ITオンライン留学	2024年3月頃		フィリピンセブ島のITスクール教員からオンラインで、英会話とWEBデザイン・ITプログラミングを英語で学ぶ。IT業界で使う英語力と同時に、海外でのWEBサイト・IT開発が学べる。	コンピュータ生 ITカレッジ	●追って連絡。
社会貢献活動	社会貢献ボランティアプログラム	年間を通じて様々な活動を実施しています。詳しくは社会貢献・国際交流センターのホームページ→ https://npo.ecc.ac.jp/ の「活動予定(参加応募)」で確認下さい。また、センターの「学生スタッフ」も募集中です。	国際外語 3号館2階 社会貢献・国際交流センター	クリーン中崎町・中崎町落書き消し活動・梅田まち案内エスコート・豊崎宮夏祭り・お初天神夏祭り・済美カーニバル(夏祭り)・梅田ゆかた祭り・北区民カーニバル・OSAKA光のルネサンス・中崎町キャンドルナイト・小児科病棟クリスマス会・キッズプラザ大阪・サタデークラス・こども食堂・赤十字献血・「あっとほーむ」・アイハウスde多文化体験・四天王寺ワッソ・国際マラソン大会(語学ボランティア、給水ボランティア)・ビジネスプランコンペedge・東北復興支援イベント・募金活動・フードドライブ・ホームレス支援・使用済み切手やエコキャップ収集、等	山口学園全学生	●登録方法 ①初回登録を→ https://npo.ecc.ac.jp/reg から ②センターでスタッフ面談→あなたに合った活動を紹介③ホームページの「活動予定(参加応募)」→「ボランティアに応募(2回目以降)」から申込、④事前説明会のある活動は必ず出席し、活動に参加、⑤活動の振り返り(活動して気づいたこと、学んだことを振り返る。)

(注意) プログラム内容及び実施時期は社会情勢、最少催行条件、等により中止や変更になる場合があります。

検定・資格単位認定数 一覧

取得すると単位認定される主な資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

下記一覧は学園で単位認定される検定・資格の主なもので、合格した場合、記載の単位数が認定されます。それ以外の検定・資格についても単位認定される場合がありますので、事務局に合格証の控えを提出してください。学校長より認められた場合は単位が認定されます。※単位は入学後受験し、取得した場合に適用します。TOEIC、TOEFLはすでに取得している点数を超えた場合に適用します。

【語学系】

名称	単位	名称	単位
TOEIC (L & R) 900 点以上	4	中国語検定 1 級	4
TOEIC (L & R) 800 点以上	3	中国語検定準 1 級	4
TOEIC (L & R) 700 点以上	2	中国語検定 2 級	4
TOEIC (L & R) 600 点以上	2	中国語検定 3 級	4
TOEIC (L & R) 500 点以上	1	中国語検定 4 級	3
TOEIC (L & R) 400 点以上	1	中国語検定準 4 級	2
TOEIC(Speaking) 160-200 点	4	JTF ほんやく検定・翻訳士 1 級	4
TOEIC(Speaking) 140-150 点	3	JTF ほんやく検定・翻訳士 2 級	4
TOEIC(Speaking) 120-130 点	2	JTF ほんやく検定・翻訳士 3 級	4
TOEIC(Speaking) 90-10 点	1	JTF ほんやく検定 4 級	3
TOEIC(Writing) 170-200 点	4	JTF ほんやく検定 5 級	3
TOEIC(Writing) 150-160 点	3	文芸翻訳検定 1 級	4
TOEIC(Writing) 120-140 点	2	文芸翻訳検定準 1 級	4
TOEIC(Writing) 90-110 点	1	文芸翻訳検定 2 級	3
TOEFL(PBT) 600 点以上	4	文芸翻訳検定 3 級	3
TOEFL(PBT) 550 点以上	3	文芸翻訳検定 4 級	2
TOEFL(PBT) 450 点以上	2	文芸翻訳検定 5 級	1
TOEFL(CBT) 250 点以上	4	工業英語能力検定 1 級	4
TOEFL(CBT) 213 点以上	3	工業英語能力検定 2 級	4
TOEFL(CBT) 133 点以上	2	工業英語能力検定準 2 級	3
TOEFL(IBT) 100 点以上	4	工業英語能力検定 3 級	3
TOEFL(IBT) 79 点以上	3	工業英語能力検定 4 級	2
TOEFL(IBT) 45 点以上	2	通訳案内士・第 1 次英語筆記試験合格	4
英検 1 級	4	HSK (中国語能力認定試験) 6 級	4
英検準 1 級	3	HSK (中国語能力認定試験) 4-5 級	3
英検 2 級	2	HSK (中国語能力認定試験) 2-3 級	2
英検準 2 級	1	HSK (中国語能力認定試験) 1 級	1
英検 3 級	1	韓国語能力検定 5・6 級	3
国連英検特 A 級	4	韓国語能力検定 3・4 級	2
国連英検 A 級	4	韓国語能力検定 1・2 級	1
国連英検 B 級	3	「ハングル」能力検定 1 級	4
国連英検 C 級	2	「ハングル」能力検定 2 級	3
国連英検 D 級	1	「ハングル」能力検定 3～準 2 級	2
保育英検 1 級	4	「ハングル」能力検定 5～4 級	1
保育英検準 1 級	3	日本語教育能力検定	4
保育英検 2 級	2	日本語能力試験 1 級	2
保育英検 3 級	1	日商ビジネス英語検定 1 級	3
保育英検 4 級	1	日商ビジネス英語検定 2 級	2
フランス語検定 1・準 1 級	4	日商ビジネス英語検定 3 級	1
フランス語検定 2 級	3	観光英語検定 1 級	3
フランス語検定準 2 級	2	観光英語検定 2 級	2
フランス語検定 3・4・5 級	1	観光英語検定 3 級	1

【アーティスト系】

名称	単位	名称	単位
AFT 色彩検定 1 級	4	日本化粧品検定 1 級	3
AFT 色彩検定 2 級	3	日本化粧品検定 2 級	2
AFT 色彩検定 3 級	2	アロマセラピー検定 1 級	2
AFT 色彩検定 UC 級	1	アロマセラピー検定 2 級	1
JNEC ネイリスト技能認定試験 1 級	3	日本シニア検定	1
JNEC ネイリスト技能認定試験 2 級	2	JAA アロマコーディネーター認定試験	2
JNEC ネイリスト技能認定試験 3 級	1	JAA アロマヘッドトリートメント検定	1
JNA ジェルネイル技能検定試験初級	1	認定フェイシャルエステティシャン試験	1
JNA ジェルネイル技能検定試験中級	2	JMAメイクアップ技術検定試験 1 級	4
JNA ジェルネイル技能検定試験上級	3	JMAメイクアップ技術検定試験 2 級	3
ネイルサロン衛生管理士	1	JMAメイクアップ技術検定試験 3 級	2
JNA フットケア理論検定試験	1	JMAメイクアップ技術検定試験 4 級	1
メイクセラピー検定 1 級	2	JBMAメイクアップ検定 Expert コース	3
メイクセラピー検定 2 級	1	JBMAメイクアップ検定 Professional コース	2
IEA 技能検定 1 級 (国際アイラッシュ協会)	3	JBMAメイクアップ検定 Basic コース	2
IEA 技能検定 2 級 (国際アイラッシュ協会)	2	カラーコーディネーター検定 1 級	4
アソシエイトブライダルコーディネーター(ASS)資格	1	カラーコーディネーター検定 2 級	3
ブライダルコーディネート技能検定 3 級	2	カラーコーディネーター検定 3 級	2
TALK テーブルコーディネーター資格試験	2		
パーソナルカラー検定モジュール3	3		
パーソナルカラー検定モジュール2	2		
パーソナルカラー検定モジュール1	1		

【ビジネス系】

名称	単位	名称	単位
ビジネス実務マナー検定 1 級	3	硬筆書写技能検定 3 級	1
ビジネス実務マナー検定 2 級	2	サービス接遇検定 1 級	3
ビジネス実務マナー検定 3 級	1	サービス接遇検定準 1 級	3
ビジネス文書検定 1 級	3	サービス接遇検定 2 級	2
ビジネス文書検定 2 級	2	サービス接遇検定 3 級	1
ビジネス文書検定 3 級	1	日本漢字能力検定 1 級	4
秘書技能検定 1 級	3	日本漢字能力検定準 1 級	4
秘書技能検定準 1 級	3	日本漢字能力検定 2 級	3
秘書技能検定 2 級	2	日本漢字能力検定準 2 級	2
秘書技能検定 3 級	1	日本漢字能力検定 3 級	1
ビジネス能力検定 1 級	3	日商簿記技能検定 1 級	4
ビジネス能力検定 2 級	2	日商簿記技能検定 2 級	3
ビジネス能力検定 3 級	1	日商簿記技能検定 3 級	2
ビジネス電話検定実践級	3	全経簿記能力検定 1 級	3
ビジネス電話検定知識 A 級	2	全経簿記能力検定 2 級	2
ビジネス電話検定知識 B 級	1	全経簿記能力検定 3 級	1
硬筆書写技能検定 1 級	3	マナープロトコール検定準 2 級	2
硬筆書写技能検定準 1 級	2	マナープロトコール検定 3 級	1
硬筆書写技能検定 2 級	2		

就職活動に備えて ～ 入学当初から意識しておくこと ～

入学当初から意識し、取り組んで欲しい事柄を次に6点をあげています。入学当初の過ごし方次第で、将来の就職活動が上手に行えるかどうかが決まってきます。

(1) 『やりたいこと』を明確にする

□将来の就職活動に備え、「自分のやりたいこと」をよく考えて、明確にしておきましょう。

- ・単なる憧れではなく、「何故それがしたいのか」を具体化します。
- ・やりたいことを明確にすることによって、満足のいく就職活動に繋がります。

(2) 『やりたいこと』に対応した準備を行う

□資格を取得する為の勉強をしましょう。

- ・資格を取得することで自信がつきます。
- ・たとえ不合格になっても、勉強したことは必ず役に立ちます。

(3) 卒業前年次までの成績が大事

□応募書類として、卒業前年次までの成績表を企業へ提出します。

□授業にはきちんと出席し、しっかりと勉強することから就職活動が始まっているのです。

(4) 時事問題に関心をもつ

□時事問題は筆記試験や面接試験などでよく出題されます。

□普段からTVやインターネット等で、ニュースを見て関心を持ったニュースについて意見が言えるようにしましょう。

(5) 社会人としてのマナーを身につける

□正しい言葉遣いで、挨拶がきちんとできることが社会人としての最低限のマナーです。

□普段から先生や目上の人と正しい敬語を使って離すことを心がけましょう。

(6) 熱中できる何かを見つける

□学生生活を有意義に過ごしましょう。

- ・熱中できる何かを見つけて、いつも充実して輝いている毎日を送りましょう。

これらは、すぐに結果の出ないことばかりですが、成果をあげられる人は、必ず他人には見えない努力をしています。いつかきっと成功する自分の姿を信じて、昨日のあなたより今日のあなたが良くなる努力を積み重ねましょう。

【進学（学園各校編入学・大学編入学 など）】

(1) 学園内編入学.....

- 本学園の各校を卒業後、卒業する学校または他の2校への編入学を募集する場合があります。詳細は、各校教務課にて説明します。

(2) 大学編入学.....

- 専門士を取得できるコースを卒業すると、大学編入試験合格後、大学の2年次または3年次に編入学することができます。詳細は各校教務課またはキャリアセンターにて説明します。

ECCアーティスト美容専門学校 就職活動スケジュール

学年 (制)	時期	就職指導、及び活動スケジュール【対象コース】
2年制	—卒業前年—	
3年制	4月	◆インターンシップ開始【BR】 ◆業界研究授業開始【2/3年制該当コース】 ◆筆記対策授業開始【BA、BR】 ◆各種セミナー開始 ・業界関係者や卒業生を適時招いて講演・実演
	5月	◆インターンシップ開始【メイク3年生】
	6月	◆プレ就職ガイダンス実施【2/3年制該当コース】
	7月	◆インターンシップ第1弾開始【BA】
	9月	◆S I C（夏期集中講座） ◆就職対策授業開始【2/3年制該当コース】 ・一般常識、集団、及び個人面接時の対応や受け答えの方法 履歴書の書き方、会社説明会の仕方、志望動機・自己PR、就活マナー等 ◆サロンマナー授業開始【NA】 ・ネイルサロンでの接客技術を重点的に指導
	10月	◆就職保護者会【次年度就職対象生保護者の方】
	11月	◆履歴書用写真撮影【2/3年制全コース】
	1月下旬	◆企業説明会参加（業界、企業による）【2/3年制全コース】
	2月	◆S P I C（春期集中講座） ◆学内企業説明会開催（化粧品会社、ブライダル企業、美容室、ネイル企業、等） 【2/3年制該当コース】
	3月	◆インターンシップ第2弾開始（実施期間は企業による）【BA】 ◆受験希望企業へのエントリー開始（業界、企業による）【2/3年制全コース】
	—卒業年次—	
	4月上旬	◆就職対策関連授業開始【2/3年制該当コース】 ・添削や面接指導等、実際の受験に向けて個別指導を実施
	9月	◆CSRにて個別指導
	1月～	◆未内定者面談、個別指導【2/3年制全コース】

※進路指導・進路相談・求人情報提供・履歴書添削・個別面接指導・グループ面接指導などは随時実施します。

※卒業前年次の保護者対象「就職保護者会」は保護者様全員必須参加ですが、開催日時・開催方法等は未定です。

詳細は後日決定します。決定次第連絡いたします。

※企業の採用状況等によりスケジュールの内容が変更する場合があります。

ECC アーティスト美容専門学校 施設の利用

保健室・進路相談ブース等.....

CSR (キャリアサポート) ルーム (2号館6階)	☐ 予約制で履歴書の添削や面談を実施します。キャリアセンターまで申し出てください。 ☐ 企業パンフレットを置いています。閲覧は自由です。ただし許可なく持ち出しはできません。 ☐ CSR内は飲食禁止です。
Webルーム (CSR内) 3号館7階	☐ Web面接、Web企業説明会などの際に利用できます。 ☐ 利用する場合は、事前にキャリアセンターに申し出て予約をしてください。 ☐ Webルーム内は飲食禁止です。 ☐ 利用ルールがありますので遵守してください。
保健室	☐ 学内で気分が悪くなったりけがをした際は、事務局に申し出てください。 場合により、看護師の先生に来ていただいたり、学園保健室への案内をおこないます。
図書室 (1号館301)	☐ 予約なしで終日自習(座学)ができます。 ※メイク・ネイルなど実習の自習は禁止。 ☐ 1グループで長時間占有することは控え、譲り合って使用してください。 ☐ 書籍は図書室のみで閲覧してください。 ☐ 食事を取ることは禁止します。
自習可能教室 について	☐ 事務局で自習可能教室を確認の上、ご使用ください。 ※事前予約が可能かどうかはアプリで配信します。 教室には限りがありますので譲り合って使用してください。 自習可能時間 平日 9:00~19:30(授業期間中) 平日 9:00~17:30(授業期間外) (土) 9:00~17:30(休館日のぞく)
昼食時の教室 利用について	☐ 昼食で利用できる教室は、次の時限で使用する予定の教室とします。

掲示板の利用.....

- 登校したら必ず2号館1階の掲示板モニターおよび3号館モニターを確認してください。
各種告知がありますので、見逃しのないよう注意してください。
- スマートフォンやPCの学校アプリでも各種告知を行いますのでこちらも見逃しのないよう注意してください。

教室のインターホン.....

- 各教室にはインターホンが設置されています。講師間の連絡や緊急時のみ使用するもので、教員の指示がない限り、学生の使用は禁止です。

各種施設・設備の利用にあたって.....

- 教室に私物を置くことは禁止されています。ロッカーの上や空きロッカーも同様です。
- 教室内での授業中の飲食は禁止です。したがって授業中には机の上に置くこともできません。
- 本学の施設は全て公共のものです。自分のものと同じように、大切に扱ってください。施設・設備に対し、公共の意識に反する行為を行った者に対しては、学則に従い、処分される場合があります。

ECCアーティスト美容専門学校校内サロン紹介

★ネイルサロン「LAPUA」～ラプア～

ECCアーティスト美容専門学校内に
ある本格的なネイルサロンです。

営業時間： 月～金曜日（11：00～19：00）

定休日： 土日祝・当校が定める休日

ECCアーティスト美容専門学校2号館1F

ご予約： <http://salon.ecc.ac.jp/lapua>

お問い合わせ：06-6375-4144



ハンドモデル
ハンドケア
無料！



LAPUA ECC
Instagram



ご予約は
こちらから

ハンドモデル募集！！

- ★スタッフが希望する条件を満たしている方
 - ★コンテストのモデル参加が可能な方
 - ★スタッフのアドバイスを守り、お手入れに通っていただける方
- ☆特典として月1回のケアを無料でさせていただきます☆



← 学生のサロンワークの
様子を動画にしました！
是非ご覧ください♪

山口学園3校の学生は

ネイルサロンの料金が
半額になります！！

◆ヘアサロン「embellir」～アンベリール～

美容師資格を所持した学生がサロンワーク実習を
行っております。年間100名以上のヘアモデル
を施術し美容師の実力を磨きます。



ヘアモデル募集

Menu

各90分



- ・カット（前髪だけOK！）
- ・カラー
- ・ヘッドスパ

ロングヘア（長さが肩より下）カラー予約方法

実施日

学校規定により実施。

予約

ご予約は
こちら ⇒



① ワンカラー	⇒ カラーのみ	90分
② Wカラー	⇒ ブリーチ（ロングヘアに限る）	180分
③ トリプルカラー	⇒ ブリーチ＋カラー	270分

★ ロングヘアの方は、上記メニューからお選びください。
上記の予約でない場合、施術はできませんのでご了承ください。

☆講師が常にサポートしております。どうぞ安心してお越しください。

ECC Local Guide Map

2号出入口



ECC国際外語専門学校

① 1号館 ② 2号館 ③ 3号館

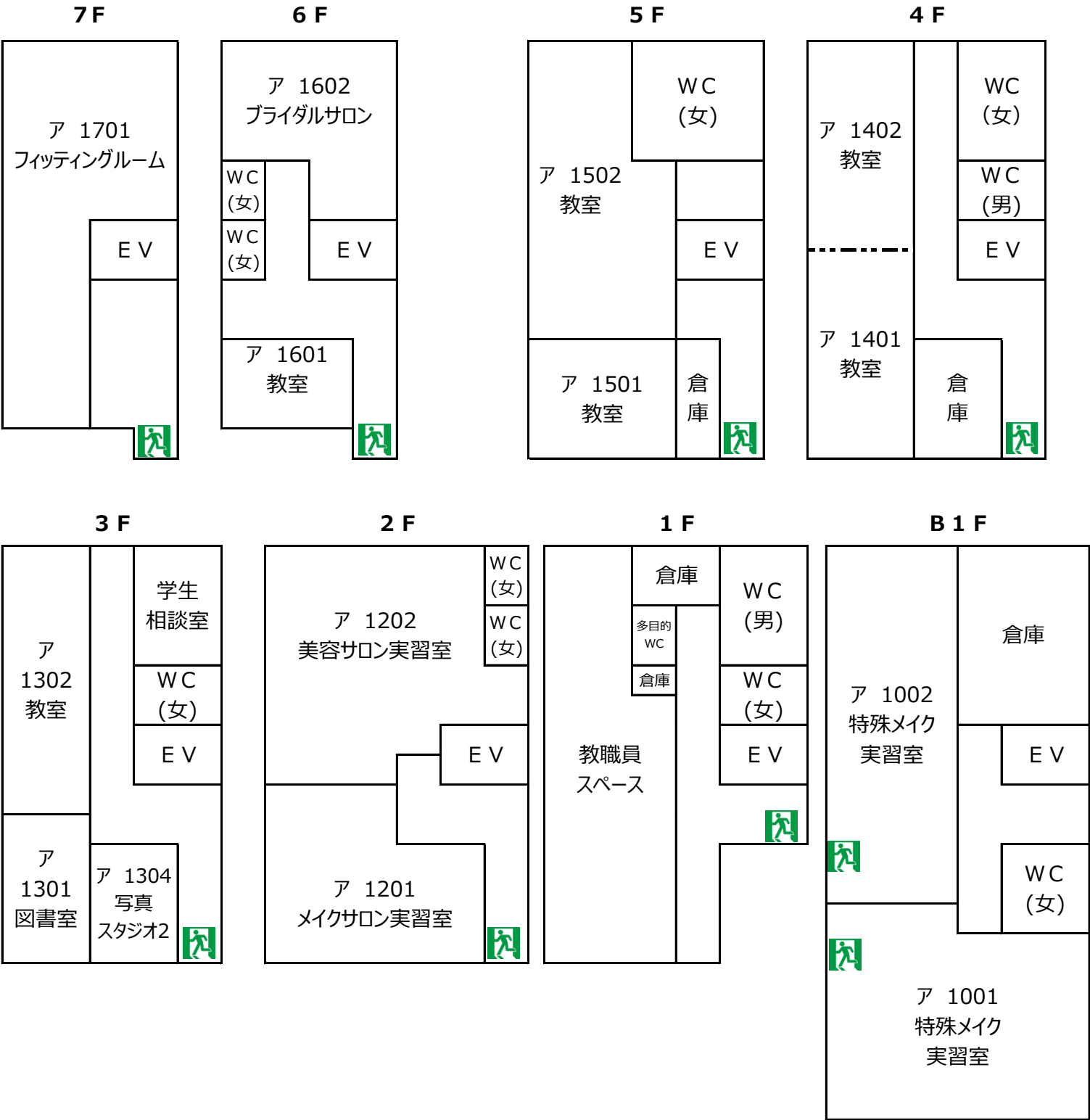
ECCコンピュータ専門学校

④ 1号館 ⑤ 2号館 ⑥ 3号館 ⑦ 4号館 ⑧ 5号館

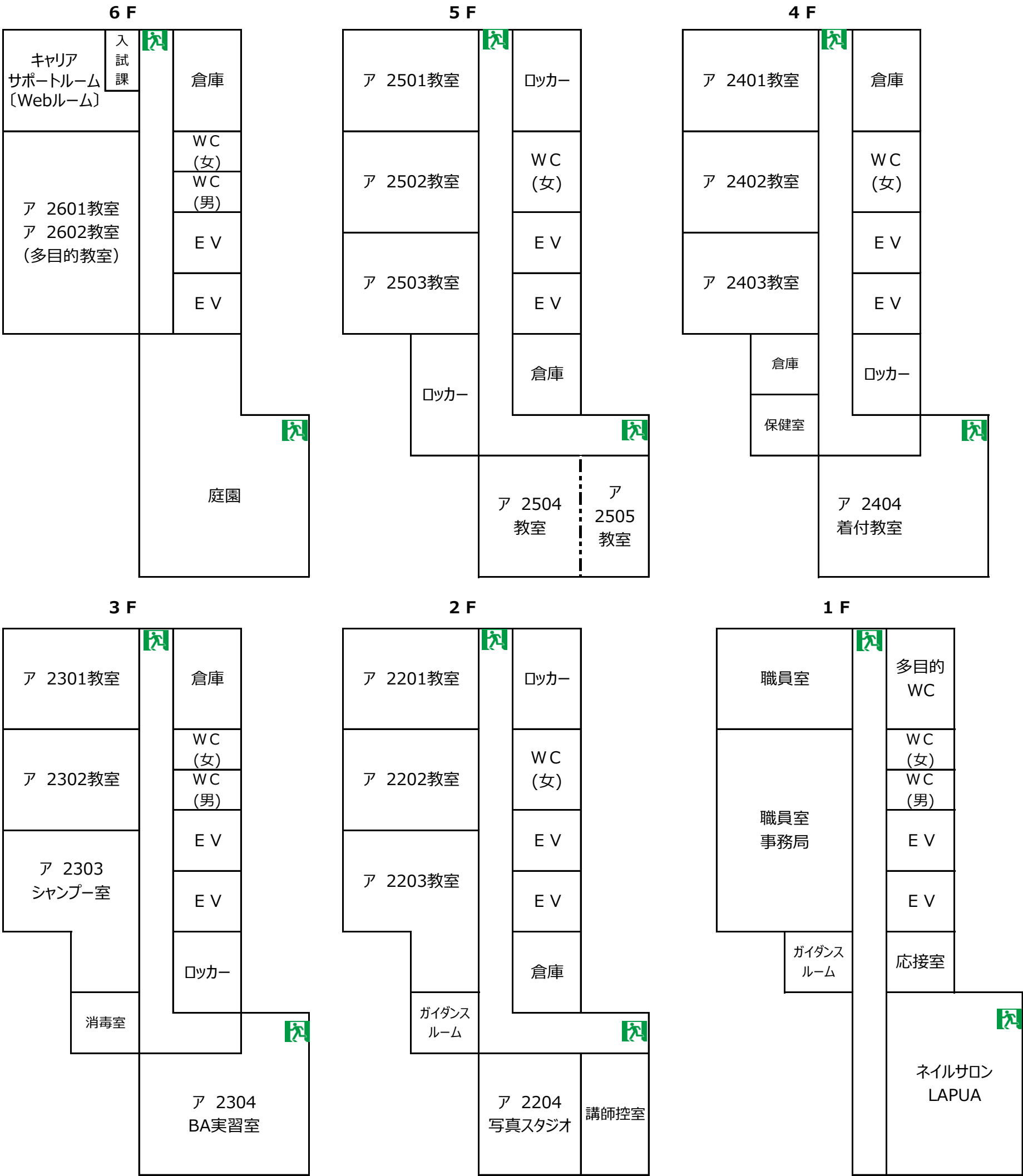
ECCアーティスト美容専門学校

⑨ 1号館 ⑩ 2号館 ⑪ 3号館

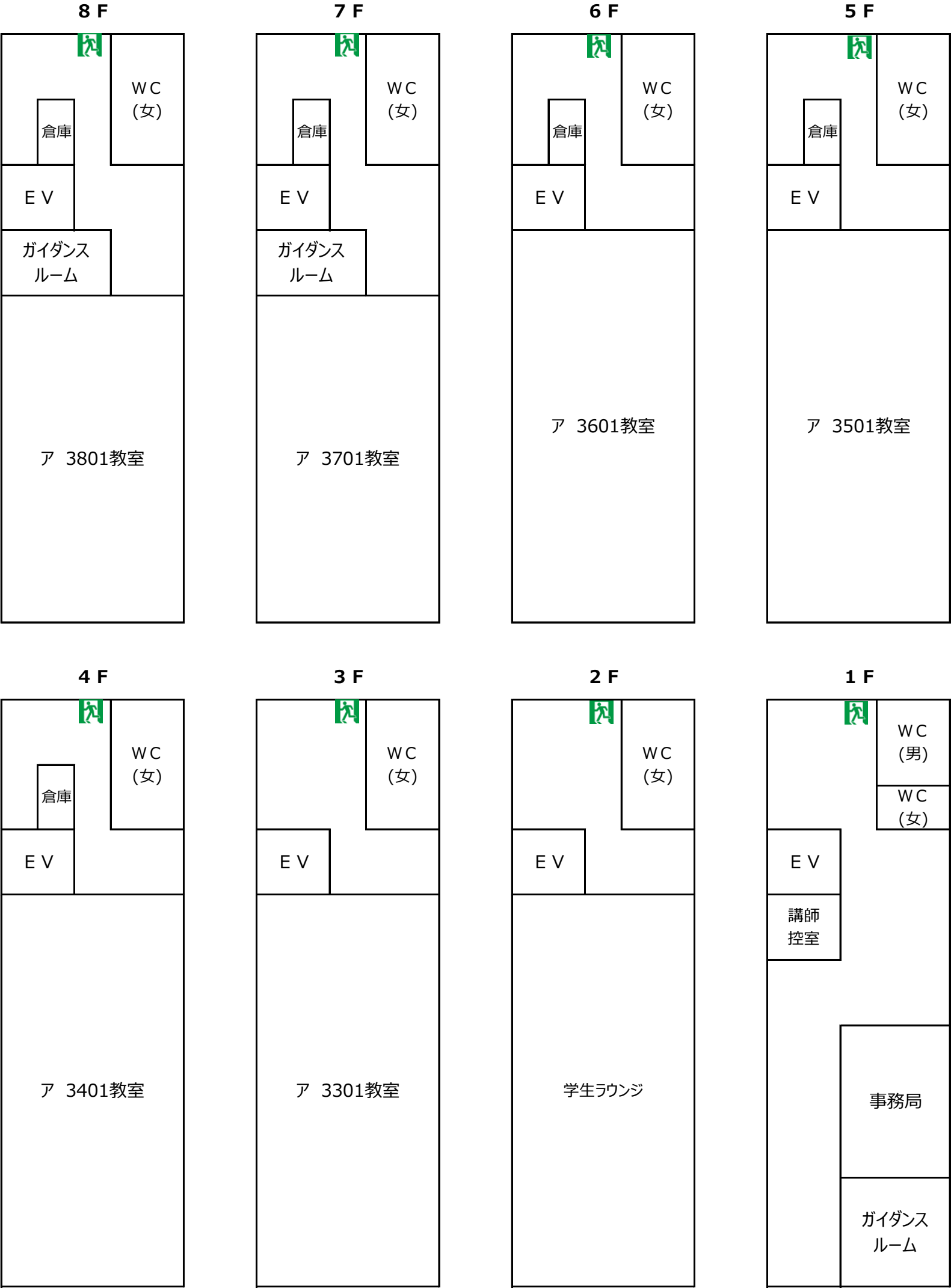
アーティスト美容専門学校 1号館 学舎案内図



アーティスト美容専門学校2号館 学舎案内図



アーティスト美容専門学校 3号館 学舎案内図



ECC アーティスト美容専門学校 学科・コース一覧

学科名	コース名	学年	クラス略称
トータル・メイク	トータルビューティスタイリスト	1	TS1
		2	TS2
		3	TS3
	ヘアメイクアーティスト	1	HM1
		2	HM2
		3	HM3
	特殊メイク・造形アーティスト	3	TZ3
アーティスト	ビューティアドバイザー	1	BA1
		2	BA2
	ネイリスト	1	NA1
		2	NA2
	ブライダル・ウェディング	1	BR1
		2	BR2
美容	美容	1	BE1
		2	BE2
プロ専科	トップスタイリスト	1	PHS1
(別科) 美容	通信課程	1	BT1
		2	BT2
		3	BT3
高等部	トータルビューティ	1	KT1

トータル・メイク					2023年度入学生	
トータルビューティストコース					1年次	
区分	科目名	単位数	週時間数 前期 後期		講座概要	
必修	メイクアップⅠ(TS)	4	2	0	メイク基礎技術と発想力を高めます。	
必修	メイクアップ テクニック(TS)	4	2	0	JBMAメイクアップ検定basic取得を目指します。	
必修	ヘア アレンジメントⅠ(TS)	4	2	0	ブラッシング・コーミング、ブロッキング、ピン止め・ゴム止め、コテ、ホットカーラー、ストレートアイロンでのヘアアレンジの基礎技術を習得します。	
必修	ネイル ケア&カラーⅠ(TS)	8	4	0	ネイル理論全般を学習し、ネイルの基礎となるネイルケア・カラーリング・チップ&ラップ技術を習得します。JNECネイリスト技能検定3級・2級取得を目指します。	
必修	ファッション スタイリングⅠ	2	1	0	ファッションコーディネートテクニック、イメージ分析、トレンド情報など、スタイリングに必須であるファッションの基礎知識を学習します。	
必修	カラー コーディネーション(TS)	2	1	0	「色の三属性」「配色」「トーン」「色のイメージ」等、実習を通して色彩の基礎を習得します。	
必修	General EnglishⅠ	2	1	0	日常的に使う英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。	
必修	美容演習Ⅰ	4	2	0	ワインディングを中心に美容の基礎を学び、美容師国家資格取得を目指します。	
必修	メイクアップⅡ(TS)	6	0	3	イメージメイク技術や作品表現技術を習得します。また、JBMAメイクアップ検定professional取得を目指します。	
必修	ヘア アレンジメントⅡ(TS)	4	0	2	夜会巻・カールアップ・日本髪等のヘアアレンジテクニックを習得します。	
必修	ネイル スカルプティングⅠ(チップオーバーレイ)(TS)	6	0	3	スカルプチュア・チップオーバーレイの基本となるナチュラルスタイル技術を習得します。JNECネイリスト技能検定1級取得を目指します。	
必修	クリエイション(TS)	2	0	1	ヘアメイク、ネイルの分野においてデザイン力・創造力を高めます。	
必修	ファッション スタイリングⅡ	2	0	1	ファッションスタイリングⅠで学んだことを踏まえ、更にファッションの歴史、時代背景、ディテールを学びます。ファッション雑誌のタイトル、テイスト、ターゲットを学習します。またソーイングテクニックを習得します。	
必修	デッサン・ファッション イラストレーション(TS)	2	0	1	デッサンの基礎を学び、ヘアスタイルのデザイン、メイク、ファッションを含めた全身イラストが描ける技術を習得します。	
必修	デジタル・フォトワーク	2	0	1	撮影した画像の加工テクニックを学びます。また、照明やカメラについての知識や写真の撮り方を学習します。	
必修	General EnglishⅡ	2	0	1	日常的に使う英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。	
必修	美容演習Ⅱ	4	0	2	オールウェーブセッティング実習を中心に、美容師資格取得を目指します。	
小計		60	15	15		
合計		60	15	15		
選択	SIC[1]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。	
選択	SPIC[1]	2	0	1	春季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。	
総合計		64	15	17		
進級・卒業必要単位		58				

トータルビューティストコース

2年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	プロフェッショナルメイクアップⅠ(TS)	6	3	0	顔分析法に基づくヘアメイク技術を学びます。年代別のメイク技法、舞台メイク技法を学習し、シチュエーションに合ったヘアメイク技術を習得します。
必修	ヘア アレンジメントⅢ(TS)	4	2	0	テーマやシーンからイメージし、ヘアアレンジテクニックの様々な技法、1年時の復習も重ねて応用力をつけコンテストに挑戦できる技術力をつけます。
必修	ネイル スカルプティングⅡ(TS)	4	2	0	スカルプチュアの応用・フットケア技術を習得します。
必修	ミックスメディアアート(TS)	4	2	0	ネイルにおけるエアブラシの基本から応用テクニックまで学習します。また、アート技法を組み合わせ作品を制作します。
必修	ファッション スタイルリングⅢ	2	1	0	スタイリング技術を応用しトータルスタイリング力を高めるとともに、オリジナリティあるスタイリング提案を目指します。
必修	パーソナル カラー(TS)	2	1	0	その人に調和する色のコーディネートを習得します。
必修	Customer Service EnglishⅠ(TS)	2	1	0	職種に特化した英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	業界研究Ⅰ(TS)	2	1	0	ヘアメイク、ネイル業界の概況・企業特性等について自ら調べる方法を学び、十分な業界研究を経て希望する企業選択やキャリアプランニングを行います。
必修	美容演習Ⅲ	4	2	0	ワインディング、オールウェーブセッティングのタイムアップ、完成度アップを目指します。
必修	プロフェッショナルメイクアップⅡ(TS)	6	0	3	デザインメイク技術の応用、ブライダルメイク・和装メイク・ショーメイクなど、シチュエーションに合ったヘアメイク応用技術を習得します。
必修	ヘア アレンジメントⅣ(TS)	2	0	1	基本をおさえた上でピンの扱い方や毛たぼを使用した夜会巻きのバージョン違い(ねじり・ひねり・重ね)を習得します。シニヨンスタイルを習得します。
必修	ジェルネイルズⅠ(TS)	4	0	2	JNAジェルネイル初級検定合格を目標とし、ジェルネイルの基本知識・技術を習得します。
必修	ネイル スカルプティングⅢ(サロンテクニック)(TS)	6	0	3	スカルプチュアの応用・サロンテクニックを習得します。
必修	ファッション スタイルリングⅣ	4	0	2	スタイリング技術を応用しトータルスタイリング力を高めるとともに、オリジナリティあるスタイリング提案を目指します。
必修	Customer Service EnglishⅡ(TS)	2	0	1	職種に特化した英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	就職対策Ⅰ	2	0	1	自分をアピールする方法や履歴書の書き方の基本を学習し、希望する職業に就けるよう具体的に準備を行っていきます。
必修	美容演習Ⅳ	4	0	2	カット技術を中心に、美容師国家資格取得を目指します。
小計		60	15	15	
合計		60	15	15	
選択	SIC[2]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
選択	SPIC[2]	2	0	1	春期に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		64	15	17	
進級・卒業必要単位		58			

トータルビューティストコース

3年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	トータル スタイルングⅤ	8	4	0	ヘアメイクを中心として、テーマ・シチュエーションに合わせたトータルスタイルングを行い作品撮影をします。撮影現場に応じた実践的なヘアメイク、ファッションスタイルング力を高めます。
必修	ジェル ネイルズⅡ	6	3	0	ジェルネイル検定中級合格を目標とし、サロンワークにおけるジェルネイル技術・デザインアレンジ技法を学習します。
必修	着付Ⅰ（浴衣自他装・小紋他装）	4	2	0	小紋・浴衣等、基本的な着物の着付と基礎知識を習得します。
必修	アイラッシュ	4	2	0	アイラッシュ（まつげエクステ）の基礎技術を習得し、幅広く学び即戦力となる力を習得します。
必修	Customer Service EnglishⅢ（TS）	2	1	0	職種に特化した英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	就職対策Ⅱ	2	1	0	多様化する面接試験内容に対応し、面接時の応答力やアピール力を習得し就職試験の突破を目指します。
必修	美容演習Ⅴ	4	2	0	カット技術のタイムアップ完成度アップを中心に、美容師資格取得を目指します。
必修	トータル スタイルングⅥ	6	0	3	様々なテーマやシチュエーションにおいて、判断する能力や対応力を強化し、トータルスタイルング力を高めます。
必修	ジェル ネイルズⅢ（TS）	6	0	3	ジェルネイル検定上級合格を目標とし、サロンワークにおけるスカルプチュア・ジェルネイル技術・デザインアレンジ技法を学習します。
必修	卒業制作（TS）	4	0	2	3年間の集大成として演出等も含めた卒業制作を行います。
必修	着付Ⅱ（小紋自装・留袖振袖他装）	4	0	2	留袖・振袖・袴の着付と礼装着付の知識及びさまざまな帯結びを習得します。
必修	Customer Service EnglishⅣ（TS）	2	0	1	職種に特化した英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	美容演習Ⅵ	4	0	2	カット技術のタイムアップ完成度アップを中心に、美容師資格取得を目指します。
小計		56	15	13	
必選	サロンワークテクニク（シャンプー／ブロー／カラー）	4	0	2	サロンワークに必要な技術や実践につながる技術の習得をします。シャンプー・トリートメント・カラー技法を学びます。
必選	サロンワークテクニク（ネイル）	4	0	2	学内サロン「ラブア」にてサロンの運営、接客全般を実習し、現場対応力を養います。
小計		4	0	2	
合計		60	15	15	
選択	SIC〔3〕	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		62	15	16	
進級・卒業必要単位		54			

トータル・メイク					2023年度入学生
ヘアメイクアーティストコース					1年次
区分	科目名	単位数	週時間数 前期 後期		講座概要
必修	メイクアップ I (HM)	4	2	0	メイク基礎技術と発想力を高めます。
必修	メイクアップ テクニック(HM)	4	2	0	JBMAメイクアップ検定basic取得を目指します。
必修	皮膚理論/化粧品心理学	2	1	0	皮膚の構造・働き・トラブル等の皮膚基礎知識と理論の習得を目標とします。化粧する人間の心と行動から、コミュニケーションや健康面における化粧の機能を学習します。
必修	クリエイティブ ワーク	2	1	0	デザイン画を通してデザイン力を高め、作品制作で創造力を養います。
必修	ヘア アレンジメント I (HM)	6	3	0	ブラッシング・コーミング、ブロッキング、ピン止め・ゴム止め、コテ、ホットカーラー等ヘアアレンジの基礎技術を習得します。
必修	カラー コーディネーション(HM)	2	1	0	「色の三属性」「配色」「トーン」等、実習を通して色彩の基礎を習得します。
必修	接客基礎/プレゼンテーション	2	1	0	プロのヘアメイクに必要な「接客の基礎知識」と「接客の基礎技術」を学習します。またプレゼンテーション力を身に着けます。
必修	ファッショントレンド(HM)	2	1	0	グループワークや色彩コーディネートを通して自分自身の内面・外面の美しさを伸ばす力を養います。ファッションの特徴やトレンド、シルエット、柄、スタイルを学習します。
必修	General English I	2	1	0	日常的に使う英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	美容演習 I	4	2	0	ワインディングを中心に美容の基礎を学び、美容師国家資格取得を目指します。
必修	メイクアップ II (HM)	6	0	3	イメージメイク技術や作品表現技術を習得します。また、JBMAメイクアップ検定professional取得を目指します。
必修	アシスタント スキルズ	2	0	1	様々な現場、シチュエーションに通用するアシスタントスキルを身につけます。
必修	ヘア アレンジメント II (HM)	6	0	3	夜会巻・カールアップ等のヘアアレンジテクニックを習得します。
必修	フォト ワーク・デジタルワーク(HM)	4	0	2	照明やカメラについての知識や写真の撮り方を学習し、撮影時のメイク効果を知るとともに、デジタル効果、その他特殊効果について学習を深めます。
必修	デッサン・ファッションイラストレーション(HM)	2	0	1	ヘアデザイン構成をイラスト表現し、サロンでお客様に提案できるスキルを身につけるために学びます。
必修	業界研究 I (HM)	2	0	1	ヘアメイク業界の概況・企業特性等について自ら調べる方法を学び、十分な業界研究を経て希望する企業選択やキャリアプランニングを行います。
必修	インターンシップ(HM)	2	0	1	メイクサロン・トータルビューティサロン・美容室での見学実習を通して、サロンワークの流れや業務を知り、就職希望職種選択や企業選択につなげていきます。
必修	General English II	2	0	1	日常的に使う英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	美容演習 II	4	0	2	オールウェーブセッティング実習を中心に、美容師資格取得を目指します。
小計		60	15	15	
合計		60	15	15	
選択	SIC[1]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
選択	SPIC[1]	2	0	1	春季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		64	15	17	
進級・卒業必要単位		58			

ヘアメイクアーティストコース

2年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	プロフェッショナル メイクアップⅠ (HM)	6	3	0	メイクデザイン理論を理解して、デザインメイク力を高め、骨格を理解し、顔分析メイクを習得します。
必修	アーティスティック メイクアップⅠ	6	3	0	年代別メイク、ポイントアートを学習し、技術の幅を広げます。デザイン工程・作品撮影を通して自由な発想力と高い技術を習得します。
必修	ヘア アレンジメントⅢ(HM)	4	2	0	様々なヘアアレンジテクニックを組み合わせ、トータル的に考えたヘアアレンジ・スタイリング技術を習得します。
必修	アドバンスヘアメイクⅠ	2	1	0	ウェット・ドライ マット等 質感に着目したヘアメイク技術を習得します。
必修	着付Ⅰ (浴衣自他装・小紋他装)	4	2	0	小紋・浴衣等、基本的な着物の着付と基礎知識を習得します。
必修	Customer Service EnglishⅠ (HM)	2	1	0	職種に特化した英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	業界研究Ⅱ (HM)	2	1	0	ヘアメイク業界の概況・企業特性等について引き続き自ら調べる方法を学び、より一層十分な業界研究を経て、希望する企業の選択やキャリアプランニングを行います。
必修	美容演習Ⅲ	4	2	0	ワインディング、オールウェーブセッティングのタイムアップ、完成度アップを目指します。
必修	プロフェッショナル メイクアップⅡ (HM)	6	0	3	ブライダルメイクや撮影メイクの知識と技術を習得する。デモンストレーション・プレゼンテーション等が出来るよう人前での実技能力を高めます。
必修	アーティスティック メイクアップⅡ	6	0	3	基本的な舞台メイク技術からアレンジ技術を習得し、作品制作で個性豊かな作品制作を目指します。
必修	ヘア アレンジメントⅣ(HM)	4	0	2	ブロースタイリング・和髪・カウンセリングなど実戦に必要なヘアアレンジテクニックを習得します。
必修	アドバンスヘアメイクⅡ	2	0	1	Ⅰに引き続き、質感に着目し、リファレンスの集め方、コンセプトの考え方を学び、プレゼンテーションすることにより表現力を磨きます。
必修	着付Ⅱ (小紋自装・留袖振袖他装)	4	0	2	留袖・振袖・袴の着付と礼装着付の知識及びさまざまな帯結びを習得します。
必修	Customer Service EnglishⅡ (HM)	2	0	1	職種に特化した英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	就職対策Ⅰ	2	0	1	自分をアピールする方法や履歴書の書き方の基本を学習し、希望する職業に就けるよう具体的に準備を行っていきます。
必修	美容演習Ⅳ	4	0	2	カット技術を中心に、美容師国家資格取得を目指します。
小計		60	15	15	
合計		60	15	15	
選択	SIC[2]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
選択	SPIC[2]	2	0	1	春期に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		64	15	17	
進級・卒業必要単位		58			

ヘアメイクアーティストコース

3年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	プロフェッショナルメイクアップⅢ (Expert/アイブロー)	4	2	0	サロンワークにおける接客スキルについて学びます。また、JBMAメイクアップ検定expert取得を目指します。
必修	ヘア アレンジメントⅤ (HM)	4	2	0	ヘアアレンジメントⅣまでの技術の応用として現場で役立つヘアアレンジの技術を習得します。
必修	ヘアスタイリングⅠ	2	1	0	サロンワークに必要な技術や実践につながる技術の習得をします。シャンプー・トリートメント・ブローテクニックを基本として学びます。
必修	着付Ⅲ (付下げ・訪問着 応用編)	4	2	0	着付プロレベルとして、体型、年齢、TPOに合わせた補整・着付け方を学びます。
必修	Customer Service EnglishⅢ (HM)	2	1	0	職種に特化した英会話表現をロールプレイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	就職対策Ⅱ	2	1	0	多様化する面接試験内容に対応し、面接時の応答力やアピール力を習得し就職試験の突破を目指します。
必修	美容演習Ⅴ	4	2	0	カット技術のタイムアップ完成度アップを中心に、美容師資格取得を目指します。
必修	プロフェッショナルメイクアップⅣ (サロンワーク)	4	0	2	メイクアップ技法やお客様へのアドバイス、接客技術のレベルアップを図ります。グローバルな人材へのヘアメイクを行い、グローバル社会で貢献できる人材を目指します。
必修	ヘアスタイリングⅡ	4	0	2	前期に学習したシャンプー・トリートメントに続き、カラー技法やエクステンション技法を学びます。また、ヘアアレンジなどのスタイリング力を強化します。
必修	着付Ⅳ (振袖 応用編)	4	0	2	プロとして、与えられた時間内で技術を行います。更に、トータルバランスを考えた着付を学習します。振袖の帯結びのバリエーションを増やし、成人式、卒業式に対応出来る技術を習得します。
必修	Customer Service EnglishⅣ (HM)	2	0	1	職種に特化した英会話表現をロールプレイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	美容演習Ⅵ	4	0	2	カット技術のタイムアップ完成度アップを中心に、美容師資格取得を目指します。
小計		40	11	9	
必選	エキスパートヘアメイクaⅠ	8	4	0	将来グローバルなアーティストを見据え、現場で必要とするスキルを学び、クリエイティブ性を伸ばします。
必選	エキスパートヘアメイクbⅠ	8	4	0	ライティング等を意識したショー・TV・撮影メイク技術を習得します。
必選	エキスパートヘアメイクcⅠ	8	4	0	ヘアメイク技術とともに、どの世代にも対応できる接客術、カウンセリング術、衣装フィッティング、和装着付けなどを学びます。
必選	エキスパートヘアメイクaⅡ	8	0	4	エキスパートヘアメイクⅠで習得した技術をもとにスキルアップとクリエイティブ性を伸ばし卒業後に現場で通用するアーティストを目指します。
必選	エキスパートヘアメイクbⅡ	8	0	4	トレンドを意識したメイク技術の習得、また学んだ技術を活かし、作品撮影を行います。
必選	エキスパートヘアメイクcⅡ	8	0	4	ヘアメイク技術とともに、どの世代にも対応できる接客術、カウンセリング術、衣装フィッティング、和装着付けなどを学びます。
必選	選択 フォトワーク上級	4	0	2	自分でも撮影できるようになるための写真知識、カメラワークを学び、ヘッドの作品制作/撮影を行います。
必選	選択 エアブラシ(アート)	4	0	2	エアブラシの技術を習得し、メイクアップアーティストとしての対応範囲を広げます。
必選	選択 アイラッシュ(HM3)	4	0	2	アイラッシュ(まつげエクステ)の基礎技術を習得し、幅広く学び即戦力となる力を習得します。
小計		20	4	6	
合計		60	15	15	
選択	SIC[3]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		62	15	16	
進級・卒業必要単位		54			

ブライダル・ウェディングコース

1年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	ウェディング プランニング スキルズ I (ブライダル一般知識)	2	1	0	結婚の定義や歴史と文化を学習し、ブライダルビジネスの基本と結婚式を挙げるまでの一連の基礎を習得します。
必修	プランナー トレーニング I (接客マナー・商品知識)	2	1	0	婚礼における接客マナーの実技練習を行います。また、新郎新婦がイメージする結婚式を実現するために必要なブライダルの知識と商品知識を習得し、婚礼演出の基礎を学びます。
必修	コスチューム I	4	2	0	ブライダルコスチューム(洋装・和装)の種類や決まりごと、各部の名称などについて学習し、ドレスが美しく見えるフィッティングの基礎と小物合せ、撮影時のアテンドやポージングなどをロールプレイングにて学習します。また、七夕までに浴衣の着付けを習得します。
必修	ウェディング 企画・演出 (スマイルウェディング)	2	1	0	何らかのご事情があってご結婚式ができていない、もしくはできなかった方で記念写真がない方を対象に、事前準備からヘアメイク、ドレスフィッティング、撮影の演出までを行います。
必修	マナー・プロトコール I (マナー・プロトコール検定対策)	2	1	0	社会人として必要不可欠なマナーやプロトコール(国際儀礼)について学び、検定3級取得に向けてテキスト全体の概要を理解し、検定取得を目指します。
必修	ヘア&メイクアップ I (BR)	6	3	0	スキンケア〜フルメイクまでの基礎メイクを学習、ピンワーク、ゴムワーク、カーラー巻きなどヘアアレンジに必要な技術を習得します。
必修	色彩検定対策 I (BR)	2	1	0	文部科学省後援A・F・T色彩検定協会の色彩検定試験3級合格を目指します。
必修	General English I	2	1	0	日常的に使う英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	業界研究 I (BR)	2	1	0	ブライダル業界の概況・企業特性等について自ら調べる方法を学び、十分な業界研究を経て、希望する企業の選択やキャリアプランニングを行います。
必修	筆記試験対策 I (BR)	2	1	0	就職試験で問われる知識を確認するとともに、実社会で必要となる一般教養の習得を目指します。
必修	就職準備対策(BR)	2	1	0	インターンシップのための履歴書の書き方や面接の仕方を習得します。
必修	インターンシップ I (BR)	2	1	0	ブライダル業界の現場実習経験を通して、ウエディングの流れや業務を把握し、将来イメージを明確にします。
必修	ウェディング プランニング スキルズ II (アソシエイトブライダルコーディネーター認定対策)	2	0	1	ブライダル業界での就労を目指すために必要な「基礎知識」を習得し、「アソシエイトブライダルコーディネーター認定」取得を目指します。
必修	プランナー トレーニング II (セレモニーアテンダント)	2	0	1	何らかのご事情があってご結婚式ができていない、もしくはできなかった方で記念写真がない方を対象に、事前準備からヘアメイク、ドレスフィッティング、撮影の演出までを行います。また、模擬挙式を通して施工当日のオペレーションを学びます。
必修	コスチューム II	4	0	2	ドレスやメンズフォーマルの衣装合わせや小物合せの接客を学習を行います。また、和装における自装着付けと小紋の他装着付けを習得します。
必修	バンケット コーディネーション I	2	0	1	花の知識、取り扱い方、アレンジ技法を学び、結婚式におけるフラワー・バンケットコーディネートを習得します。
必修	マナー・プロトコール II (マナー・プロトコール検定対策)	2	0	1	前期に引き続き、検定3級取得に向けてテキスト全体の概要を理解し、検定取得を目指します。検定試験後は、日本における礼儀作法の基盤と成り立ちや、国際社会において関心が高い伝統文化など自国の文化について学びます。
必修	ヘア&メイクアップ II (BR)	6	0	3	スマイルウェディングに向けてヘアメイクの応用、ヒアリングの力を身につけていきます。
必修	セルフプロデュース(自己表現)	2	0	1	カラーコーディネートを通して自分自身の内面・外面の美しさを伸ばし、自分らしさを表現する方法を学びます。
必修	色彩検定対策 II (BR)	2	0	1	前期に引き続き文部科学省後援A・F・T色彩検定協会の色彩検定試験3級合格を目指します。検定試験後は、3級取得のために学んだ基礎知識を身の回りの生活に活かせる応用力を習得します。
必修	General English II	2	0	1	日常的に使う英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	就職対策 I (BR)	2	0	1	自分をアピールする方法や履歴書の書き方の基本を学習し、希望する職業に就けるよう具体的に準備を行っていきます。
必修	筆記試験対策 II (BR)	2	0	1	就職試験で問われる知識を確認するとともに、実社会で必要となる一般教養の習得を目指します。
必修	インターンシップ II (BR)	2	0	1	授業で学んだことを活かし、現場で実践力を身に付けます。
小計		60	15	15	
合計		60	15	15	
選択	SIC[1]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
選択	SPIC[1]	2	0	1	春季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		64	15	17	
進級・卒業必要単位		58			

ブライダル・ウェディングコース

2年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	プランナー トレーニングⅢ(新規接客)	2	1	0	新規接客(問い合わせ・成約・申し込み手続きまで)をロールプレイングを中心とした実践的なトレーニングで習得します。
必修	ウェディング 企画・演出Ⅰ(ハートフェルトウェディング)	4	2	0	お客様のご要望に基づいたプランニングを行い、実際の婚礼(ハートフェルト ウェディング)を行う為の実技を実践します。
必修	コスチュームⅢ	4	2	0	花嫁和装(白無垢と色打掛)とメンズ和装(紋付袴)の着付けを習得します。
必修	バンケット コーディネーションⅡ	4	2	0	挙式と披露宴をメインに、ウェディングの全体的な流れに沿った商品制作やテーブルコーディネート方法を習得します。
必修	ブライダルフォト知識	4	2	0	ブライダル撮影の技術、ロケ撮影、モデルケア、モデルボーシング等を学びます。
必修	ヘア&メイクアップⅢ (BR)	6	3	0	ハートフェルトウェディングに向けてヘアメイクの応用、ヒアリングの力を身につけていきます。
必修	パーソナル カラー(BR)	2	1	0	その人に調和する色をコーディネートする色彩知識を学習します。
必修	Customer Service EnglishⅠ(BR)	2	1	0	職種に特化した英会話表現をロールプレイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	就職対策Ⅱ(BR)	2	1	0	多様化する面接試験内容に対応し、面接時の応答力やアピール力を習得し就職試験の突破を目指します。
必修	プランナートレーニングⅣ(プレゼンテーション)	2	0	1	お客様へのプレゼンテーションスキルを学びます。
必修	ウェディング プランニング スキルズⅢ(ブライダルコーディネーター技能検定対策)	2	0	1	ブライダルコーディネーターとして必要とされる技能・知識を習得し、これを公証する国家検定「3級ブライダルコーディネーター技能検定」の取得を目指します。
必修	ウェディング 企画・演出Ⅱ(エコレ・マタニティフォト)	6	0	3	提案力やプレゼンテーション能力を伸ばし、ブライダルショーとマタニティフォトを企画します。
必修	コスチュームⅣ	4	0	2	コスチュームサロンに於ける和装の接客を習得します。振袖着付け、花嫁の引き振袖と袴の着付けを習得します。
必修	バンケット コーディネーションⅢ	4	0	2	ブライダルにおけるテーブルコーディネートの演出力を習得し、テーマに沿って作成・演出・プレゼンテーションを行います。
必修	プロモーションスキル	2	0	1	媒体毎の広告宣伝の違いを学び、実際に広告を考え作成し広報スキルを身に着けます。
必修	ヘア&メイクアップⅣ (BR)	6	0	3	卒業制作、プライズフォト、マタニティフォトにむけて舞台用、撮影用のヘアメイクを身につけていきます。
必修	ブライダル ネイルズ	2	0	1	新婦にブライダルネイルのご相談を受けた際に、確実なアドバイスができる知識と技術とセンスを磨きます。
必修	Customer Service EnglishⅡ(BR)	2	0	1	職種に特化した英会話表現をロールプレイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
小計		60	15	15	
合計		60	15	15	
選択	SIC[2]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		62	15	16	
進級・卒業必要単位		56			

ビューティアドバイザーコース

1年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	ベーシック メイクアップ	6	3	0	クレンジングからフルメイクまで、メイクアップの基礎を習得します。
必修	カウンセリング テクニックⅠ	2	1	0	ビューティアドバイザーとしての仕事内容と役割、求められる接客力・カウンセリング力・アドバイスを学習しコスメ販売に必要なカウンセリング販売を習得します。
必修	カスタマー サービス スキルズ	2	1	0	綺麗な立ち居振る舞い・社会人としての話し方・接客用語を習得します。
必修	コスメティック ライセンス	2	1	0	日本化粧品検定2級資格取得を目指します。肌悩みに応じた化粧品やメイク方法だけでなく、紫外線・食事・運動・睡眠など美肌に影響を与える要因についての基礎知識を学びます。
必修	皮膚／コスメティック 知識	2	1	0	皮膚知識・紫外線・肌トラブル等と肌のメカニズムと化粧品の種類を学習します。
必修	BA実践(基礎)	2	1	0	BAとしての基礎を身につけていきます。
必修	ビューティ ヘア テクニック	4	2	0	ビューティアドバイザーとしてふさわしいヘアアレンジスタイル・夜会巻を習得します。
必修	カラー コーディネーション(BA)	2	1	0	「色の三属性」「配色」「トーン」等、実習を通して色彩の基礎を習得します。
必修	プレゼンテーション スキルズⅠ	2	1	0	人前で話すことになれ、予定した内容を決まった時間内で、筋道を立てて話すパブリックスピーキングができ、聞き手を納得に導けるプレゼンテーションスキルを身に付ける。
必修	Customer Service EnglishⅠ (BA)	2	1	0	コミュニケーションスキルを上げて外国人客を化粧品カウンターで対応できるように学習します。BA関連用語を学習しながらお客様の要望を理解し対応できるように種々の会話を練習します。
必修	業界研究Ⅰ (BA)	2	1	0	化粧品業界の概況、企業特性等について自ら調べる方法を学び、十分な業界研究を経て希望する企業選択やキャリアプランニングを行います。
必修	筆記試験対策Ⅰ (BA)	2	1	0	就職活動で課される筆記試験対策の授業を行います。
必修	メイクアップ テクニック(BA)	6	0	3	JBMA検定プロフェッショナルコース取得を目指し学習します。
必修	イメージ メイクアップ	4	0	2	イメージメイクの基礎応用を習得します。
必修	カウンセリング テクニックⅡ	2	0	1	ビューティアドバイザーとしての仕事内容と役割、求められる接客力・カウンセリング力・アドバイスを学習しコスメ販売に必要なカウンセリング販売をケーススタディも含めて習得します。
必修	BA実践(社会貢献)	2	0	1	社会貢献活動を通して、BAとしての販売実践力を身につけていきます。
必修	フェイシャル エステティック／アロマセラピー	4	0	2	フェイシャルエステ実習。クレンジングとマッサージテクニックを習得します。アロマセラピー(フレグランス)の香りの歴史、植物のエッセンシャルオイルの基礎知識や効果について学習し、ビューティアドバイザーとして求められる技術力を習得します。
必修	パーソナル カラー(BA)	2	0	1	その人に調和する色のコーディネートを習得します。
必修	ヒューマン リレーションズ(BA)	2	0	1	おもてなしの「種類」「程度」「方法」などを適切に選ぶ時に必要不可欠な「人間関係の構築」「感情の変化」「行動の選択」などの原理、原則について解説し、「おもてなし」を断片的な知識でなく本質的な理解として習得します。
必修	Customer Service EnglishⅡ (BA)	2	0	1	コミュニケーションスキルを上げて外国人客を化粧品カウンターで対応できるように学習します。BA関連用語を学習しながらお客様の要望を理解し対応できるように種々の会話を練習します。
必修	業界研究Ⅱ (BA)	2	0	1	化粧品業界の概況・企業特性等について引き続き自ら調べる方法を学び、より一層十分な業界研究を経て、希望する企業の選択やキャリアプランニングを行います。
必修	筆記試験対策Ⅱ (BA)	2	0	1	就職活動で課される筆記試験対策の授業を行います。
必修	就職対策Ⅰ (BA)	2	0	1	自分をアピールする方法や履歴書の書き方の基本を学習し、希望する職業に就けるよう具体的に準備を行っていきます。
小計		60	15	15	
合計		60	15	15	
選択	SIC[1]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
選択	SPIC[1]	2	0	1	春季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		64	15	17	
進級・卒業必要単位		58			

ビューティアドバイザーコース

2年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	アドバンスド メイクアップ	6	3	0	JBMA検定エキスパートコース取得を目指し学習します。
必修	メイクアップ カウンセリング	6	3	0	接客を交えたメイク技法や作品作りの技法を習得します。
必修	コスメティックス セールス スキルズⅠ	8	4	0	コスメ販売の基本ノウハウをケーススタディにより学習します。
必修	スキン ケア	2	1	0	皮膚／コスメ基礎知識で習得した皮膚の基礎知識に加え、更に肌のメカニズムや化粧品の成分・品質などを学習します。
必修	BA実践Ⅰ	2	1	0	ビューティアドバイザーとして習得したメイク技術・販売知識を活かし、現場実践力をつけます。
必修	プレゼンテーション スキルズⅡ/ビジネスマナー	2	1	0	相手の状況に合わせてたプレゼンテーションスキルを身に付けます。ビジネス社会の基本ルール、職場常識、人間関係や話し方を学びます。
必修	Customer Service EnglishⅢ (BA)	2	1	0	コミュニケーションスキルを上げて外国人客を化粧品カウンターで対応できるように学習します。BA関連用語を学習しながらお客様の要望を理解し対応できるように種々の会話を練習します。
必修	就職対策Ⅱ (BA)	2	1	0	多様化する面接試験内容に対応し、面接時の応答力やアピール力を習得し就職試験の突破を目指します。
必修	ビューティ メイクアップ	6	0	3	ECCコレクションの対策授業を通してヘアメイクの応用技術を学びます。また、メイクアイテムの販売方法を学びます。
必修	ビューティボディーケア	2	0	1	ピラティスで体幹を鍛え、美しい姿勢づくりを目指します。動くことで自己肯定感を高め、BAとして必要な心身のセルフコントロール力を身につけます。
必修	コスメティックス セールス スキルズⅡ	6	0	3	ケーススタディに基づき実践的な販売方法を習得します。
必修	コスメティックス マーケティング	2	0	1	化粧品業界の構造やマーケティング戦略の立案～実施までの仕組み、店頭BAがマーケティングに果たす役割を理解します。「ブランド・自分のファンを作ること＝安定した売上の確立」に必要な「マーケットター脳」を身につけることで長期的なキャリアプランを組み立てられるようになります。
必修	エキストラ スキルズ	2	0	1	描写の基本を学習し、顔を立体的に捕らえ、陰影のつけ方を習得します。美容栄養学の基礎知識や肌効果について学習します。
必修	プレゼンテーション スキルズⅢ	2	0	1	この期を、2年間のプレゼンテーションの授業の第3期「実践力養成期」と位置付け、高校卒業までに学ぶ機会のなかった①(断片的でなく)系統だった敬語の理論、②大人として知っておきたい言い回し(フレーズ)を中心に学習します。
必修	BA実践Ⅱ	2	0	1	ビューティアドバイザーとして習得したメイク技術・販売知識を活かし、現場実践力をつけます。
必修	ビューティ ヘア メイク	2	0	1	ヘアアレンジ、ヘアメイクのテクニック基礎を活かし、女性らしさを引き出すヘアメイクを習得します。
必修	ネイル ケア&カラー (BA)	2	0	1	ネイルの基礎知識・基本的なネイルケア、カラーリング技術を習得します。
必修	中国語Ⅰ	2	0	1	中国語の基礎知識と基本的な日常会話をマスターします。
必修	Customer Service EnglishⅣ (BA)	2	0	1	コミュニケーションスキルを上げて外国人客を化粧品カウンターで対応できるように学習します。BA関連用語を学習しながらお客様の要望を理解し対応できるように種々の会話を練習します。
小計		60	15	15	
合計		60	15	15	
選択	SIC[2]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		62	15	16	
進級・卒業必要単位		56			

ネイリストコース

1年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	ネイル ケア&カラー I	8	4	0	ネイル理論全般を学習し、ネイルの基礎となるネイルケア・カラーリング・チップ&ラップ技術を習得します。JNECネイリスト技能検定3級・2級取得を目指します。
必修	ネイル ケア&カラー II	6	3	0	ネイルケア・カラーリング・チップ&ラップ技術を繰り返し演習します。
必修	アートネイルズ I (フラット/3D&エンボス)	4	2	0	アートの基礎であるフラットアート、検定3級、2級のネイルアートテクニック、3Dアート・エンボスアートなどのネイルアートテクニックを学習します。
必修	ヘア&メイクアップ I (NA)	2	1	0	セルフヘアや就活メイクを含めたトータルコーディネート力を高める為、イメージメイクを学習します。また、崩れにくく、良い印象を与えるメイク技術基礎を習得します。
必修	カスタマーズサービススキル	2	1	0	プロのネイリストとして、お客様と接する上で重要な接遇マナーを身につけます。
必修	カラー コーディネーション&パーソナルカラー(NA)	2	1	0	「色の三属性」「配色」「トーン」等、実習を通して色彩の基礎を習得します。
必修	デッサン・ファッションイラストレーション(NA)	2	1	0	デッサンの基礎を学び、ヘアスタイルのデザイン、メイク、ファッションを含めた全身イラストが描ける技術を習得します。
必修	General English I	2	1	0	日常的に使う英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	業界研究 I (NA)	2	1	0	ネイル業界と業界の職種を把握し、企業特性等について自ら調べる方法を学び、十分な業界研究を経て希望する企業選択やキャリアプランニング行います。
必修	ネイル スカルプティング I (チップオーバーレイ)	8	0	4	スカルプチュア・チップオーバーレイの基本となるナチュラルスタイル技術を習得します。JNECネイリスト技能検定1級取得を目指します。
必修	ジェル ネイルズ I	6	0	3	JNAジェルネイル初級検定合格を目標とし、ジェルネイルの基本知識・技術を習得します。
必修	アート ネイルズ II (ミックスメディア)	4	0	2	アクリルを使ったアートの技法を学び、アート I で習得したアート技法を組み合わせ、バランスや配置を学習し、1級のミックスメディアアート、そして2年次のサロンワーク実習で活かせるエンボスやジェルアートを学びます。
必修	ネイル サロン ワーク テクニック I	8	0	4	2年次のサロンワーク実習に向けて、フットケア技術とサロンにおけるネイル知識、技術を学習します。
必修	General English II	2	0	1	日常的に使う英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
小計		58	15	14	
必選	就職対策 I	2	0	1	自分をアピールする方法や履歴書の書き方の基本を学習し、希望する職業に就けるよう具体的に準備を行っていきます。
必選	日本語コミュニケーション II	2	0	1	日本人とのコミュニケーション、日々の学習に役立つ日本語を習得する。N2レベルの日本語を用い、書く・話すを通して、言語能力を向上させる。
小計		2	0	1	
合計		60	15	15	
選択	SIC[1]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
選択	SPIC[1]	2	0	1	春季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		64	15	17	
進級・卒業必要単位		58			

ネイリストコース

2年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	ネイル スカルプティングⅡ(コンテストスタイル)	8	4	0	フレンチスカルプチュア技術を習得します。また、スカルプチュア・ケアカラーのコンテスト・検定スタイルを学習します。
必修	ジェル ネイルズⅡ	6	3	0	ジェルネイル検定中級合格を目標とし、サロンワークにおけるジェルネイル技術・デザインアレンジ技法を学習します。
必修	アート ネイルズⅢ(作品制作)	2	1	0	習得したアート技法を活かし、サロンワークで活用できるアートや集大成の作品作りを行います。
必修	ネイル サロン ワークⅠ	6	3	0	学内サロン「ラプア」にてサロンの運営、接客全般を実習し、現場対応力を養います。
必修	ネイル サロン ワーク テクニックⅡ	4	2	0	サロンワークに必要な知識・技術を学習しサロンワークに活かします。
必修	Customer Service EnglishⅠ(NA)	2	1	0	職種に特化した英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	アートネイルズⅣ(エアブラシ)	4	0	2	ネイルにおけるエアブラシの基本から応用テクニックまで学習します。また、アート技法を組み合わせ作品を制作します。
必修	ジェル ネイルズⅢ	6	0	3	ジェルネイル検定上級合格を目標とし、サロンワークにおけるスカルプチュア・ジェルネイル技術(フット、マシン含)・デザインアレンジ技法を学習します。
必修	ネイル スカルプティングⅢ(フレンチ/デザイン)	6	0	3	フレンチルックのスカルプチュア・カラーリング技術を習得します。また、デザインスカルプチュア技術を習得します。
必修	ネイル サロン ワーク テクニックⅢ	4	0	2	サロンワークに必要なスカルプチュア等の知識・技術を学習しサロンワークに活かします。
必修	ネイル サロン ワークⅡ	6	0	3	お客様のご要望にお応えできる技術・スピード・接客等をサロンワーク実習で習得し、即戦力を養います。
必修	ヘア&メイクアップⅡ(NA)	2	0	1	1年次「メイクアップⅠ」の復習、ヘアアレンジ、イメージタイプ分析についても学習し、プロデュース力や提案力をさらに高め、ネイリストとして自分の表現力を身につけながら、ひとりひとりの「らしさ」、魅力を表現するスキルを学びます。
必修	Customer Service EnglishⅡ(NA)	2	0	1	職種に特化した英会話表現をロールプレーイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
小計		58	14	15	
必選	就職対策Ⅱ	2	1	0	多様化する面接試験内容に対応し、面接時の応答力やアピール力を習得し就職試験の突破を目指します。
必選	日本語コミュニケーションⅢ	2	1	0	日本人とのコミュニケーション、日々の学習に役立つ日本語を習得する。N2レベルの日本語を用い、書く・話すを通して、言語能力を向上させる。
小計		2	1	0	
合計		60	15	15	
選択	SIC〔2〕	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		62	15	16	
進級・卒業必要単位		56			

美容コース

1年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	衛生管理Ⅰ	1	1	0	公衆衛生・環境衛生を学習するとともに、感染症や消毒法に関する知識・技術習得を行います。
必修	保健Ⅰ	1	1	0	毛髪、皮膚に関する知識を学ぶ皮膚科学分野、人間の生理解剖学分野の両面から人体の構造・機能を習得します。また、国家試験対策を実施します。
必修	美容技術理論Ⅰ	3	3	0	美容器具の取り扱い、シャンプー、カット、パーマ、ヘアカラー等の技術理論を総合的に習得します。
必修	美容実習Ⅰ	6	6	0	シャンプー、カット、パーマ、ヘアカラー、ヘアセッティング等の美容技術を実習で習得します。
必修	美容総合Ⅰ	1	1	0	美容を総合的に学びます。 C&Gレベル1習得に必要なカウンセリング・プレゼンテーションについてのスキルを身に付けます。
必修	ヘアー実習Ⅰ	2	2	0	ブラッシング、コーミング、ピニング、ホットカーラー、ヘアアイロンでのヘアアレンジテクニック、ブローテクニックの基礎を習得します。
必修	一般教養Ⅰ-(1)	1	1	0	基本的な日常会話表現を学び、英語で聞いたり話したりすることに慣れることを目的とします。英会話学習を通じ視野を広げ異文化理解を深めます。
必修	一般教養Ⅰ-(2)	1	1	0	2年制コース 業界研究 3年制コース 特別3年生授業(3年次スタイリストデビューに向けた授業)
必修	衛生管理Ⅱ	1	0	1	公衆衛生・環境衛生を学習するとともに、感染症や消毒法に関する知識・技術習得を行います。
必修	保健Ⅱ	1	0	1	毛髪、皮膚に関する知識を学ぶ皮膚科学分野、人間の生理解剖学分野の両面から人体の構造・機能を習得します。また、国家試験対策を実施します。
必修	美容技術理論Ⅱ	1	0	1	美容器具の取り扱い、シャンプー、カット、パーマ、ヘアカラー等の技術理論を総合的に習得します。
必修	美容実習Ⅱ	12	0	12	シャンプー、カット、パーマ、ヘアカラー、ヘアセッティング等の美容技術を実習で習得します。
必修	美容総合Ⅱ	1	0	1	美容を総合的に学びます
必修	ヘアー実習Ⅱ	1	0	1	様々なヘアアレンジスタイルを習得します
必修	一般教養Ⅱ	1	0	1	基本的な日常会話表現を学び、英語で聞いたり話したりすることに慣れることを目的とします。英会話学習を通じ視野を広げ異文化理解を深めます。
小計		34	16	18	
必選	選択科目Ⅰ(ヘアメイク)	3	3	0	JBMAメイクBASICコース取得を目指します。
必選	選択科目Ⅰ(カット・カラー)	3	3	0	カットtingの基礎技術となるワングレス・グラデーション・レイヤーを学びそれぞれの特徴を学ぶ
必選	選択科目Ⅱ(カット・カラー)	3	0	3	カラーリングの基礎技術となるリタッチ・ワンメイクを通して酸化染毛剤・酸性染毛料などそれぞれの特徴も学ぶ
必選	選択科目Ⅱ(ヘアメイク)	3	0	3	ヘアアレンジとメイクの基礎を学習し、お客様にナチュラルヘアメイクサービスが施せるテクニックを学習します。サロンで役立つ実用的な技術や発想力を伸ばすよう幅広く学習します。
小計		6	3	3	
合計		40	19	21	
総合計		40	19	21	
進級・卒業必要単位		40			

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	衛生管理Ⅲ	1	1	0	公衆衛生・環境衛生を学習するとともに、感染症や消毒法に関する知識・技術習得を行います。
必修	保健Ⅲ	1	1	0	毛髪、皮膚に関する知識を学ぶ皮膚科学分野、人間の生理解剖学分野の両面から人体の構造・機能を習得します。また、国家試験対策を実施します。
必修	香粧品化学Ⅰ	1	1	0	香粧品の成分、化学の基礎を学習することにより、薬液、美容器具類の作用等を理解します。
必修	美容技術理論Ⅲ	1	1	0	美容器具の取り扱い、シャンプー、カット、パーマ、ヘアカラー等の技術理論を総合的に習得します。
必修	美容実習Ⅲ	9	9	0	シャンプー、カット、パーマ、ヘアカラー、ヘアセッティング等の美容技術を実習で習得します。
必修	美容文化論Ⅰ	1	1	0	日本における美容ファッション、海外における美容ファッションの歴史の変遷等を学習します。
必修	美容総合Ⅲ	3	3	0	国家試験対策を中心に、美容を総合的に学習します。
必修	ヘアメイク実習Ⅲ	2	2	0	ヘアアレンジとメイクの基礎を学習し、お客様にナチュラルヘアメイクサービスが施せるテクニックを学習します。サロンで役立つ実用的な技術や発想力を伸ばすよう幅広く学習します。
必修	一般教養Ⅲ	1	1	0	基本的な日常会話表現を学び、英語で聞いたり話したりすることに慣れることを目的とします。英会話学習を通じ視野を広げ異文化理解を深めます。
必修	関係法規・制度	1	0	1	美容師法に関する法律を中心に、美容師に関わる資格取得・手続き等の内容、公衆衛生に対する規制等を学習します。
必修	衛生管理Ⅳ	1	0	1	公衆衛生・環境衛生を学習するとともに、感染症や消毒法に関する知識・技術習得を行います。
必修	保健Ⅳ	1	0	1	毛髪、皮膚に関する知識を学ぶ皮膚科学分野、人間の生理解剖学分野の両面から人体の構造・機能を習得します。また、国家試験対策を実施します。
必修	香粧品化学Ⅱ	1	0	1	香粧品の成分、化学の基礎を学習することにより、薬液、美容器具類の作用等を理解します。
必修	美容技術理論Ⅳ	1	0	1	美容器具の取り扱い、シャンプー、カット、パーマ、ヘアカラー等の技術理論を総合的に習得します。
必修	美容実習Ⅳ	8	0	8	国家試験課題の対策を実施します。
必修	美容文化論Ⅱ	1	0	1	日本における美容ファッション、海外における美容ファッションの歴史の変遷等を学習します。
必修	運営管理	1	0	1	美容業を運営するにあたり、必要となるマーケティング・経営管理・経理・労働管理・接客法等の技術を習得します。
必修	美容総合Ⅳ	1	0	1	国家試験課題の対策を実施します。
必修	ヘアメイク実習Ⅳ	2	0	2	ヘアアレンジとメイクの基礎を学習し、お客様にナチュラルヘアメイクサービスが施せるテクニックを学習します。サロンで役立つ実用的な技術や発想力を伸ばすよう幅広く学習します。
必修	一般教養Ⅳ	1	0	1	基本的な日常会話表現を学び、英語で聞いたり話したりすることに慣れることを目的とします。英会話学習を通じ視野を広げ異文化理解を深めます。
小計		39	20	20	
合計		39	20	20	
総合計		39	20	20	
進級・卒業必要単位		39			

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	Zbrush基礎Ⅰ	2	1	0	3Dスキャン方法やZbrushデザイン、3Dプリンターの取り扱い・出力方法なども合わせて学び、様々な業界に対応できる技術を習得します。
必修	Zbrush実践Ⅰ	2	1	0	Zbrushの技術を使い、ワンダーフェスティバルにて販売するオリジナルフィギアのデザイン作成、3Dプリンターの出力方法なども合わせて学び、様々な業界に対応できる技術を習得します。
必修	フィギュア メイキングⅢ	6	3	0	デザインを取り入れたレリーフやスタチューの制作技法を学び、商品化までの知識を習得します。
必修	モンスタースーツ	8	4	0	全身プロポーションのデザインを考え、ボディーの型取りやスーツの分割方法を学びます。ウレタンフォームやサンベルカ等の素材で型に直付け制作する技法を学び、スーツを制作します。
必修	アニマトロニクス	8	4	0	表面上のマスク制作だけでなくキャラクターの内部骨格を考え設計します。設計を基に外装制作と内部制作を同時に行い、ワイヤーギミックやモーターで動く造形物を制作します。
必修	Workshop EnglishⅢ(TZ)	2	1	0	特殊メイクの現場に特化した会話表現をロールプレーイング練習により習得し、コミュニケーション力の向上を図ります。この業界で使用される単語や表現も習得します。
必修	就職対策Ⅱ	2	1	0	多様化する面接試験内容に対応し、面接時の応答力やアピール力を習得し就職試験の突破を目指します。
必修	Zbrush基礎Ⅱ	2	0	1	3Dスキャン方法やZbrushデザイン、3Dプリンターの取り扱い・出力方法なども合わせて学び、様々な業界に対応できる技術を習得します。
必修	Zbrush実践Ⅱ	4	0	2	Zbrushでのオリジナルキャラのデザイン、分割方法、3Dプリンターの出力方法なども合わせて学び、様々な業界に対応できる技術を習得します。
必修	フィギュア メイキングⅣ	4	0	2	原型から商品までの流れを理解して製作が出来るようにします。
必修	エピーテーゼ	4	0	2	プラチナムシリコンを使用してエピーテーゼ(義指)の制作に当たっての注意事項、製作の工程、施術方法、カウンセリングなどを学びます。
必修	スチロール造形	8	0	4	テーマパーク等に設置される巨大な造形物やプロップの制作方法を学ぶ。発泡スチロール等の素材を使用し、削り出しのみでの原型制作を行い、現場設置方法まで学びます。
必修	卒業制作	6	0	3	卒業制作として作品の制作を行います。
必修	Workshop EnglishⅣ(TZ)	2	0	1	特殊メイクの現場に特化した会話表現をロールプレーイング練習により習得し、コミュニケーション力の向上を図ります。この業界で使用される単語や表現も習得します。
小計		60	15	15	
合計		60	15	15	
総合計		60	15	15	
進級・卒業必要単位		54			

トップスタイリストコース

1年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	サロンワークトレーニングⅠ	4	2	0	ヘアサロンワークⅠで必要となる美容技術・知識を習得し、学内サロンでの実践に活用する。
必修	ヘア サロン ワークⅠ	8	4	0	サロン現場で必要とされる知識及び技術をモデル実習により習得します。
必修	美容テクニカルトレーニングⅠ	6	3	0	外部企業サロン講師による現場で必要となる実践的な各種技術を実習で習得する。
必修	C&G Technical Qualifications LEVEL.3（Ⅰ）	4	2	0	City&Guilds Technical Qualifications LEVEL.3 を取得し、現場サロンで通用する技術と資格を保有します。
必修	Customer Service EnglishⅢ (PHS)	2	1	0	職種に特化した英会話表現をロールプレイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	就職対策Ⅱ	2	1	0	多様化する面接試験内容に対応し、面接時の応答力やアピール力を習得し就職試験の突破を目指します。
必修	サロンワークトレーニングⅡ	4	0	2	ヘアサロンワークⅡで必要となる美容技術・知識を習得し、学内サロンでの実践に活用する。
必修	ヘア サロン ワークⅡ	8	0	4	サロン現場で必要とされる知識及び技術を幅広く学び、モデル実習により習得します。
必修	美容テクニカルトレーニングⅡ	6	0	3	外部企業サロン講師による現場で必要となる実践的な各種技術を実習で習得する。
必修	C&G Technical Qualifications LEVEL.3（Ⅱ）	4	0	2	City&Guilds Technical Qualifications LEVEL.3 を取得し、現場サロンで通用する技術と資格を保有します。
必修	Customer Service EnglishⅣ (PHS)	2	0	1	職種に特化した英会話表現をロールプレイング練習により習得し、英語でのコミュニケーション力の向上を図ります。様々な国の特徴や習慣等を知り、異文化理解を深めると共にGLOBAL精神を養います。
必修	ヘア サロン プランニング(PHS)	2	0	1	サロン経営における経営手法、マーケティング等を習得し、経営感覚・知識に基づく自身の店舗・サロンの経営、もしくはサロンオーナーに信頼されるアドバイザーを目指します。
必修	インターンシップ(PHS)	4	0	2	外部サロンでプロ美容師として従事し実績を積みます。
小計		56	13	15	
必選	選択アイラッシュ(PHS)	4	2	0	アイラッシュ(まつげエクステ)の基礎技術を習得し、幅広く学び即戦力となる力を習得します。
必選	(選択)撮影演習	4	2	0	美容室で活用できるヘアメイク撮影技術を習得します。
小計		4	2	0	
合計		60	15	15	
選択	SIC[1]	2	0	1	夏季に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指します。
総合計		62	15	16	
進級・卒業必要単位		54			

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	美容実習ⅠT	19	3	0	カット・パーマ等の美容技術を実習で学習します。国家試験対策を実施します。
必修	美容カウンセリングT	2	1	0	カウンセリングの基礎からコンサルティング、顧客に提案するヘアスタイルを学習します。
必修	美容実習ⅡT	19	0	3	カット・パーマ等の美容技術を実習で学習します。国家試験対策を実施します。
必修	美容技術理論ⅠT	4	0	1	美容器具の取扱い、シャンプー・カット・パーマ・ヘアカラー等の技術を総合的に習得します。
必修	美容文化論T	2	0	1	日本における美容ファッション、海外における美容ファッションの歴史の変遷等を学習します。
必修	ヘアスタイル画によるトータルファッションT	2	0	1	美容の創作的技術を身につけるため、ヘアデザインについてヘアスタイル画を描きながら学びます。
小計		48	4	6	
合計		48	4	6	
総合計		48	4	6	
進級・卒業必要単位		48			

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	美容実習ⅢT	15	3	0	カット・パーマ等の美容技術を実習で学習します。国家試験対策を実施します。
必修	運営管理T	2	1	0	美容業を運営するにあたり、必要となるマーケティング・経営管理・経理・労働管理・接客法等の技術を習得します。
必修	衛生管理ⅠT	3	1	0	公衆衛生・環境衛生を学習するとともに、感染症や消毒法に関する知識・技術習得を行います。
必修	保健ⅠT	3	1	0	毛髪・皮膚に関する知識を学ぶ皮膚科学分野、人間の生理解剖学分野の両面から人体の構造・機能を習得します。
必修	美容実習ⅣT	18	0	3	カット・パーマ等の美容技術を実習で学習します。国家試験対策を実施します。
必修	美容技術理論ⅡT	2	0	1	美容器具の取扱い、シャンプー・カット・パーマ・ヘアカラー等の技術を総合的に習得します。
必修	香粧品化学ⅠT	3	0	1	化学・香粧品を学習し理解します。
小計		46	6	5	
合計		46	6	5	
総合計		46	6	5	
進級・卒業必要単位		46			

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	美容実習ⅤT	14	2	0	カット・パーマ等の美容技術を実習で学習します。国家試験対策を実施します。
必修	衛生管理ⅡT	3	1	0	公衆衛生・環境衛生を学習するとともに、感染症や消毒法に関する知識・技術習得を行います。
必修	関係法規・制度T	2	1	0	美容師法に関する法律を中心に、美容師に関わる資格取得・手続き等の内容・公衆衛生に対する規制等を学習します。
必修	美容実習ⅥT	14	0	2	カット・パーマ等の美容技術を実習で学習します。国家試験対策を実施します。
必修	保健ⅡT	3	0	1	毛髪・皮膚に関する知識を学ぶ皮膚科学分野、人間の生理解剖学分野の両面から人体の構造・機能を習得します。
必修	香粧品化学ⅡT	3	0	1	化学・香粧品を学習し理解します。
小計		39	4	4	
合計		39	4	4	
総合計		39	4	4	
進級・卒業必要単位		39			

トータルビューティコース

1年次

区分	科目名	単位数	週時間数		講座概要
			前期	後期	
必修	メイクアップ I (KT)	4	2	0	メイク基礎技術と発想力を高めます。
必修	ヘア アレンジメント I (KT)	4	2	0	ブラッシング・コーミング、ブロッキング、ピン止め・ゴム止め、コテ、ホットカーラー、ストレートアイロンでのヘアアレンジの基礎技術を習得します。
必修	ヒューマン リレーションズ I (KT)	2	1	0	自分自身の「考え方」や「感情」「行動」と、どう付き合えばよいのか？「考え方」や「感情」「行動」が異なる他人と、どうかかわればよいのか？これらの課題に対して、学生個々人が、自分らしい、自分の考えを持てるようになるため、この授業では、次のような流れで毎時進める。 ①人間関係に関するあらゆる分野から、「人間関係の仕組み」についての理論や考え方を、講師よりわかりやすく紹介し解説する。 ②それをもとに、学生は、人間関係に関する自分の考え方を再構築する。 ③再構築した自分の考えをクラスメートの前で発表する。
必修	ネイル ケア&カラー I (KT)	6	3	0	ネイル理論全般を学習し、ネイルの基礎となるネイルケア・カラーリング・チップ&ラップ技術を習得します。JNECネイリスト技能検定3級・2級取得を目指します。
必修	アートネイル I (KT)	2	1	0	ペイントアートの基礎である筆の扱いや使い方、ポリッシュの塗り分けなどを習得し、JNEC3級、2級検定合格に向けてアートの基盤作りや作品制作に活かします。
必修	カラー コーディネーション(KT)	2	1	0	「色の三属性」「配色」「トーン」「色のイメージ」等、実習を通して色彩の基礎を習得します。
必修	メイクアップ II (KT)	4	0	2	イメージメイク技術や作品表現技術を習得します。また、JBMAメイクアップ検定BASIC取得を目指します。
必修	ヘア アレンジメント II (KT)	4	0	2	夜会巻・カールアップ・日本髪等のヘアアレンジテクニックを習得します。
必修	ヒューマン リレーションズ II (KT)	2	0	1	自分自身の「考え方」や「感情」「行動」と、どう付き合えばよいのか？「考え方」や「感情」「行動」が異なる他人と、どうかかわればよいのか？これらの課題に対して、学生個々人が、自分らしい、自分の考えを持てるようになるため、この授業では、次のような流れで毎時進める。 ①人間関係に関するあらゆる分野から、「人間関係の仕組み」についての理論や考え方を、講師よりわかりやすく紹介し解説する。 ②それをもとに、学生は、人間関係に関する自分の考え方を再構築する。 ③再構築した自分の考えをクラスメートの前で発表する。
必修	ネイル スカルプティング I (チップ オーバーレイ) (KT)	6	0	3	スカルプチュア・チップオーバーレイの基本となるナチュラルスタイル技術を習得します。JNECネイリスト技能検定1級取得を目指します。
必修	アートネイル II (KT)	2	0	1	アクリルを使ったアートの基本～応用技法を学び、エンボスアート、3Dアート、1級ミックスメディアアートなどのネイルアートテクニックを学習します。
必修	デッサン・ファッション イラストレーション(KT)	2	0	1	デッサンの基礎を学び、ヘアスタイルのデザイン、メイク、ファッションを含めた全身イラストが描ける技術を習得します。
小計		40	10	10	
合計		40	10	10	
総合計		40	10	10	
進級・卒業必要単位		40			

●2023年4月

日	曜	授業週	
1	土		
2	日		
3	月		進級生オリエンテーション・健康診断
4	火		入学式
5	水		新入生オリエンテーション・健康診断
6	木		新入生オリエンテーション
7	金		新入生オリエンテーション
8	土		
9	日		
10	月	①	前期授業開始
11	火	①	
12	水	①	
13	木	①	
14	金	①	
15	土		JNEC春期ネイル技能検定試験1級(NA2.TS3)
16	日		JNEC春期ネイル技能検定試験2級(NA2.TS2)
17	月	②	学生面談開始(～5月末)
18	火	②	
19	水	②	
20	木	②	
21	金	②	
22	土		
23	日		
24	月	③	Eggフォトコン表彰式(TS.HM.BE) egg表彰式(HM3)
25	火	③	
26	水	③	
27	木	③	ポートフォリオオリエンテーション(HM3A)
28	金	③	
29	土		昭和の日 プロモデル撮影(HM3A)
30	日		

※上記予定は変更される場合があります。

●2023年5月

日	曜	授業週	
1	月	④	ビューティモード撮影(HM3B)
2	火	④	NATSUKA様セミナー-(HM2)
3	水		憲法記念日
4	木		みどりの日
5	金		こどもの日
6	土		ポートフォリオディレクション①(HM3A)
7	日		
8	月		学年交流会
9	火	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年)
10	水	④	アーティストティックメイクフォロー-(HM2C) サービス研修(BR1)
11	木	④	アーティストティックメイクフォロー-(HM2A)
12	金	④	アーティストティックメイクフォロー-(HM2B)
13	土		JBMAメイクアップ検定Professionalコース再試験 (TS1.HM1.BA1) ポートフォリオディレクション②(HM3A)
14	日		ポートフォリオディレクション②(HM3A)
15	月	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年) 吉川あゆ美先生コンテスト対策セミナー-①(NA1.NA2)
16	火	⑥	
17	水	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年) 会場見学セミナー-(BR1)
18	木	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年)
19	金	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年)
20	土		
21	日		
22	月	⑥	
23	火	⑦	中間評価 ブライダル撮影(HM3C)
24	水	⑥	
25	木	⑥	
26	金	⑥	
27	土		ECC杯(NA)
28	日		
29	月	⑦	中間評価 メンズモデル撮影(HM3B) gricoセミナー-(BE1.BE2.PHS)
30	火	⑧	
31	水	⑦	中間評価

●2023年6月

日	曜	授業週	
1	木	⑦	中間評価
2	金	⑦	中間評価
3	土		
4	日		
5	月	⑧	
6	火		スポーツ大会
7	水	⑧	
8	木	⑧	
9	金	⑧	
10	土		2023NATSUKA様プレゼン本選(HM2)
11	日		サ-ビス接客検定
12	月	⑨	吉川あゆ美先生コンテスト対策セミナー-②(NA1.NA2)
13	火	⑨	
14	水	⑨	テーブルマナ-実習(BR1)
15	木	⑨	
16	金	⑨	
17	土		担任懇談会①
18	日		
19	月	⑩	美容師監修撮影(HM3B)
20	火	⑩	
21	水	⑩	ハートフェルトウェディング前撮り(BR2)
22	木	⑩	
23	金	⑩	
24	土		担任懇談会②
25	日		色彩検定
26	月	⑪	
27	火	⑪	
28	水	⑪	
29	木	⑪	
30	金	⑪	

※上記予定は変更される場合があります。

●2023年7月

日	曜	授業週	
1	土		
2	日		
3	月	⑫	ム-ビ-撮影打合せ(仮)(HM3B)
4	火	⑫	
5	水	⑫	
6	木	⑫	留学生交流-浴衣着付け-(BR1)
7	金	⑫	七夕
8	土		アドバンスヘアメイク I (HM2偶数) 資生堂接客対応セミナー(BA2)
9	日		アジアネイルフェスティバル(NA.TS) アドバンスヘアメイク I (HM2奇数)
10	月	⑬	アジアネイルフェスティバル(NA.TS) ム-ビ-撮影(仮)(HM3B)
11	火	⑬	NA休講 全国理美容学生技術大会(BE2)
12	水	⑬	
13	木	⑬	OGセミナー-(BR1)
14	金	⑬	
15	土		JNEC夏期ネイル技能検定試験2級(NA.TS) アドバンスヘアメイク I (HM2偶数) ム-ビ-撮影打合せ(仮)(HM3B)
16	日		JNEC夏期ネイル技能検定試験3級(NA1.TS1.KT1) アドバンスヘアメイク I (HM2奇数)
17	月		海の日
18	火	⑭	学生アンケート
19	水	⑭	学生アンケート
20	木	⑭	学生アンケート
21	金	⑭	学生アンケート
22	土		ハートフェルトウェディング(BR2)
23	日		
24	月	⑭	学生アンケート
25	火	⑮	前期末試験 振袖撮影(HM3C)
26	水	⑮	前期末試験 コンテスト撮影(HM2C)
27	木	⑮	前期末試験 コンテスト撮影(HM2A)
28	金	⑮	前期末試験 コンテスト撮影(HM2B)
29	土		
30	日		ワンフェス(TZ)
31	月	⑮	前期末試験 DEMIコンテスト撮影(HM3B) 卒業旅行(TZ)

●2023年8月

日	曜	授業週	
1	火		終業式/予備日
2	水		予備日 宝塚歌劇セミナ-(TS2.HM2)
3	木		劇団四季セミナ-(TS1.HM1.BA1.NA1.BR2)
4	金		JBMAメイクアップ検定Basicコース(TS1.BA1.HM1) JNAジェルネイル検定中級校内検定(NA2.TS3)
5	土		アドバンスヘアメイクテスト I (HM2偶数)
6	日		アドバンスヘアメイクテスト I (HM2奇数)
7	月		日本化粧品検定2級
8	火		
9	水		
10	木		
11	金		山の日
12	土		休館日
13	日		休館日
14	月		休館日
15	火		休館日
16	水		休館日
17	木		休館日
18	金		休館日
19	土		休館日
20	日		休館日
21	月		
22	火		
23	水		
24	木		
25	金		
26	土		
27	日		
28	月		JBMAメイクアップ検定Expert対策授業(TS3任意) コンテスト撮影(HM任意)
29	火		JBMAメイクアップ検定Expert対策授業(TS3任意)
30	水		JBMAメイクアップ検定Expertコース模擬授業(TS.HM.BA)
31	木		JBMAメイクアップ検定Expertコース(TS.HM.BA)

●2023年9月

日	曜	授業週	
1	金		
2	土		
3	日		
4	月		SIC RMKトレンドメイクセミナ-(HM1.BA1)
5	火		SIC コンテスト撮影(HM1A) 業界セミナ-(BA1)
6	水		SIC コンテスト撮影(HM1C)
7	木		SIC シルク・ドゥ・ソレイユセミナ-(TS3.HM3.BE2.BA2.NA2.TZ3)
8	金		SIC コンテスト撮影(HM1B)
9	土		
10	日		
11	月		
12	火		
13	水		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
14	木		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
15	金		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
16	土		ネイル模擬検定(NA2.TS2.TS3.KT1)
17	日		
18	月		敬老の日
19	火		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
20	水		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
21	木		ネイル検定対策(NA.TS.KT) SNS活用セミナ-(BA1)
22	金	①	後期授業開始
23	土		秋分の日
24	日		
25	月	①	
26	火	①	
27	水	①	
28	木	①	
29	金	②	学生面談開始(～10月末) Eコレ衣装制作①(HM2)
30	土		

※上記予定は変更される場合があります。

●2023年10月

日	曜	授業週	
1	日		
2	月	②	プロモデル撮影(HM3B)
3	火	②	
4	水	②	
5	木	②	
6	金	③	
7	土		ポートフォリオディレクション(HM3A)
8	日		キッズ撮影(HM3C)
9	月		スポーツの日
10	火	③	
11	水	③	
12	木	③	
13	金	④	
14	土		JNEC秋期ネイル技能検定試験1級(NA2.TS2.TS3)
15	日		JNEC秋期ネイル技能検定試験2級(NA1.TS1.TS2.KT1)
16	月	③	
17	火	④	
18	水	④	
19	木	④	
20	金	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年) エコ衣装制作②(HM2)
21	土		
22	日		JNEC秋期ネイル技能検定試験3級(NA1.TS1.KT1)
23	月	④	KCセミナー-(BE1)
24	火	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年)
25	水	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年)
26	木	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年)
27	金	⑥	ハロウィン
28	土		就職保護者会(OL)
29	日		JBMAメイクアップ検定Basic/Expertコース再試験 (TS.HM.BA) スマイルウェディング(BR1)
30	月	⑤	Hyper-QU/中間アンケート(全学年)
31	火	⑥	

●2023年11月

日	曜	授業週	
1	水	⑥	
2	木	⑥	
3	金		文化の日 エコ撮影(HM1A)
4	土		サービス接客検定2級 エコ撮影(HM1B) OGセミナー-(BA1) C&G筆記試験(PHS)
5	日		エコ撮影(HM1C)
6	月	⑥	
7	火	⑦	中間評価
8	水		エコ学内リハーサル
9	木	⑦	中間評価
10	金	⑦	中間評価
11	土		JBMAメイクアップ検定Expertコース再試験予備日 (TS.HM.BA) エコ撮影(HM3A) エコ対策授業(HM3B)
12	日		色彩検定
13	月	⑦	中間評価 エコ撮影(HM3B.3C)
14	火	⑧	C&G模擬試験①(PHS)
15	水	⑦	中間評価
16	木	⑧	
17	金		エコリハーサル
18	土		エコ
19	日		
20	月	⑧	
21	火	⑨	C&G模擬試験②(PHS)
22	水	⑧	
23	木		勤労感謝の日
24	金	⑧	
25	土		美容師国家試験シミュレーション(BE2.BT3) アドバンスヘアメイクⅡ(HM2奇数)
26	日		アドバンスヘアメイクⅡ(HM2偶数)
27	月	⑨	資生堂メイクセミナー-①(BA2)
28	火	⑩	ロケ撮影(HM2B) C&G模擬試験③(PHS)
29	水	⑨	
30	木	⑨	

※上記予定は変更される場合があります。

●2023年12月

日	曜	授業週	
1	金	⑨	
2	土		アドバンスヘアメイクⅡ(HM2奇数)
3	日		日本化粧品検定2級追試 アドバンスヘアメイクⅡ(HM2偶数)
4	月	⑩	資生堂メイクセミナー-②(BA2)
5	火	⑪	C&G実技試験④(PHS)
6	水	⑩	ロケ撮影(HM2C)
7	木	⑩	
8	金	⑩	ロケ撮影(HM2A)
9	土		サ・ビ・ス接客検定準1級
10	日		サ・ビ・ス接客検定準1級
11	月	⑪	資生堂メイクセミナー-③(BA2)
12	火	⑫	スタジオ撮影(HM2B) C&G実技試験①(PHS)
13	水	⑪	
14	木	⑪	
15	金	⑪	年内授業最終日
16	土		サ・ビ・ス接客検定準1級 アドバンスヘアメイクテストⅡ(HM2奇数)
17	日		アドバンスヘアメイクテストⅡ(HM2偶数)
18	月		地球祭前夜祭 イメージメイクセミナー-(BA2)
19	火		地球祭
20	水		美容師国家試験シミュレーション(BE2.BT3)
21	木		JNAジェルネイル検定中上級校内検定(NA2.TS3) 学修成果発表会(HM3)
22	金		
23	土		休館日
24	日		休館日
25	月		休館日
26	火		休館日
27	水		休館日
28	木		休館日
29	金		休館日
30	土		休館日
31	日		休館日

※上記予定は変更される場合があります。

●2024年1月

日	曜	授業週	
1	月		元日 休館日
2	火		休館日
3	水		休館日
4	木		休館日
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		成人の日
9	火		休講日(調整日)
10	水	⑫	授業開始 スタジオ撮影(HM2C)
11	木	⑫	
12	金	⑫	スタジオ撮影(HM2A) マナー・プロトコル検定3級(BR1)
13	土		
14	日		
15	月	⑫	
16	火	⑬	卒業生アンケート C&G実技試験②(PHS)
17	水	⑬	卒業生アンケート
18	木	⑬	卒業生アンケート ブライズフォト撮影(BR2)
19	金	⑬	卒業生アンケート
20	土		JNEC冬期ネイリスト技能検定試験2級(NA1.TS1.KT1)
21	日		JNEC冬期ネイリスト技能検定試験3級(NA1.TS1.KT1) OGセミナー-(BA2)
22	月	⑬	卒業生アンケート Head Wrapping(HM3A) 卒業制作撮影(HM3B)
23	火	⑭	学生アンケート C&G実技試験③(PHS)
24	水	⑭	学生アンケート 模擬挙式(BR1)
25	木	⑭	学生アンケート アソシエイトブライダルコーディネーター認定試験(BR1/TS3.HM3 選択)
26	金	⑭	学生アンケート
27	土		マナーセミナー-(BA2) マタニティフォト(BR2)
28	日		
29	月	⑭	学生アンケート
30	火	⑮	後期末試験 プランニングコンテスト(BR2) C&G実技試験④(PHS)
31	水	⑮	後期末試験 作品撮影(HM2B) テーブルコーディネート展(BR2)

●2024年2月

日	曜	授業週	
1	木	⑮	後期末試験 美容師国家実技週間(BE2.BT3) 作品撮影(HM2A)
2	金	⑮	後期末試験 美容師国家実技週間(BE2.BT3) 作品撮影(HM2C)
3	土		美容師国家実技週間(BE2.BT3)
4	日		美容師国家実技週間(BE2.BT3)
5	月	⑮	後期末試験 美容師国家実技週間(BE2.BT3)
6	火		終業式/予備日 接客販売コンテスト予選会(BA1)
7	水		予備日
8	木		JBMAメイクアップ検定Professionalコース(TS1.HM1.BA1)
9	金		
10	土		
11	日		建国記念の日
12	月		振替休日
13	火		
14	水		
15	木		
16	金		SPIC 劇団四季セミナー-(BE1)
17	土		
18	日		
19	月		SPIC
20	火		SPIC
21	水		SPIC 接客販売コンテスト本選(BA1)
22	木		SPIC
23	金		天皇誕生日
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水		
29	木		

※上記予定は変更される場合があります。

●2024年3月

日	曜	授業週	
1	金		
2	土		
3	日		美容師国家試験(筆記)(BE2.BT3)
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		
11	月		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
12	火		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
13	水		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
14	木		卒業式
15	金		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
16	土		
17	日		
18	月		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
19	火		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
20	水		春分の日
21	木		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
22	金		ネイル検定対策(NA.TS.KT)
23	土		
24	日		ネイル模擬検定(NA1.TS1.TS2.KT1)
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

■利用までの流れ

1. iPhoneの場合は「App Store」、Androidの場合は「Google Play ストア」のアプリを利用してストアにアクセスし、「ECCアーティスト美容専門学校」と検索してください。
2. 検索結果で「ECCアーティスト美容専門学校」アプリが表示されたらインストールを行ってください。※プッシュ通知は極力有効にしてください。



アプリ名：ECCアーティスト美容専門学校

発行元：学校法人山口学園

3 インストール後、アプリを起動し「ログインID」の欄には学籍番号を入力し、「パスワード」の欄に誕生日をいれてください。（例 10月1生まれ 1001）入力してください。

■注意点

- ・ スマートフォン本体（iOS、Android）のバージョンアップ通知がある場合は、本アプリのインストール前にバージョンアップを実行してください。
- ・ アプリのバージョンアップ通知が表示された場合はバージョンアップを実行してください。
- ・ お知らせをプッシュ通知で配信する場合がありますので、プッシュ通知は極力有効にしてください。
- ・ スマートフォンを買い替えた場合はアプリを再度インストールしてください。その際、アプリのデータを移行したりする必要はありませんが再インストール時は「ログインID」と「パスワード」を入力する必要がありますので、パスワードは保管しておいてください。

■アプリが利用できない場合（WEB版の利用）

アプリが利用できない場合は下記のURLにアクセスしてWEB版を利用してください。

<https://art-app.ecc-sv.com/app/>

WEB版

